

葛飾の図書館

令和元年度 事業年報



Katsushika
City Libraries

葛飾区立図書館



葛飾区立図書館

【表紙記載の「葛飾区立図書館のシンボルマーク」について】

葛飾区立図書館のシンボルマークは、「葛飾」のカタカナ表記「カツシカ」をモチーフに作成しました。

イメージは、庶民を守った火消しの絆纏（はんてん）などに使用されていた、江戸時代の「角文字」です。「葛飾区を中心となり、区を守り、葛飾区の情報発信の中心地となる図書館」、「区民のための図書館」を表現しています。

メインカラーは葛飾区のイメージカラーである、クリーンと知性を表すライト・ブルー。

2つの「カ」の中にある四角系のカラーは、それぞれいきいきとした情熱を表すオレンジ、未来をかざす光明を表すイエローです。

目次

1	葛飾区の概要	1
2	図書館のあゆみ	
	（1）葛飾区立図書館のあゆみ	2
	（2）葛飾区立図書館 システムのあゆみ	19
3	施設の概要	23
4	組織図	27
5	開館時間・休館日	28
6	各サービスの説明	
	（1）一般サービス	29
	（2）児童サービス	30
	（3）ヤングアダルト（YA）サービス	30
	（4）視聴覚（AV）サービス	31
	（5）インターネットサービス	31
	（6）団体貸出サービス	32
	（7）ハンディキャップサービス	33
	（8）広報活動	35
	（9）自主活動グループの支援	36
	（10）リサイクルコーナー	36
	（11）学校との連携・学校図書館支援	36
	（12）学校図書館ボランティアへの支援	36
	（13）大学図書館との連携	37
	（14）ビジネス支援サービス	37
	（15）「かつしかデジタルライブラリー」の公開	40
	（16）健康・医療情報サービス	41
	（17）図書館海援隊	41
	（18）葛飾図書館友の会	42
	（19）中央図書館及び立石図書館 年末年始開館の取組	42
7	令和元年度の事業報告	
	（1）一般サービス委員会	43
	（2）YAサービス委員会	43
	（3）児童サービス委員会	44
	（4）資料収集委員会	44
	（5）ハンディキャップサービス委員会	45
	（6）図書館職員のための新任研修・現任研修	46
8	行事実績	
	（1）一般向け行事	47
	（2）子ども向け行事	52
	（3）中・高校生向け行事	58
	（4）子どもから大人までの行事	59
	（5）ボランティア養成関連行事	59
	（6）中央図書館 開館10周年秋の読書週間特別イベント	62
	（7）その他	63

9 各種統計

(1) サービス実績	・ ・ ・ ・ ・	66
(2) 登録者所在内訳	・ ・ ・ ・ ・	66
(3) 図書館資料費推移 (決算額)	・ ・ ・ ・ ・	67
(4) 登録者の推移	・ ・ ・ ・ ・	69
(5) 図書館別来館者数・平均来館者数	・ ・ ・ ・ ・	69
(6) 蔵書数の推移	・ ・ ・ ・ ・	70
(7) 資料統計 館別蔵書・所蔵数	・ ・ ・ ・ ・	70
(8) 図書・雑誌貸出冊数の推移	・ ・ ・ ・ ・	71
(9) 団体貸出の利用状況	・ ・ ・ ・ ・	71
(10) 分野別図書・雑誌貸出冊数表	・ ・ ・ ・ ・	72
(11) AV (視聴覚) 資料利用状況	・ ・ ・ ・ ・	72
(12) 外国語図書 館別言語別図書蔵書数	・ ・ ・ ・ ・	73
(13) レファレンス受付数	・ ・ ・ ・ ・	73
(14) 予約・リクエスト・相互貸借統計	・ ・ ・ ・ ・	73
(15) 蔵書点検	・ ・ ・ ・ ・	74
(16) 図書・雑誌・AV受入数・図書除籍数	・ ・ ・ ・ ・	75
(17) ハンディキャップサービスの利用状況	・ ・ ・ ・ ・	75
(18) 中央図書館個人閲覧席・ 利用者用インターネット利用者数	・ ・ ・ ・ ・	76
(19) メール通知サービス登録者数	・ ・ ・ ・ ・	76
(20) 利用カードパスワード登録者数	・ ・ ・ ・ ・	76
(21) E-mailアドレス登録者数	・ ・ ・ ・ ・	76
(22) 年未年始(12月31日～1月3日)開館実績	・ ・ ・ ・ ・	76
(23) 貸出ベスト		
一般図書	・ ・ ・ ・ ・	77
児童図書	・ ・ ・ ・ ・	78
AV (CD)	・ ・ ・ ・ ・	79
AV (DVD)	・ ・ ・ ・ ・	80

10 葛飾区立図書館関係例規集

葛飾区立図書館設置条例	・ ・ ・ ・ ・	81
葛飾区立図書館館則	・ ・ ・ ・ ・	82
葛飾区立図書館処務規程	・ ・ ・ ・ ・	86

1 葛飾区の概要

○ 位置

日本橋の全国里程元標から区の中心地点(京成青砥駅)まで、およそ 10.1 キロメートル、東は江戸川を境に千葉県松戸市に、西は足立区・墨田区、南は江戸川区、北は大場川を境として埼玉県八潮市・三郷市にそれぞれ接している。

○ 地勢

地形は南北にやや長く9.8km、東西は約7.3km、面積は34.80km²と23区中7番目の広さを持ち、区部の約5.5%を占めている。

区全体が平坦な土地で、海拔2.5mの水元、柴又地区から、マイナス1mの新小岩地区へと北から南へわずかながら傾斜している。区の北側には大場川、東には江戸川、中ほどには中川と新中川が流れ、そして西側から南側には荒川と綾瀬川が流れ、綾瀬川は東四つ木地区で中川と合流している。

○ 区の人口

465,079人(男 232,302人、女 232,777人)

○ 世帯数

237,862世帯

○ 区の花

花しょうぶ



○ 区の木

しだれやなぎ



(令和2年4月1日現在)

2 図書館のあゆみ

(1) 葛飾区立図書館のあゆみ

昭和	月	
24	1	本区最初の図書館として、本田町17番地に葛飾図書館（現・立石図書館）開設。面積90㎡余、約3,000冊の蔵書で発足。入館料大人2円、子ども1円（当時ハガキ1枚2円）。
25	4	「図書館法」の制定により、入館料の徴収を廃止。
26	3	第1回レコードコンサート開始。クラシック、ポピュラーそれぞれ解説者をつけて、土曜日の夜、閉館後に開催。
28	4	団体貸出業務開始。各分野の図書を詰め合わせた10冊を1パックとし、50冊まで1か月貸し出す。
30	7	隣接の旧本田職業安定所の建物を改築して現在地（立石一丁目9番1号）に移転。
35	4	夜間開館（午後6時まで）始まる。貸出冊数を1人2冊までとし、貸出期間を10日間とする。
39	4	平日の開館時間を、午後8時までに延長。
42	4	旧新宿支所跡（新宿三丁目7番1号）に「葛飾区教育センター」を開設。センター内に教育研究所などと併設で、葛飾区立葛飾図書館開館（4月20日）。貸出方式にブラウン方式を採用（以後全館この方式となる）。 旧葛飾図書館は「葛飾区立立石図書館」に改称。
	5	葛飾図書館内に郷土資料室を開設。
	9	団体貸出業務を立石図書館から葛飾図書館へ移管（5人以上を1団体とし、1口10冊、5口まで1か月間貸出）。 読書週間中に、葛飾図書館で初めて講演会及び映画会を行う（講師は、秋山ちえ子氏「家庭と読書」ほか）。（他館は昭和54年度から）
43	5	レコードの購入開始。16ミリフィルム、映写機の貸出開始。葛飾図書館で土曜レコードコンサート開始。
	9	「葛飾図書館報」創刊。
44	6	団体貸出用配本車配備。「電話一本で本の出前」のキャッチフレーズにより貸出サービスの広域化を図る。午前中受けたリストに基づき午後配本。
	8	電子コピーによる複写サービス開始。
	9	読書週間行事として郷土史講座開催。以後、毎年2日間にわたり開催。
45	5	入館票を廃止し、入館札（プラスチック製）により閲覧室は座席指定となる。児童室は全廃。 レコードコンサートにクラシック、ポピュラー各解説者がつく（葛飾図書館）。

昭和	月	
46	4 7 11	図書の予約制度を導入。 児童向けに図書館PRのためのキャラバン実施（葛飾図書館）。 立石図書館、改築のため休館。
47	7 8	視覚障害者のための点字図書の収集、貸出開始。1人5冊まで1か月間。 夏休み期間中、レコードの館外貸出開始（葛飾図書館）。 「葛飾図書館報」の名称を、第8号から「花しょうぶ」と改名。
48	4 5	貸出冊数を2冊から3冊（児童室は4冊）に、貸出期間を2週間とする。 立石図書館改築工事竣工、1日業務再開。旧図書館の4倍以上の規模となる。
49	6	団体貸出の電話受付を廃止し、来館選定方式となる。
51	8	高校生以上を対象にレコードの貸出開始（葛飾図書館）。1回2枚、期間1週間。
52	6 10	1日、お花茶屋図書館開館（お花茶屋二丁目1番15号）。障害者用設備設置。 1日、都営住宅1階に上小松図書館開館（東新小岩三丁目12番1号）。
54	4	レコードの貸出を中学生以上とする（葛飾図書館）。
55	2	「葛飾区基本計画」策定。この計画により図書館建設及び、蔵書目標の骨子固まる（中央館1館は16万冊、地域館は6館・5万ないし7万冊）。 学級招待をはじめて実施（立石図書館）。
56	7 10	立石図書館にレコード、カセットテープの館内利用コーナー及び参考図書コーナーを設置。 1日、都営住宅1・2階に亀有図書館開館（亀有一丁目17番5号）。
57	4 6	カセットテープの貸出開始。1回2本、期間1週間（葛飾図書館）。 1日、水元保健相談所と併設して水元図書館開館（水元一丁目7番3号）。
58	3 5 9	図書の年間個人貸出冊数、6館合計で100万冊を超える。 一般室図書の貸出冊数を児童室と同様に4冊とする。期間2週間。 視覚障害者にカセットテープの貸出開始（葛飾図書館）。 連絡車による宅配。電話でも申込みを受け付ける。
59	12	園招待を初めて実施（水元図書館）。 葛飾区教育センターの改修工事始まる（出張所分室、東福祉事務所の移転を機会に、葛飾図書館の拡充整備を行う）。
60	11 12	葛飾図書館、改修工事完了。障害者用設備（対面朗読室、録音室等）設置。 区内全域をカバーする図書館のセンターとして始動する。 区立図書館の事務改善及び機械化検討委員会発足。
61	4 10	視覚障害者への対面朗読サービス開始。 区立図書館の電算化に向けて、システム構築部発足。

昭和	月	
62	4	一般事務の事務事業の改善、充実を目的として、一般室事務研究会を発足。 児童事務の事務事業の改善、充実を目的として、児童室事務研究会を発足。
	6	25日、鎌倉図書館開館（鎌倉二丁目4番5号）。区立図書館で初めてCD購入。 同日、葛飾、立石、鎌倉3館によるオンラインサービス開始。23区初の利用者用端末を設置。 図書の出借冊数を6冊までに変更。期間は従来どおり2週間。
63	6	1日、お花茶屋、上小松、亀有、水元各館の電算化により、葛飾区立図書館7館全館オンラインサービス開始。 16日、葛飾図書館に「葛飾コーナー」を設置。朝日新聞に掲載される。 (6月11日朝刊) 「葛飾コーナー」には、①葛飾区についての記述のある図書、②葛飾区の地名が載っている図書、③葛飾区在住の画家、工芸家等の作品が掲載されている図書、④葛飾区内に在住している人の著作（過去に在住した人を含む）を置く。設置時約130冊。
	7	区内の小学生に対し、学校を通じて夏休み向けパンフレット、推薦図書リスト「むぎわらぼうし」を配布、図書館利用を呼びかける。
平成	月	
元	1	区立図書館全館で、CD、カセットテープ及びレコードのコンピュータによる貸出に向けて準備を開始。 新聞の区内図書館関連記事の切抜きを開始。 区立図書館のPR活動の促進を目的とする広報委員会を発足。 資料収集について検討する資料委員会を発足。 電算システムの改善、開発に向けて電算委員会を発足。
	7	1日、区立図書館全7館の平日の児童室開室時刻を、それまでの午後1時開室から、一般室と同様、午前9時開室とする。
	8	4日、水元図書館で、小学生が「一日図書館員」を体験。

平成	月	
元	11	<p>1日、区立図書館全館で、CD、カセットテープ及びレコードのコンピュータによる館外貸出を開始（開始時の所蔵は、CD5,507枚、カセットテープ10,628巻、レコード8,356枚）。貸出点数はCD、カセットテープ合わせて1人2点まで、レコードは制限なしとした。貸出期間は、図書と同じく2週間。産業経済新聞に掲載される（10月26日朝刊）。</p> <p>CDの貸出が11月1か月間で1.4回と好調。</p> <p>同日、葛飾図書館のCD、カセットテープ及びレコードの貸出カウンターを2階の一般図書カウンターに移し統合した。これに伴い、貸出時間を午後5時から午後8時まで延長。</p>
2	1	<p>区立図書館全7館に特設コーナーを設置。テーマは葛飾「地方出版物」、立石「戦争と平和」、お花茶屋「実年」、上小松「外国語」、亀有「環境問題」、水元「ヤングレファレンス」、鎌倉「消費者」。葛飾図書館の地方出版物コーナーが読売新聞に掲載される（1月26日朝刊）。</p> <p>葛飾図書館に洋書コーナーを設置。ビジュアルなものや世界の名作、日本を紹介したものを中心に新規購入した750冊を加え、1,200冊を備える。</p>
	4	<p>図書、雑誌の貸出冊数の制限を撤廃。CDとカセットテープの貸出も4点までに拡大。</p> <p>障害者に対する区立図書館のサービスを検討する障害者サービス委員会発足。</p>
	7	<p>1日、CD、カセットテープの予約サービスを開始。受付は、自館所蔵分のみ。</p>
	10	<p>区立図書館全7館において、蔵書の収集分担を開始。</p>
	11	<p>1日、登録申込みの際に必要な生年月日を生年のみとした。</p>
3	1	<p>5日、CD、カセットテープを他の図書館から取り寄せるサービスを開始。これにより予約受付は、全館の資料が対象になると同時に、返却も任意の館にすることを可能とした。</p>
	3	<p>「郷土と天文の博物館」の開設に伴い、郷土資料室所蔵の資料を同博物館に移管することとなり、葛飾図書館内に設置されていた郷土資料室を廃止した。</p>
	6	<p>CD-ROMの収集を開始。</p>
	7	<p>ビデオソフト及びレーザーディスクの収集を開始。</p>
	11	<p>音訳ボランティア中級講座を開催。</p>

平成	月	
4	1	葛飾図書館2階の郷土資料室跡を改修し、生活、学習、スポーツ、レクリエーション等区民に役立つ各種の情報資料（主として図書、雑誌）を集めた、情報コーナーを設置。
	12	区立図書館電算システムを新規機種へ移行（第1回バージョンアップ、同時に女性センター図書資料室とのオンラインを開設し、資料の相互貸借を実施）。 利用者開放端末「はてなくん」を設置。
5	3	葛飾図書館の児童室前庭を緑陰閲覧室として整備し、利用者へ開放。
	7	各館代表者で構成する図書収集方針策定委員会を発足。
	8	小学生の「一日図書館員」を全館で実施。
6	11	葛飾図書館（教育センターホール）で「図書のリサイクル市」を試行。2日間で来場者数2,973人、22,332冊（内訳：一般書14,882冊、児童書4,230冊、雑誌3,220冊）の本を提供。 地域館で、視覚障害者に対する宅配サービスを試行実施。
7	1	葛飾図書館で、ビデオテープの貸出開始。新規購入200巻を加え、928巻を備える。貸出は1人1巻で1週間。 朗読ボランティア初級養成講座を開催。
	5	図書館システムのバージョンアップに向けて電算委員会発足（現状の問題点をアンケートに集約し、各メーカー及び自治体を視察）。
8	5	朗読ボランティア中級養成講座（全10回）を開催。
	12	7日、四つ木地区図書館開館（四つ木四丁目8番1号 よつぎ小学校内）。 葛飾図書館の分館とする。
9	8	葛飾図書館の2箇所目の分館として、西水元地区図書館設立工事着工。
	11	「本のリサイクル市」を亀有図書館で単独開催。1日で来場者数820人、4,500冊（内訳：一般書2,500冊、児童書1,500冊、雑誌500冊）の本を提供。
10	4	第3日曜日を開館日とする（地区図書館を除く）。 館内整理日を第4木曜日とする。 対面朗読と肢体不自由者への宅配を開始。 視覚障害者・音訳ボランティア・点訳ボランティア・図書館職員による四者懇談会を開催。
11	1	電算システム新機種へ移行（第2回バージョンアップ）。 AVマーク（AV-NOCS）の導入及び図書マーク（日販マーク）のバージョンアップ。 ISBN総合目録に加わり、相互協力を強化した。各館にPCを設置し、都立図書館蔵書目録（METLICS）が検索可能になる。
	6	1日、西水元地区図書館開館。（西水元二丁目2番8号 西水元あやめ園内） 葛飾図書館の分館とする。

平成	月	
12	4	<p>四つ木・西水元地区図書館の第3日曜日を開館し、土曜・日曜の開館時間を午前10時から午後5時までとする。</p> <p>返却期限の過ぎている資料がある場合は、新たに資料の貸出は行わないこととする。</p> <p>ビデオソフトの貸出期間を2週間とする。</p> <p>葛飾図書館において、国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。</p> <p>組織改正に伴い、各館で行っていた資料の選定を、葛飾図書館における集中選定とする。</p> <p>資料の装備を委託から直営に切り替える。</p> <p>一般公募による非常勤職員を初めて採用（24名）。</p>
	9	<p>利用案内の英語版を改定。中国語版・ひらがな版を新たに作成。</p> <p>お花茶屋図書館耐震及び空調設備改修工事実施（9月20日～11月24日休館）。</p>
	11	<p>子ども読書年企画事業として、連続講演会を開催。</p> <p>「むぎわらぼうしの12年展」を葛飾図書館ロビーにて同時開催。</p> <p>子ども読書年記念リーフレット「いっぽ いっぽ」を作成。</p>
13	3	<p>教育研究所が、旧明石小学校へ移転。</p> <p>かつしかFMで、月2回（第2・第4水曜日） 図書館の放送時間を新設。</p>
	4	<p>教育研究所移転により図書館単独施設となる。教育センターの名称を変更し、葛飾図書館とする。</p> <p>地域館・地区館において、葛飾図書館所蔵のビデオテープの予約による貸出開始。</p> <p>地域館・地区館において、国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。</p> <p>葛飾区音訳ボランティア作成・校正済の録音テープを初めて都立図書館に登録。</p>
	6	<p>亀有図書館冷暖房設備改修工事実施（6月5日～7月9日休館）。</p> <p>障害者サービスの利用案内（墨字版）を作成。</p>
	7	<p>1日から葛飾図書館1階エントランスにて、検定前の小・中学校教科書の展示会を開催。</p>
	9	<p>19日、葛飾ゆかりの作家 中島梓氏の御母堂よりその著作の寄贈を受ける。</p> <p>録音図書全国総合目録への参加。5作品を登録。</p>
	10	<p>庁内レファレンスサービス事業を開始。</p> <p>葛飾ケーブルテレビで、新刊本の紹介開始。</p>
	12	<p>障害者サービスの利用案内（点字版）を作成。</p>

平成	月	
14	1	葛飾図書館3階の行政資料室を旧教育研究所資料室に移設し、行政資料・郷土史料の収集を強化し充実を図る。 利用案内のハンゲル語版を新たに作成。
	3	総合的な学習や調べ学習を支援するため、「図書館利用案内小中学校版」を作成。
	4	「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月公布・施行）に定められた「子ども読書の日」（4月23日）にあわせ、絵本やおすすめ本の展示会などを各館で開催。
	6	「第1期 読み聞かせボランティア講座（初級）」を開催（受講定員25名に対し、95名の応募）。
	7	中学生、高校生向きの図書リスト「Dog ears（ドッグ イアーズ）」を作成し、区立中学校全生徒に配布。
	9	葛飾図書館耐震及びエレベータ設置工事実施（9月2日～11月30日休館）。あわせて、葛飾図書館の2階にレファレンスカウンター、1階に総合カウンターを設置。 葛飾図書館にBDS（ブック・ディテクション・システム - 葛飾図書館資料無断持出検知システム）を設置。
	10	区制70周年記念行事の一つとして「シルバー図書館員」を実施。 その他、翌年3月までに区制70周年記念行事として、講演会、人形劇、葛飾昔話紙芝居会、16mmフィルム上映会、区制70年と葛飾区立図書館あゆみ展、文学で見る葛飾区展などを開催。
15	2	「第2期 読み聞かせボランティア講座（初級）」を開催（応募者が多数のため第1期を受講できなかった方々の要望に応え、第2期を開催。受講定員25名に対し105名の応募）。 「葛飾区立図書館基本計画」を策定。計画期間を10年間とし、図書館サービスの計画的な充実を図る。
	4	開館日及び開館時間を拡大する（地区図書館を除く）。祝日（1月1日を除く）も開館し、月曜日が祝日にあたる場合は、月曜日を閉館し、翌火曜日を休館とする。祝日の開館時間は、午前9時から午後5時まで。また、土曜日の開館時間を午後5時から午後8時までに延長する）。 AV資料の利用状況を見直し、レコードの収集、貸出等を休止。 各地域図書館に専用レファレンスカウンターを設置（地区図書館を除く。葛飾図書館は平成14年12月に設置）。 平成16年開館予定の青戸地区図書館の資料の収集を開始。
	6	水元図書館で初めて公共図書館・学校図書館連絡会を開催。

平成	月	
15	9	<p>9月5日、葛飾区基本計画に位置づけられた新中央図書館整備に向け、第1回葛飾区中央図書館建設検討委員会（庁内検討組織）を開催。</p> <p>9月27日から、前年の初級読み聞かせボランティア講座に続き、「第1期中級読み聞かせボランティア講座」を開催。</p> <p>葛飾図書館にパソコン利用者のためのパソコンルームを設置（8席）。</p>
16	1	<p>全館1月10日に開館。新システムによる業務開始。</p> <p>10日、葛飾区立図書館ホームページを開設。</p> <p>10日から、インターネットによる図書館資料の検索サービス開始。</p> <p>17日から、館内利用者開放端末からの予約受付開始。</p> <p>28日から、インターネットによる予約受付開始。</p> <p>新システムによる業務開始に伴い、これまで無制限であった貸出冊数及び予約冊数を変更。図書、雑誌の貸出冊数については、合わせて30冊まで、予約冊数については合わせて20冊までとする。AV資料については変更なし。</p> <p>リクエストの受付については、区内在住、在勤、在学及び近隣区に在住の利用者のみとする。</p> <p>葛飾図書館に持ち込みパソコン室を設置し、館内で電算機器が使用可能になる。</p>
	4	<p>1日、葛飾図書館の一部組織改正を行い、新中央図書館の計画を担当する整備担当係を新設。</p> <p>文部科学省から今までの児童サービスについての功績に対して、表彰を受ける。</p>
	5	<p>12日、青戸地区図書館開館（青戸五丁目20番6号 青戸地区センター内）葛飾図書館の分館とする。</p> <p>本年度から導入された、学校図書館支援指導員の導入に伴う、研修を図書館で実施。</p> <p>新中央図書館整備にあたり、区民が参加する「中央図書館開設懇談会」を設置。</p>
	8	<p>お花茶屋図書館で公共図書館・学校図書館連絡会を開始。</p> <p>居場所作りの一環として、会議室の利用がない時に中学生のグループ学習に開放（上小松図書館）。</p>
	10	<p>お花茶屋図書館において、ビジネス支援コーナー（Wコーナー）を設ける。</p>
	11	<p>新中央図書館整備に向けて、「新中央図書館開設にあたっての基本的な考え方」をとりまとめる。</p> <p>葛飾図書館においてDVDの貸出開始。</p> <p>葛飾図書館において、ビジネス支援コーナー（Wコーナー）を設ける。</p> <p>葛飾図書館で公共図書館・学校図書館連絡会を開始。</p>

平成	月	
16	12	1日、千葉商科大学との連携事業開始(図書館が発行した紹介状を持参した区民は千葉商科大学附属図書館の利用カードが発行される。)
17	2	上小松図書館で公共図書館・学校図書館連絡会を開始。 ブックスタート事業開始に向けた、ブックスタート準備会発足。 金町保健センター管内子育て支援機関による「子育てらんらんフェスティバル」を開催(葛飾)。
	3	利用者の登録更新期間を3年から5年に延長。 亀有図書館で公共図書館・学校図書館連絡会を開始。
	4	非常勤図書館専門員の導入(葛飾区立図書館での経験5年の者は非常勤図書館専門員として最大3年間まで雇用継続)。 ヤングアダルト向け図書館利用案内「ようこそ葛飾区の図書館へ」を作成。 区内小・中学校への図書配送サービスを開始。 図書館への来館が困難な高齢者への宅配サービスを開始。
	5	区内中学校の生徒に利用カードを配布。 葛飾区子ども読書活動推進計画の策定。 ブックスタートボランティア講習会を実施。 鎌倉図書館で公共図書館・学校図書館連絡会を開始。 パソコンを使った手づくり絵本教室開催。 「中央図書館開設懇談会」の公募委員を募集(18名応募の中7名選定)。
	6	葛飾図書館において利用者パソコンを2台設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。 庁内向けに業務用新着図書リストを作成。グループウェアに掲示を始める。
	8	ブックスタート事業の開始(図書館でのブックスタートパックの配布と絵本読み)。
	12	12月28日と1月4日を開館日とする。
18	1	「葛飾区関連新聞記事検索システム」の公開を開始(インターネットでも公開)。 ホームページアクセス数100万件を超える。
	3	新中央図書館実施設計完成。 利用者アンケートの実施。
	4	葛飾図書館でカウンター業務の一部委託が始まる。 葛飾図書館のみ月曜日を閉館とする。 メールレファレンス受付をホームページ上で開始。 メール督促を開始。

平成	月	
18	4	ブックスタート事業の開催場所が、各図書館から各保健所、保健センターへ変更。保健所、保健センターで実施される3・4か月健診時に実施。
	5	お花茶屋、上小松、鎌倉図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。 病院・施設入所者への宅配サービス開始。 点字プリンターを設置。
	6	亀有図書館において、ビジネス支援コーナー（Wコーナー）を設置。
	8	ホームページデザインをリニューアル。デザインを変更。
	9	ビジネス関連コーナーを拡充（葛飾図書館）。
	11	再開発ビル起工。 障害者サービスボランティア入門講座実施。
19	3	中央図書館開設懇談会を終了し、（仮称）図書館友の会準備会へ移行する。
	5	（仮称）図書館友の会準備会発足。
	6	立石、亀有、水元図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。
	8	ホームページにヤングアダルトコーナー開設。
	10	ICタグシステムの導入決定。
20	2	21年秋に稼働予定の新システムプロポーザルの公募開始。
	3	ホームページアクセス数300万件を超える。
	6	次期システムプロポーザル実施・決定。 葛飾図書館友の会設立。
	11	ICタグ貼付開始（葛飾図書館、立石図書館を除く全館、全資料）。
21	3	立石図書館が建替え工事のため、休館（22日）。 立石サービスコーナー開設（24日～平成23年6月26日）。
	4	図書マークを、ニッパンマーク（NS）からTRCマーク（TRC）に移行。
	5	葛飾区立中央図書館窓口業務プロポーザルの公募開始。
	6	「葛飾図書館さよならサイクル市」開催（約9,000冊を提供）。（21日） 葛飾図書館は縮小運営。一階部分で図書館サービスを開始。
	7	再開発ビル中央図書館部分引渡し。 中央図書館窓口業務プロポーザル業者決定（委託期間平成21年9月から24年8月）。
	9	葛飾区立図書館メールマガジン登録開始。 中央図書館を除くすべての館で新システム稼働、ICタグを使用した貸出、返却サービスを開始。各地域図書館にて自動貸出機各1台が稼働（地区図書館は除く）。 図書館ホームページデザインのリニューアル。

平成	月	
21	9	<p>Webからの未所蔵資料の予約、登録、メールマガジンを含むメールサービスを開始。</p> <p>「葛飾区視聴覚ライブラリーに関する規則」及び「16ミリフィルム等に関する規則」の廃止を文教委員会に提出。</p>
	10	<p>17日、葛飾区立中央図書館開館。23区内でワンフロアとしては最大の図書館として開設。自動貸出機、自動返却仕分機、予約資料コーナーの稼働。ユニバーサル・デザインを採用。</p> <p>中央図書館でビジネス支援サービスの一環として「ビジネス相談会」を開催。中央図書館でオリジナル図書館バッグを販売。</p> <p>葛飾図書館は新宿図書センターに名称を変更。区内図書館ストックヤードの保存庫機能と地区図書館としての機能を併設させるための準備を開始。</p>
	11	<p>図書館ホームページの「葛飾文学散歩」が稼働。</p>
22	2	<p>メールレファレンスを利用者ログイン画面からログインして確認できるように変更。</p> <p>文部科学省が立ち上げた「図書館海援隊プロジェクト（図書館による貧困・困窮者支援）」の参加を中央図書館が表明。</p>
	3	<p>平成22年度前期中央図書館ビジネス相談会の定期的開催を決定。</p> <p>16ミリフィルム及び16ミリ映写機の貸出を終了。</p>
	4	<p>新宿図書センターに区内図書館のストックヤードとして保存庫を開設。</p> <p>国会図書館、各大学図書館所蔵の相互貸借資料の有料化を図る。</p>
	8	<p>葛飾区ゆかりの作家「栗本薫」氏のご遺族から、直筆原稿他約297点の寄贈の申し入れ。</p> <p>中央図書館一周年記念事業として、図書館所蔵資料の葛飾コレクション図録の作成と葛飾区ゆかりの作家の資料展を開催。</p>
	9	<p>新宿図書センターの1階部分について、図書館機能と学校図書館支援機能を持たせるため、改修工事を実施（9月27日から1月4日）。</p> <p>改修工事中は2階をサービスコーナーとして縮小開設。</p>
10	<p>ヴィナシス金町（再開発ビル）一周年記念行事に図書館も参加し、ブックトークを行う。</p> <p>新立石図書館の特別資料は、かつしかエコライフプラザとの併設のため「環境」とする。</p>	

平成	月	
23	1	新宿図書センター内図書館リニューアルオープン。
	2	子ども読書活動推進計画（第二次）子ども読書活動を推進するための基本的な指針（素案）の報告、検討、確定を行う。
	3	東日本大震災発生（3月11日）。 被害状況確認のため、全図書館を17時に閉館（3月11日）。 13日の開館に向け、全図書館を休館（3月12日）。 12日の休館に伴い、資料の取置期限が3月11日、12日までの利用者の方の資料の取置期限を、15日まで延長。 全図書館で、節電協力のため閉館時間を午後5時に縮小して開館（3月13日以降）。 全図書館で「地震」の緊急特設及び特集展示を開始（3月13日）。 地震発生に伴う省エネ、節電のため、中央図書館を17時で閉館（3月14日）。 安全確保のため、各図書館の一部の行事の中止を決定（3月15日）。 利用者の方の資料の取置期限を、15日から16日に延長。 全図書館の開館時間を当面の間17時までに短縮する縮小開館を決定（3月15日）。 縮小開館に伴い、資料の取置期限が3月11日から18日までの利用者の方の取置期限を、18日まで延長。 安全確保のため、各図書館の一部の行事の中止を決定（3月18日）。 災害発生時の安全を考慮し、中央図書館及び西水元地区図書館で一部の行事の中止を決定（3月19日）。 震災の影響で葛飾区内に避難されている方の利用登録及び貸出を開始（3月23日）。 水元学び交流館に避難されている方へ、団体貸出を開始。貸出資料約50冊（3月25日）。 水元学び交流館において、読み聞かせを実施。参加者は一般5名、児童6名（3月25日）。 水元学び交流館への団体貸出を実施。貸出資料約80冊（3月30日）。
	4	2日、奥戸地区図書館開館（奥戸三丁目5番1号 南奥戸小学校内）。中央図書館の分館とする。 12日より30日まで、館内を消灯し、カウンター業務を一部縮小して夜間開館を行う。 （縮小夜間開館中のサービス：予約で取り置いている資料の貸出、受取館の変更、貸出中資料の延長、再貸出、資料の予約、資料の返却、新規の利用登録、住所・電話等の変更登録）

平成	月		
23	4	<ul style="list-style-type: none"> ・中央、立石図書館の夜間開館時間：午後5時から午後8時まで (中央、立石図書館は通常月曜日～土曜日は午後10時まで。日曜日・祝日は午後8時まで開館。) ・地域図書館の夜間開館時間：(日曜日・祝日を除く)午後5時から午後8時まで ・地区図書館の夜間開館時間：(金曜日のみ)午後5時から午後8時まで 	
	5	<p>中央図書館で、開館時間を午後8時までに短縮した上で、通常のサービスを開始(同年6月30日に開館する立石図書館も同様)。 また、地域図書館及び地区図書館で通常のサービスを開始(5月1日から9月11日まで)。</p>	
	6	<p>立石サービスコーナー閉館(27日)。 立石図書館がかつしかエコライフプラザとの複合施設として開館(30日)。 中央図書館に次いで、自動貸出機、予約資料コーナーを設置。また、新たに簡易自動返却機によるシステムを開始。 「葛飾区子ども読書活動推進計画(第二次)～子ども読書活動を推進するための基本的な指針～」を策定。おおむね5年間を計画期間とし、子どもの読書活動の推進のための充実を図る。 図書館ホームページのコンテンツ「区民がつくる葛飾百科」が稼働。</p>	
	7	<p>各地区図書館で行っていた学校への団体貸出用のパックを、新宿図書センターに設けた団体貸出エリアからの団体貸出・返却として一元化に変更した。</p>	
	8	<p>葛飾区ゆかりの作家「栗本薫」氏の寄贈直筆原稿を含め、葛飾区関連の地域資料のデジタル化のためシステム開発準備開始。</p>	
	9	<p>中央図書館及び立石図書館で、10日より通常の開館時間でサービスを開始。 新宿図書センター3階部分の閲覧席80席を開設。</p>	
	10	<p>新宿図書センター内に学校図書館支援コーナーを開設。小中教科書を含み、主に学校図書館関係者に参考になる資料を中心に収集する。</p>	
	12	<p>中央図書館にて年末年始開館の試行を開始(12月31日～1月3日)。</p>	
	24	2	<p>ホームページアクセス数1,000万件を超える。</p>
		3	<p>寄贈直筆原稿及び葛飾区関連資料のデジタル化した地域資料の納品完了。 「葛飾区立図書館利用に障害のある人へのサービス実施要綱」改正。</p>
		4	<p>図書館が所蔵する葛飾ゆかりの作家の自筆原稿を始めとする館内の地域資料を23年度にデジタル化したことを受けて、一般公開を行うためにシステム改修とデジタル地域資料の図書館ホームページコンテンツの作成に着手。この作業を目的とする図書館内検討チームを発足。</p>

平成	月	
24	4	小学校1年生を対象に「一年生事業」開始。
	5	全国視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」に加入。
	7	葛飾区立中央図書館窓口プロポーザルの公募開始。 葛飾区子ども読書活動推進計画（第二次）に基づき、「セカンドブック」事業の準備を開始。
	8	中央図書館窓口業務プロポーザル業者決定（委託期間平成24年9月～27年8月）。
	10	改修工事のため、水元図書館業務縮小開館実施（10月1日から19日まで）。業務縮小開館中は、月曜日に加え、土曜日、日曜日、祝日を休館日とし、閉館時刻を午後5時とした。また、10月20日から25日まで特別整理期間として休館した。 中央図書館開館3周年記念イベントを開催。 「葛飾区子ども読書活動推進計画（第二次）」に基づいた多文化サービスの一環として、「いろんなことばのおはなし会」を実施。年4回の定例化とした。
12	中央図書館、立石図書館で年末年始開館が開始。	
25	3	24年8月に実施した葛飾区立図書館の利用に関するアンケート結果概要版を公表。 4月1日から「かつしかデジタルライブラリー」として公開するため、館内OPAC、図書館ホームページ及び中央図書館の専用パソコンで閲覧できるよう、図書館システムへのデジタル画像約18,000点のデータ取込を実施。
	4	1日「かつしかデジタルライブラリー」の公開を、図書館ホームページ、館内OPAC、及び中央図書館に設置したデジタルライブラリー専用パソコンで開始。
	5	3歳児を持つ家庭に向けてセカンドブック事業を開始。 東京理科大学葛飾図書館と葛飾区立図書館の連携を開始。18歳以上の葛飾区民は、身分証明書と葛飾区立図書館利用カードの持参により、図書館からの紹介状不要で東京理科大学葛飾図書館の利用が可能となった。
	10	お花茶屋図書館は、10月1日から12月13日まで照明設備取替工事のため業務を縮小し開館。また、12月14日から19日まで特別整理期間として休館。
	11	東京聖栄大学との定例会を開始。
26	2	中央図書館において、新座席管理システムプロポーザル実施・決定。 中央図書館・お花茶屋図書館にて医療・健康情報講演会を初めて開催。
	3	「葛飾区立図書館の基本的な考え方（取組方針）」の素案を作成。 「第1回 葛飾区立図書館 ビブリオバトル」を中央図書館にて開催。

平成	月	
26	3	立石図書館で初めて「バリアフリー映画会」を開催。
	5	中央図書館において雑誌スポンサー制度を開始。 青戸地区図書館開館 10 周年記念イベントを開催。
	6	中央図書館で大学連携事業の一環として、初めて「東京聖栄大学の学生による食育の絵本読み聞かせ」を実施。
	7	中央図書館で、新座席管理システム稼働。 中央図書館で、国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」を開始 (25 日)。
	10	中央図書館 開館 5 周年 (5 年間の来館者数 5,991,920 人 5 年間の貸出資料数 5,417,468 点 (平成 26 年 8 月 31 日現在))。記念イベントを実施。 図書館のより一層の利便性の向上を図るため、新小岩駅東北広場に図書返却ポストを設置 (20 日)。
	11	東京理科大学祭に初めて参加し、「リサイクル市」を開催 (3,700 冊程度用意・来場者 1,929 人)。
	12	「葛飾区立図書館の基本的な考え方 (取組方針)」を策定。 中央図書館で初めて「バリアフリー映画会」を開催。
27	2	お花茶屋図書館内郷土資料室に常設展示「平櫛田中とかつしか」を設置。
	4	小学校 1 年生、中学校 1 年生に向けて本を手渡す「かつしかっ子ブック事業」が開始。
	6	スマートフォン版 O P A C を開設。 中央図書館の個人研究室・研究個室・個人閲覧席において、公衆無線 L A N サービスを開始。
	9	中央図書館内に「いきいきシニアコーナー」を夢と誇りあるふるさと葛飾基金を利用し、新設。
	11	「葛飾区立図書館の利用に関するアンケート」を実施。来館されない方への調査として、図書館ホームページからも実施。総数 2,620 件 (図書館内 1,657 件、ホームページ 963 件)。 「葛飾区立図書館の基本的な考え方 (取組方針)」の点字版を制作。
28	3	ボランティアによる「本の宅配サービス」に向け、説明会を実施。 26 日、こすげ地区図書館が開館。(小菅三丁目 8 番 22 号 こすげ小学校敷地内)。中央図書館の分館とする。当日の来館者数 548 人。
	4	登録情報の適正な管理のため、利用カードの有効期限を 5 年から 3 年に変更。 および区民サービスの充実から、未所蔵資料の取り寄せや、新刊購入リクエストは葛飾区在住・在勤・在学の方に変更。

平成	月	
28	6	立石図書館開館5周年。記念イベントを実施。 ボランティアによる「本の宅配サービス」を開始
	7	堀切地区センター前に図書返却ポストを設置(21日)。
	10	ホームページに読書記録、お気に入り登録を機能追加。読書手帳はダウンロード可能とした。
	12	四つ木地区図書館開館20周年。記念イベントを実施。
29	1	日本赤十字産院の移転に伴い新宿図書センター資料整理の検討を開始。
	3	青砥駅高架下公共広場、新柴又駅前に図書返却ポストを設置。(24日) ブックスタート事業、セカンドブック事業、かつしかっ子ブック事業(小学1年生)対象のお子さんに読書手帳の配布開始。
	6	第11期葛飾区社会教育委員の会議のテーマが「区民の拠り所となる図書館を目指して」となり、第1回目の会議が開催される。(16日)
	7	「ありがとう新宿図書センター休館イベント」を実施。(7月28日～9月30日) 日本赤十字産院の移転に伴い新宿図書センター内の学校図書館支援コーナーを終了。(31日)
	8	立石図書館に認知症コーナー「認知症なび」を新設。(24日～)
	9	青戸地区図書館改修工事による休館(9月2日～10月22日) 新宿図書センターに併設されていた「保存庫」を移転するため、水元図書館の改修工事と縮小開館実施。(9月26日～10月22日)
	10	葛飾赤十字産院の移転建替えに伴い新宿図書センターを休館。(1日～) 新宿図書センター休館に伴い新宿図書サービスコーナーを設置。(17日～) 水元図書館通常開館、保存庫資料の貸出開始。(27日～)
	11	「新宿図書センターさよならリサイクル市」を開催。(内訳:保育園、学校等行政施設向け11月25日～30日 69団体、約3,450冊 区民向け12月2日～4日 3,785人、約37,850冊)
	12	中央図書館に寄贈された直筆原稿、およびデジタル化した資料を提供協力した「栗本薫・中島梓傑作電子全集」(小学館)が刊行開始。
30	1	葛飾赤十字産院内への図書館設置準備開始。
	2	中央図書館の外国語資料の中に「多読コーナー」を新設。(23日～)
	4	リリオ亀有図書サービスカウンター開設(7日)。 四つ木駅前図書返却ポスト設置(23日)。
	8	中央図書館に寄贈された直筆原稿でデジタル化した資料の中から、栗本薫が中島梓名義で執筆した未発表の私小説「ラザロの旅」が発見される。
	9	鎌倉図書館、空調設備及び証明設備改修等の改修工事により休館及び縮小開館。(4日～平成31年3月22日)

平成	月	
30	11	上小松図書館、照明機器のLED化及び電気設備等の改修工事により休館及び縮小開館（11月6日～12月14日）。
31	1	第11期葛飾区社会教育委員による提言。 「区民のよりどころになる図書館を目指して」を教育長に提出。（11日）3月19日から公開。
	3	葛飾図書館新宿図書センター記念誌－葛飾区立図書館70年のあゆみ－を刊行。
令和	月	
元	5	西水元地区図書館、20周年特別イベント開催（5月24日～6月26日）。
	6	国立国会図書館「レファレンス協同データベース」参加館となる。
	7	第11期社会教育委員を基調講演の講師及びパネリスト等に迎え、「未来の図書館を考えるシンポジウム」を開催。
	10	台風19号の影響により、10月12日午前全館休館。 中央図書館10周年記念イベントを実施。 ※10年間の中央図書館来館者数 11,725,393人、貸出冊数 10,401,718冊（平成21年10月17日～平成31年8月31日）。
	11	お花茶屋図書館、空調工事による休館（11月11日～12月23日）。
	12	お花茶屋図書館、特別整理期間のため休館（12月24日～12月28日）。

(2) 葛飾区立図書館 システムのあゆみ

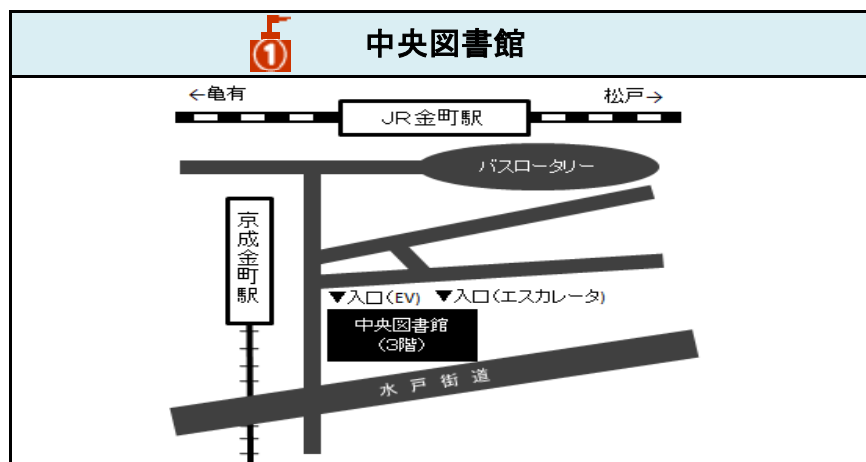
昭和	月	
60	12	区立図書館の事務改善及び機械化検討委員会発足。
61	10	区立図書館の電算化に向けて、システム構築部発足。
62	6	葛飾、立石、鎌倉3館によるオンラインサービス開始。23区初の利用者用端末を設置。 利用者用端末は、タッチ式キーボードで、かなとローマ字のオーバーレイを切り替えて使用する方式だった。
63	6	1日、お花茶屋、上小松、亀有、水元各館の電算化により、葛飾区立図書館7館全館オンラインサービス開始。
平成		
元	4	電算システムの改善、開発に向けて電算委員会を発足。
2	11	1日、登録申し込みの際に必要な生年月日を生年のみとした。
4	12	区立図書館電算システムを新規機種へ移行。(第1回バージョンアップ)(同時に女性センター図書資料室とのオンラインを開設し、資料の相互貸借を実施) タッチパネル方式の利用者開放端末「はてなくん」を設置。 新システムでは利用者開放端末が業務系と切り離されたため業務系への負担が減少。
7	5	図書館システムのバージョンアップに向けて電算委員会発足。(現状の問題点をアンケートに集約し、各メーカー及び自治体を視察。)
11	1	電算システム新機種へ移行。(第2回バージョンアップ) ソフトは2000年対応を含め、部分開発をする。 AVマーク(AV-NOC S)の導入及び図書マーク(日販マーク)のバージョンアップ。 ISBN総合目録に加わり、相互協力を強化した。各館にPCを設置し、都立図書館蔵書目録(MET L I C S)が検索可能になる。 館指定予約リストの出力を開始。
12	4	葛飾図書館において、事務用インターネットパソコン設置。ISDN回線使用。国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。
13	4	地域館、地区館において、事務用インターネットパソコン設置。ISDN回線使用。国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。

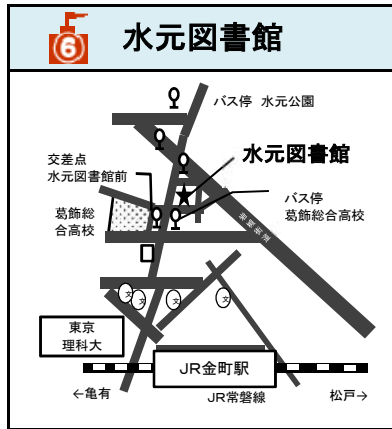
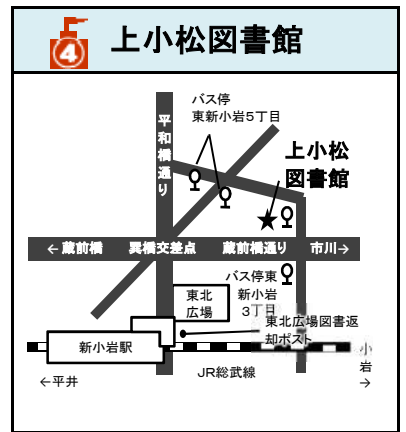
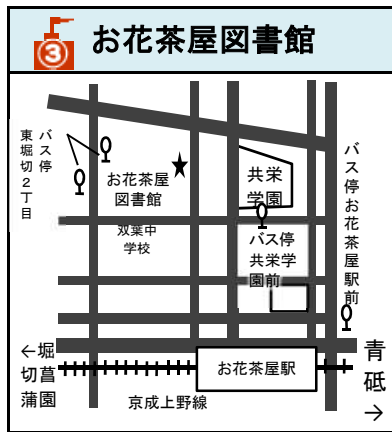
平成	月	
14	5	図書館システムのリース満了（平成15年12月）による、新システム導入の委託事業者の選定について、プロポーザル方式により、事業者からの技術提案を募集。（7月に図書館オンラインシステム開発委託業者選定委員会において、推薦事業者を決定。） ・汎用機からクライアントサーバーへ移行 ・WebOPAC公開、メール送信機能
	9	葛飾図書館にBDS（ブック・ディレクション・システム - 葛飾図書館資料無断持ち出し検知システム）を設置。
15	12	図書館システムの入替え工事開始。 葛飾図書館にパソコン利用者のためのパソコンルームを設置。（8席） 全館のインターネットパソコンの回線をADSLに変更。
16	1	全館1月10日に開館。新システムによる業務開始。 10日、葛飾区立図書館ホームページを開設。 10日より、インターネットによる図書館資料の検索サービス開始。 17日より、館内利用者開放端末からの予約受付開始。 28日より、インターネットによる予約受付開始。 新システムによる業務開始に伴い、これまで無制限であった貸出冊数及び予約冊数を変更。図書、雑誌の貸出冊数については、合わせて30冊まで、予約冊数については合わせて20冊までとする。AV資料については変更なし。 リクエストの受付については、区内在住、在勤、在学及び近隣区に在住の利用者のみとする。 葛飾図書館に持ち込みパソコン室を設置し、館内で電算機器が使用可能になる。
	10	ホームページアクセス数が30万件を超える。
17	3	利用者の登録更新期間を3年から5年に延長。 ホームページアクセス数が50万件を超える。
	6	葛飾図書館において利用者パソコンを2台設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。
18	1	葛飾区関連新聞記事検索システムの公開を開始。（インターネットでも公開。） ホームページアクセス数が100万件を超える。
	4	Eメールレファレンス受付をホームページ上で開始。 メール督促を開始。
	5	お花茶屋、上小松、鎌倉図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供。 点字プリンターを設置。
	8	ホームページデザインをリニューアル。

平成	月	
19	6	立石、亀有、水元図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。
	8	ホームページにヤングアダルトコーナー開設。
	10	ICタグシステムの導入決定。
20	2	21年秋に稼働予定の新システムプロポーザルの公募開始。
	3	ホームページアクセス数が300万件を超える。
	6	次期システムプロポーザル実施・決定。ICタグ、自動返却仕分機、IC予約棚、自動貸出機を検討。
	11	ICタグ貼付開始。（葛飾図書館、立石図書館を除く全館、全資料。）
21	4	図書マークを、日販マーク（NS）からTRCマーク（TRC）に移行。
	9	葛飾区立図書館メールマガジン登録開始。 中央図書館を除くすべての館で新システム稼働、ICタグを使用した貸出、返却サービスを開始。各地域図書館にて自動貸出機各1台が稼働。（地区図書館は除く。） 図書館メールアドレスの変更。 ホームページデザインをリニューアル。 Webからの未所蔵資料の予約、登録、メールマガジンを含むメールサービスを開始。
	10	17日、葛飾区立中央図書館開館。23区内でワンフロアとしては最大の図書館として開設。自動貸出機、自動返却仕分機、予約資料コーナーの稼働。ユニバーサル・デザインを採用。
	11	図書館ホームページのコンテンツ「葛飾文学散歩」が稼働。
22	2	Eメールレファレンスを利用者ログイン画面からログインして確認できるように変更。
23	1	新宿図書センター内図書館リニューアルオープン。
	3	東日本大震災発生。（3月11日）。システムは通常どおり稼働。
	6	中央図書館に次いで、自動貸出機、予約資料コーナーを設置。また、新たに簡易自動返却機によるシステムを開始。 図書館ホームページのコンテンツ「区民がつくる葛飾百科」が稼働。
24	2	ホームページアクセス数が、1,000万件を超える。
	8	男女平等推進センターの全資料にICタグを貼付。
25	3	4月1日から「かつしかデジタルライブラリー」として公開するため、館内OPAC、図書館ホームページ及び中央図書館の専用パソコンで閲覧できるよう、図書館システムへのデジタル画像約18,000点のデータ取り込みを実施。
	4	AVマークを、「日図協マーク（ライト版）」から「LCS CD-MAR C」に移行。

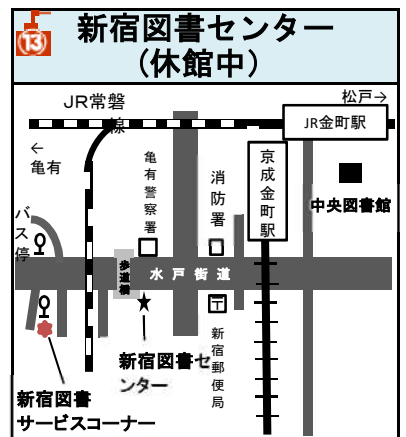
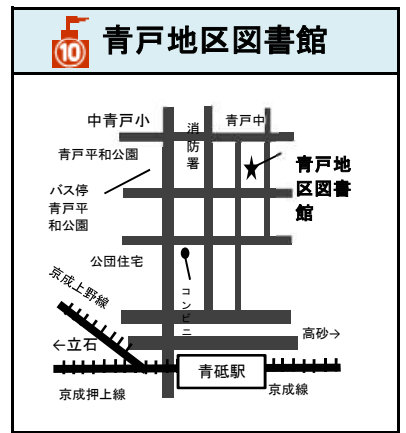
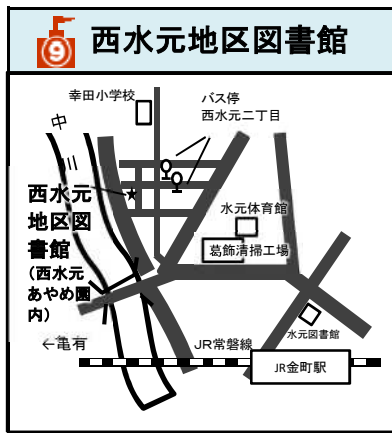
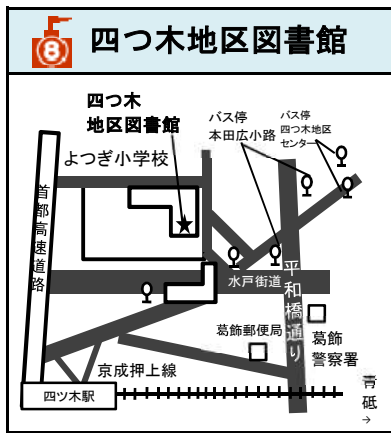
平成	月	
25	4	「かつしかデジタルライブラリー」の公開を、図書館ホームページ、館内OPAC、及び中央図書館に設置したデジタルライブラリー専用パソコン(4台)で開始。
	12	中央図書館において、26年夏に稼働予定の新座席管理システムに関するプロポーザルの公募開始。
26	2	中央図書館において、新座席管理システムプロポーザル実施・決定。
	5	かつしかデジタルライブラリーとして公開するため、図書館システムへ新たにデジタル画像約16,000点のデータ取り込みを実施。
	7	中央図書館において、新座席管理システム稼働。
	10	中央図書館において、国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」を開始。
10	図書館システムのリース満了(平成27年4月)による、図書館システム機器入替の作業開始。	
27	5	葛飾区立図書館全館において、図書館システム機器入替を実施。
		スマートフォン版OPACを開設。
		中央図書館の個人閲覧席、研究個室、及びグループ研究室において、公衆無線LANサービスの提供を開始。
		図書館システムへ新たに栗本薫・中島梓氏の演劇資料などデジタル画像約13,000点のデータ取り込みを実施。
28	10	「読書記録」・「お気に入り登録」機能を追加。
30	3	WebOPACにて、言語での検索機能を追加。
31	1	令和2年度6月に稼働予定の新図書館業務システムに関するプロポーザルの公募を開始。
	3	新図書館業務システム導入の構築委託業者について、プロポーザルを実施し、業者を決定。
令和	月	
元	6	中央図書館において、座席管理システム機器入替を実施。

3 施設の概要





★「リリオ亀有図書サービスカウンター」
平成30年4月から設置。予約資料の受取、資料の返却、資料検索機による検索を行うことができる。



★新宿図書サービスコーナー
(新宿図書センターの休館に伴い、代替施設として平成29年10月17日から設置)

各館の概要

	 中央図書館	 立石図書館	 お花茶屋図書館	 上小松図書館	 亀有図書館	 水元図書館	 鎌倉図書館
創 立 年 月 日	H.21.10.17	S.24.1.10 (S.48.5.1及び H.23.6.30 全面改装開館)	S.52.6.1	S.52.10.1	S.56.10.1	S.57.6.1	S.62.6.25
所 在 地	〒125-0042 金町6-2-1 ヴィナシス金町 プライトコート3階  (有料)	〒124-0012 立石1-9-1 	〒124-0003 お花茶屋2-1-15 	〒124-0023 東新小岩 3-12-1 (都営住宅1階) 	〒125-0061 亀有1-17-5 (都営住宅1・2階) 	〒125-0033 東水元1-7-3 	〒125-0053 鎌倉2-4-5 
電 話 番 号	03-3607-9201	03-3696-4451	03-3690-7661	03-3696-7901	03-3690-1901	03-3627-3111	03-3650-7741
F A X 番 号	03-3607-9200	03-3696-3750	03-3838-5771	03-5698-1755	03-3838-5772	03-3627-3114	03-5694-4421
閲 覧 座 席 数	450 席	190 席	120 席	114 席	137 席	123 席	165 席
パソコン持込可能席数	42 席	5 席	6 席	6 席	2 席	2 席	2 席
インターネットコーナー席数	15 席	10 席	2 席	2 席	2 席	2 席	2 席
敷 地 面 積	—	614.13 m ² (区の複合施設)	911.09 m ²	—	—	2,982.81 m ² (区の複合施設)	1,591.52 m ²
延 床 面 積	5,077.85 m ² (図書館部分)	1,426.00 m ² (図書館部分)	1,754.80 m ²	1,030.90 m ² (図書館部分)	1,472.60 m ² (図書館部分)	1,735.00 m ² (図書館部分)	1,827.40 m ²
蔵 書 数	429,031 冊	112,293 冊	112,433 冊	104,819 冊	114,630 冊	94,239 冊	115,925 冊
(一 般 書)	(361,002 冊)	(83,616 冊)	(82,812 冊)	(79,210 冊)	(85,042 冊)	(64,459 冊)	(84,839 冊)
(児 童 書)	(68,029 冊)	(28,677 冊)	(29,621 冊)	(25,609 冊)	(29,588 冊)	(29,780 冊)	(31,086 冊)
雑誌タイトル数	377 種	161 種	169 種	150 種	151 種	155 種	149 種
新聞タイトル数	44 種 (うち東日本大震災 被災地の新聞3種)	17 種	12 種	13 種	13 種	13 種	14 種
A V 資 料 数	13,623 点	4,321 点	3,383 点	4,193 点	4,382 点	3,638 点	3,672 点
							
開 館 日 数	350 日	346 日	253 日	288 日	288 日	288 日	288 日
職 員 数	25 人	4 人	4 人	4 人	4 人	4 人	4 人
(司書・司書補)	(5 人)	(2 人)	(0 人)	(2 人)	(0 人)	(1 人)	(0 人)
非常勤職員数	11 人	24 人	12 人	11 人	12 人	13 人	11 人
(司書・司書補)	(8 人)	(13 人)	(8 人)	(7 人)	(10 人)	(8 人)	(6 人)
委託職員数	30 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
(司書・司書補)	(20 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)

* 司書・司書補は職員の内数。

* 閲覧席数・蔵書数・雑誌タイトル数・新聞タイトル数・AV資料数は令和2年4月1日現在。

























* 職員数・非常勤職員数は令和2年4月1日現在、開館日数は令和元年度実績。

* 雑誌タイトル数・新聞タイトル数の合計欄の数は、区立図書館の全タイトル数。

* 中央図書館の新聞タイトル数には、東日本大震災被災地の新聞(3種)を含む。







* 新宿図書センターは、平成29年10月1日から休館。

* 新宿図書センターの休館に伴い、代替施設として新宿図書サービスコーナーを平成29年10月17日から設置。

							合計
四つ木地区図書館 H.8.12.7 (中央図書館分館)	西水元地区図書館 H.11.6.1 (中央図書館分館)	青戸地区図書館 H.16.5.12 (中央図書館分館)	奥戸地区図書館 H.23.4.2 (中央図書館分館)	こすげ地区図書館 H.28.3.26 (中央図書館分館)	新宿図書センター H.21.10.17 (中央図書館分館) H29.10.1～休館中	新宿図書 サービスコーナー H.29.10.17 (新宿図書 センター休館中 代替施設)	
〒124-0011 四つ木4-8-1 よつぎ小学校内 	〒125-0031 西水元2-2-8 西水元あやめ園内 	〒125-0062 青戸5-20-6 青戸地区センター内   	〒124-0022 奥戸3-5-1 南奥戸小学校内   	〒124-0001 小菅3-8-22 こすげ小学校敷地内   	〒125-0051 新宿3-7-1    	〒125-0051 新宿1-5-6 新宿憩い交流館内  	
03-5670-3321	03-5660-2201	03-3838-1273	03-3696-2781	03-3601-3855	03-3607-9105	03-3607-9105	
03-5670-3422	03-5660-2203	03-3838-1269	03-3696-2785	03-3601-3857	03-3607-9209	03-3607-9209	
7 席	22 席	18 席	29 席	34 席	114 席	0 席	1,523 席
0 席	0 席	0 席	0 席	0 席	0 席	0 席	65 席
0 席	0 席	0 席	0 席	1 席	0 席	0 席	36 席
—	—	—	—	—	3,995.69 m ²	—	
230.40 m ²	303.76 m ²	219.56 m ²	306.00 m ²	404.19 m ² (図書交流室分も含む)	5,524.05 m ² (図書館部分は 2,406.53 m ²)	26 m ²	18,220.99 m ² (図書館部分)
39,272 冊 (25,666 冊) (13,606 冊)	38,554 冊 (25,661 冊) (12,893 冊)	34,455 冊 (21,559 冊) (12,896 冊)	41,181 冊 (29,174 冊) (12,007 冊)	34,302 冊 (23,503 冊) (10,799 冊)	0 冊 (0 冊) (0 冊)	0 冊 (0 冊) (0 冊)	1,271,134 冊 (966,543 冊) (304,591 冊)
63 種	64 種	68 種	63 種	68 種	0 種	0 種	1,638 種
8 種	8 種	8 種	8 種	8 種	0 種	4 種	170 種
1,739 点	1,424 点	1,340 点	1,463 点	1,336 点	0 点	0 点	44,514 点
274 日	253 日	274 日	274 日	274 日	0 日	254 日	3,704 日
0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	49 人 (10 人)
5 人 (4 人)	5 人 (1 人)	6 人 (5 人)	5 人 (2 人)	6 人 (4 人)	0 人 (0 人)	3 人 (0 人)	124 人 (76 人)
0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	30 人 (20 人)

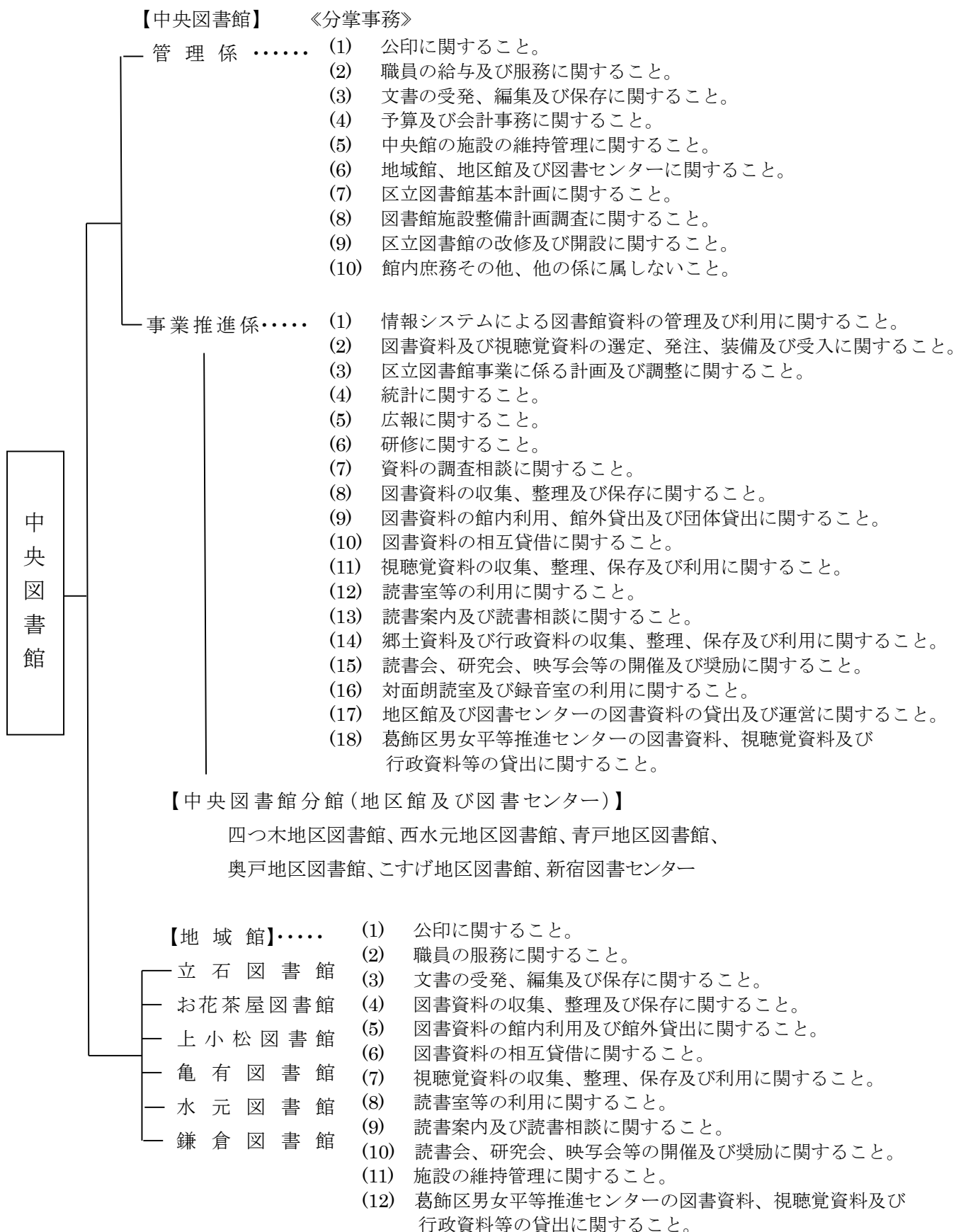
* パソコン持込可能席・インターネットコーナーは閲覧席数の内数。

* 立石図書館には、車椅子専用駐車スペース(1台分)がある。

*  だれでもトイレ  おむつ台  ベビーキープ
 授乳室  エレベーター  駐車場

図書返却ポスト	設置日
* 新小岩駅東北広場図書返却ポスト	H26年10月20日
* 堀切地区センター図書返却ポスト	H28年7月21日
* 青砥駅高架下公共広場図書返却ポスト	H29年3月24日
* 新柴又駅前図書返却ポスト	H29年3月24日
* 四つ木駅前図書返却ポスト	H30年4月23日
* 京成高砂駅前図書返却ポスト	H31年4月1日

4 組織図（館・係名及び分掌事務）



5 開館時間・休館日

館名		開館時間		休館日
中央 立石	一般室	月～土 日・祝 12/29-30 年末年始 (12/31-1/3)	午前9時～午後10時 午前9時～午後8時 午前9時～午後5時	館内整理日(毎月第4木曜日) 特別整理期間(年1回、各館4日間)
	児童室	月～日 祝 年末年始 (12/31-1/3)	午前9時～午後6時 午前9時～午後5時	
お花茶屋 上小松 亀有 水元 鎌倉	一般室	火～土 日・祝	午前9時～午後8時 午前9時～午後5時	毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 館内整理日(毎月第4木曜日) 特別整理期間(年1回、各館4日間) 年末年始(12月29日～1月3日)
	児童室	火～日 祝	午前9時～午後5時	
四つ木 西水元 青戸 奥戸 こすげ 新宿 新宿SC		火～木 土・日 金	午前10時～午後5時 午前10時～午後8時	毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 館内整理日(毎月第4木曜日) 特別整理期間(年1回、各館2日間) (※新宿SCを除く) 年末年始(12月29日～1月3日) 国民の祝日(祝日が月曜または 館内整理日の場合は翌日も)

- ・新宿SCは、新宿図書サービスコーナーの略名。
- ・新宿図書センターは、平成29年10月1日から休館。
- ・新宿図書センター休館に伴い、代替施設として新宿図書サービスコーナーを平成29年10月17日から設置。

6 各サービスの説明

(1) 一般サービス

①図書・雑誌の貸出

資料の貸出は、区内に在住・在勤・在学及び葛飾区近隣の区・市に在住し、「利用カード」の交付を受けている方が対象。「利用カード」は、葛飾区立図書館全13館で共通して利用できる。

貸出や検索等は、オンラインのコンピューターシステムにより行われている。貸出期間は2週間、貸出冊数は図書、雑誌合わせて30冊までである。

また、中央図書館及び各地域館に自動貸出機を設置し、中央図書館に自動返却仕分機を、立石、鎌倉図書館に簡易自動返却機を設置している。さらに、中央図書館と立石図書館には予約棚を導入している。予約棚は、利用者自身で予約本を受け取る仕組みとなっている。書架案内パソコンから予約資料の置いてある棚を確認し、職員を介さずに予約資料を受け取ることができる。

②閲覧

館内では、自由に資料を閲覧できるようになっているほか、コピーサービスも行っている。館内での閲覧は、住所要件などの利用制限はなく、誰でも自由に利用できる。

また、各館には参考図書(調べものの本)のコーナーや、新聞・雑誌コーナーが設けられている。中央図書館には閲覧室 1・2 のほか、利用カード登録者が自分で予約する個人閲覧席が42席ある。インターネットやオンラインデータベースを利用できる席が中央図書館に15席、立石図書館に10席、他の地域館に各2席ある。また、こすげ地区図書館には利用者用インターネットパソコンが1台ある。

③予約・リクエストサービス

ア 予約・リクエストサービス

図書館の蔵書には限度があり、その中で利用者の資料要求に応えるために予約・リクエストサービスがある。利用者の求める資料が貸出中、または自館で所蔵していない場合、図書・雑誌合わせて20冊を限度に予約・リクエストとして受け付け、主に次のような方法で提供している。

区内で所蔵している資料については、利用者から予約をいただき、他の館から取り寄せ、到着後予約者に連絡している。なお、図書・雑誌・AV資料等の運搬のため専用の交換車が毎日運行している。

区内未所蔵資料については、他区・市の図書館や都立図書館(館内閲覧の場合あり)、国会図書館(館内閲覧のみ)などから借りて提供するほか、選定会で検討し、購入して提供している。(ただし、他自治体からの取り寄せ、新規購入のリクエストサービスについては、区内在住・在勤・在学の方のみ。また、国会図書館からの取り寄せは、区内在住で18歳以上の方のみ。)いずれの方法についてもCD・カセットテープ・ビデオテープ・DVD及び漫画のリクエストサービスは行っていない。

イ 館内検索機(OPAC)及びインターネットサービスを用いた予約・リクエストサービス

館内検索機(OPAC)及び図書館ホームページからも予約・リクエストサービスを受け付けている。ただし未所蔵資料については、3冊を限度とし、区内在住の中学生以上の方のみ予約を受け付けている。

④レファレンスサービス

レファレンスサービスとは、図書館が、利用者の調査研究や探している資料について、必要な情報や資料を提供するサービスのこと。このレファレンスサービスは、図書の貸出と並ぶ図書館の重要なサービスである。

例えば、「老人介護のことについて調べたい」あるいは、「オリンピックの歴史を知りたい」といった質問に対し、インターネット検索や図書資料を探して提供することで、利用者の要求に応じている。

また、図書館ホームページ上からもレファレンスを受け付けている。レファレンスの回答が用意できた旨をメールでお知らせし、回答は図書館ホームページの個人ログインページにて閲覧いただく。

(2) 児童サービス

子どもが読書を通じて読解力や想像力、思考力、表現力等の生きる力を育み、多くの知識を得ることができるよう様々な事業を行っている。

子ども対象の事業としては、おはなし会等を開催し、0歳から小学校6年生までの年齢別にお薦めの図書リストを発行している。また、乳幼児対象の事業として、平成17年度から開始した「ブックスタート事業」に続き、平成25年度から3歳児を対象に「セカンドブック事業」を実施している。新小学校1年生対象の事業として、従来から行っている1年生推薦図書リスト「いちねんせいになったらよんでみよう」の全児童への配布に加え、平成24年度からは、そのリストを図書館に持参するとスタンプを押してもらえる「一年生事業」を実施している。平成27年度から、指導室との連携事業として、読書に親しむ機会を支援するため、成長の節目を迎える小学校1年生及び中学校1年生に、教育委員会が薦める図書リスト各20冊から1冊を選んでもらい、本に教育長のメッセージを添えて渡す「かつしかっ子ブック事業」を開始した。平成29年度から、家読(家庭での読書)の推進を目的に「ブックスタート事業」、「セカンドブック事業」、「かつしかっ子ブック事業(小学校1年生)」において読書手帳を配布し、令和元年からは他の年齢の子への配布をしている。

また、保育園訪問・招待や小学校学級訪問・招待等で子どもに関わる機関や団体と連携したり、読書活動を推進するボランティアの育成をして、読書活動を広く普及、啓発している。

小中学校に対しては、中央図書館・地域図書館を中心に団体貸出を行っている。また、「学校図書館・公共図書館連絡会」を各エリアごとに年3回程度実施し、学校との連携・学校図書館の支援を行っている。

(3) ヤングアダルト(YA)サービス

全国学校図書館協議会が実施している「学校読書調査」では小学生が1か月で読む本の冊数がここ数年で右肩上がりで見られ12冊を超えているのに対し、中学生になると読書冊数はその半分程度になっている。またここ数年は横ばいの上昇に留まっている。

小学校高学年から青年期の「大人と子ども」の境界にいるYA(ヤングアダルト)世代を本と結び付けていくことは、子どもの読書活動の推進において大きな課題であり、葛飾区教育振興基本計画であげられている「生涯にわたる豊かな学びを支援します」という基本方針の実現のための重要なサービスであると考え、葛飾区立図書館では、「YAサービスマニュアル」に基づいてサービスを行い、各図書館に中・高校生世代の居場所となるYA

(ティーンズ)コーナーを設置し事業を展開している。

YA世代への事業としては本のリスト「Dog ears」(ドッグイアーズ)や「鉄板本」、「お好み本」、新中学1年生向け利用案内「ピカ☆イチ」の作成・配布、中学・高校での読書活動推進のための団体貸出の充実、YA世代向けホームページでの情報発信、各図書館独自のYA向けおたよりの作成・配布などを行っている。

またYA世代の来館を促すため「ティーンズ向け★イラスト講座」や「葛飾区立図書館ビブリオバトル(カツビブ!!)」などを定期的に図書館で実施している。

それに加え各図書館において中学校の団体利用・職場体験・中高生ボランティアの受け入れを行い、中学校の依頼に応じたブックトーク(テーマに沿った本の紹介)の実施や「学校図書館、公共図書館連絡会」の中で、図書担当教諭や学校図書館司書との交流や情報交換をするなど、様々な形で学校との連携、支援を図っている。

(4) 視聴覚(AV) サービス

視聴覚サービスとしてCD、カセットテープ、DVD、及びビデオテープの貸出を行っている。貸出対象は中学生以上、貸出期間は2週間、貸出点数はCD・カセットテープ合せて4点まで、DVD・ビデオテープはどちらか1点までとしている。

中央図書館では、隔月で第4土曜日午後に映画会を実施した(また、8月に子ども映画会を実施した)。令和元年度においては、立石、お花茶屋、上小松、鎌倉の各図書館でおよそ年1回~12回のペースで映画会を実施した。

また、立石図書館及びお花茶屋図書館では、年に1回、1日映画会も実施している。

(5) インターネットサービス

図書館ホームページでは、利用案内、行事予定、貸出ベスト、予約ベストなど図書館の様々な情報を提供している。各種情報提供はもちろんのこと、その他以下のサービスを提供している。

①資料の検索、予約

インターネット上で図書館資料を検索し、検索した資料をそのまま予約することができる。また、資料情報の幅広い提供を目的として、区内図書館未所蔵資料の検索ができる。区内在住の中学生以上の利用者のみ、未所蔵資料へ3件まで予約ができる。さらに、検索した資料をまとめて予約をする機能である予約かごを使った予約サービスを提供している。

ただし、個人情報を保護するため、資料の予約や個人情報の確認には、パスワードの登録が必要となる。パスワードは各図書館の窓口で直接本人に交付する。(窓口で仮パスワードを交付し、利用者が館内検索機(OPAC)や図書館ホームページでパスワードを変更し、利用する。)

②メールサービス

予約した資料が到着した旨の連絡をする「予約確保連絡メール」、延滞の方へ送信する「督促連絡メール」がある。また、利用者の希望に応じて送信する「貸出情報お知らせサービス」、「返却期限お知らせサービス」、「新着図書お知らせサービス」、「メールマガジン送付サービス」がある。「メールマガジン送付サービス」は、パソコン版、携帯版を選択することができる。「新着図書お知らせサービス」では、利用者が希望する新着図書をキーワード、分類から選んで登録ができる。

③メールレファレンスサービス

ホームページ上からメールレファレンスの受付を行っている。メールレファレンスの回答が用意できた旨をメールでお知らせし、回答は図書館ホームページの個人ログインページにて閲覧できる。

④利用者登録事前申請

区内在住の方を対象に利用登録申請を事前にインターネット上で受け付ける。この登録を行うと、本登録を行う前に、3 件まで区内所蔵資料への予約ができ、本登録の際に予約した資料が用意できていれば、本登録と同時に予約した資料を受け取ることができる。

⑤館内でのインターネットサービス

中央図書館では座席管理システムを導入し、従来の調査・研究支援サービスを強化するだけでなく、オンラインデータベースを拡充して、ビジネス支援サービスの強化を図っている。そのほか、中央図書館の一般書エリアには検索コーナーを設置し、短時間のインターネット検索用のパソコンを用意している。

また、児童書エリアには、児童向けにカスタマイズされたインターネット検索用パソコンを設置し、調べ学習用のオンラインデータベースを利用できる。さらに、ハンディキャップコーナーには、文字拡大と読み上げができるインターネット検索パソコンがある。

さらに、中央図書館では個人閲覧席・研究個室・グループ研究室及び新聞・雑誌コーナーから南側エリアの一带において葛飾区公衆無線 LAN サービスの提供を開始し、図書館での調査・研究の幅をより拡張した。

各地域館及びこすげ地区図書館においても、利用者用のインターネット検索パソコンを配置し、調査・研究のためのインターネットサービスを行っている。

⑥葛飾区関連新聞記事検索

新聞に掲載された葛飾区関連の記事情報をホームページ上で検索することができる。収録対象新聞は、朝日新聞・産経新聞・東京新聞・毎日新聞・読売新聞の 5 紙である。

⑦区民がつくる葛飾百科

インターネット上に現存する、葛飾区に関連するウェブ情報を閲覧するためのサイト。インターネット上の情報は紙媒体の資料と同様の情報資源・文化遺産であるとの観点から、長期的に保存することを目的としており、区民からの情報を基に、葛飾区立図書館で運営・管理を行っている。

⑧葛飾文学散歩

葛飾区が登場する文学作品を集めたサイト。葛飾の地域ごとに文学作品を検索ことができ、資料の詳細や該当地域の写真も掲載されている。

⑨読書記録機能・お気に入り登録機能・読書手帳

読書記録機能を利用すると、希望する方は貸出記録を残すことができる。また、お気に入り登録機能を利用すると、お気に入りの資料を登録できる。さらに、読書手帳を図書館ホームページよりダウンロード・印刷して利用できるようサービスを開始している。

(6) 団体貸出サービス

葛飾区内で読書推進活動をしている団体(地域、職場、学校等の 5 人以上のグループ)に、1 か月間 50 冊まで貸出を行っている。

また、図書館ではレファレンスや予約を含めて、それらの団体への支援を行っている。

さらに、各図書館で行っている保育園招待、小学校訪問・招待の際には、紹介した図書等の団体貸出を行っている。

学校への団体貸出サービスについては、小・中学校からの「調べ学習」の要望に応じた図書を集め、学校の長期休みを除く毎週、小・中学校へ図書運搬車を運行し団体貸出用図書を配送・回収している。

(7) ハンディキャップサービス

葛飾区立図書館では、印刷された文字による読書が困難な方、来館が困難な方など、図書館の利用に支障がある方にハンディキャップサービスの利用登録をしていただき、次のようなサービスを行っている。

① 録音図書の収集

文字で書かれた資料を音訳したものを録音図書という。以下のものがあり、購入・寄贈・ボランティアグループへの制作委託により収集している。

ア デイジー図書

デジタル化された録音図書で、頭出しやページ移動、読み上げ速度の調整ができる。

イ マルチメディアデイジー図書

画面上に表記された文章を読み上げ、視覚と聴覚の両方から情報が入る。挿絵や写真も画面上に表示され、読み上げているフレーズは色が変わるハイライト機能がある。

② 点字図書の収集

日本点字図書館から購入したもののほか、区内の点訳ボランティアグループに作成依頼したものや、寄贈を受けたものを所蔵している。

③ 点字つきさわる絵本、点字つき絵本、布絵本の収集

市販の点字つきさわる絵本を購入するほか、点字つき絵本については、区内の点訳ボランティアグループに依頼し、市販の絵本に点字シールを貼付・作成している。

布絵本は、区内の布絵本製作ボランティアグループに作成を依頼している。

④ その他のハンディキャップサービス用資料の収集

大活字本、朗読CD、LLブックを購入している。

⑤ 録音図書・点字図書及びプレクストークの貸出

主に視覚に障害がある方に、録音図書・点字図書の貸出を行っている。また、デジタル録音図書（デイジー図書）専用再生機であるプレクストークの貸出も行っている。

区内に所蔵していない録音図書・点字図書は、全国から取り寄せて、利用者の要望に応じている。

また、国立国会図書館、サピエ図書館（視覚障害者のための電子図書館）にあるデータをダウンロードして提供することも行っている。

⑥ 対面朗読サービス

視覚に障害がある方に、図書館に所蔵している図書・雑誌・新聞等を、音訳ボランティアの協力により、最寄りの図書館や自宅等で実施している。

3日前までに申し込み、利用は1か月8時間を上限としている。

中央図書館、立石図書館には対面朗読室があり、お花茶屋図書館、上小松図書館、亀有図書館、鎌倉図書館は会議室を使用している。水元図書館は水元集い交流館会議室を使用している。

⑦郵送・宅配サービス

視覚に障害があり障害者手帳をお持ちの方に、電話等で録音図書や点字図書等の貸出の申し込みを受け、第四種郵便物（無料）で郵送を行っている。

また、心身の障害・病気・高齢等で図書館に来館することが困難な方に、希望の資料を宅配ボランティア又は職員が自宅まで配達を行っている。利用は、1か月に1回としている。

⑧『かつしかアイ・リブ通信』の発行

ハンディキャップサービスの情報誌として、図書館からのお知らせ、録音図書・点字図書の新着情報等を掲載している。要望により、墨字版・白黒反転版・テキストデータを提供している。また、音訳ボランティア、点訳ボランティアの協力により、デジ版・点字版も作成し提供している。

⑨その他

利用者の方に応じて、耳マーク、筆談用ボード、老眼鏡、ルーペ、リーディングトラッカーを用意している。

中央図書館では高齢の方やハンディキャップのある方が快適にご利用いただけるように、ユニバーサルデザインを採用し、ハンディキャップサービス対応機器等を設置している。

中央図書館・立石図書館には拡大読書機を設置している。

(8) 広報活動

図書館の行事、利用案内などを「広報かつしか」に掲載しているほか、令和元年度は以下のような印刷物を作成し、広報活動を行った。

(一般対象)

印刷物名	配布館	発行回数
館報「としょかんだより」	全館	年1回
事業年報		年1回
雑誌・新聞目録		年1回
図書館行事案内		月1回
各館だより(一般向け)	各館	館により 月刊・隔月・季刊
各館だより(ヤングアダルト向け)		館により 月刊・隔月・ 季刊・年間
ヤングアダルト図書リスト 「Dog ears(ドッグイアーズ)」	全館	年1回
新中学1年生向け利用案内 「ピカ☆イチ」		年1回
図書リスト「お好み本」		年1回
YA雑誌リスト		年1回
令和元年度用図書館カレンダー		年1回

(児童対象)

印刷物名	配布館	発行回数
乳幼児向け推薦図書リスト 「FIRST BOOK」	全館	隔年 (平成30年作成)
3歳から6歳向け推薦図書リスト 「SECOND BOOK」		年1回
1年生推薦図書リスト 「いちねんせいになったらよんでみよう」		年1回
夏休み推薦図書リスト 「むぎわらぼうし」 (1,2年・3,4年・5,6年用の3種類)		年1回
児童向け利用案内「ほんはともだち」		隔年
児童室だより	各館	館により 月刊・隔月・季刊
小・中学校教員向け利用案内 「ライブラリー・インフォメーション」	全館	年1回
図書館見学・学級招待時の配布資料	各館	随時

(9) 自主活動グループの支援

①一般の団体

文学研究・郷土史研究・読書に関わるボランティアをしている団体など生涯学習活動を行っているグループに対して、会議室の貸出やボランティア活動に必要な機器(点字プリンター等)の利用貸出など、様々な活動の支援を行っている。

②子どもの読書活動に関わる団体

子どもの読書活動を進める上で、読み聞かせグループ及び学校での読書活動を推進するボランティアの育成や活動を支援している。

これらのボランティアグループが子どもの読書推進において地域の担い手として積極的に活かせるよう支援している。

(10) リサイクルコーナー

図書館で除籍した本・雑誌、区民の方が不要になった本(リサイクル本)を無償提供することで図書の再利用を行っている。各館にリサイクルコーナーを設けて、随時リサイクル本を提供している。

また、図書館の児童図書のリサイクル本に関しては、区内の児童館、幼稚園、保育園、小学校、中学校、特別支援学校等の子どもに関わる施設に優先的に譲渡し、児童図書の再利用を行っている。

(11) 学校との連携・学校図書館支援

子どもの読書活動の普及・推進や学校図書館の支援を目的に、小・中学校の学校図書館司書教諭及び学校司書、図書館職員、学校図書館で活動する図書ボランティアで「学校図書館・公共図書館連絡会」を中央図書館と地域図書館ごとに立ち上げ、情報交換や連絡調整を平成 16 年度から行っている。また、資料提供・読書活動の支援に力を入れている。

さらに各図書館では、学級招待・訪問などの事業に取り組み、公共図書館の利用案内・ブックトーク・読み聞かせ・お話(ストーリーテリング)などを行い、図書館の利用促進を図るとともに、読書推進を行った。

平成 29 年 10 月には、新宿図書センターの休館に伴い、学校支援コーナーの資料を中央図書館に移管した。

学校図書館支援については、学校図書館司書教諭と学校司書への研修会を指導室と共同で開催している。教諭向けの読書活動に関する内容を学ぶ事を目的とした区立図書館での実習を受け入れている。

(12) 学校図書館ボランティアへの支援

平成 14 年度に、主に小学校などで読み聞かせを行っている読書ボランティアに「読み聞かせボランティア講座(初級)」(平成 29 年度より「読み聞かせボランティア講座(入門編)」に名称変更)を開始。平成 15 年度からは「読み聞かせボランティア講座(中級)」(平成 28 年度より「読み聞かせボランティア講座(スキルアップ編)」に名称変更)を開始し読書活動への支援を行っている。

平成 16 年度に「葛飾学校図書館ボランティア連絡会」が発足し、ボランティア同士の

情報交換・読み聞かせや読書活動についての技術や資質向上・学校図書館の機能について学び、中学校の課題をテーマに研修会や学習会を重ね、平成 17 年からは、「子どもゆめ基金」の助成を受け、フォーラムや講演会などを開催している。

図書館は、個々のボランティアや、活動を支援していくとともに、各エリアごとにボランティア連絡会を開催し、情報交換や資料の提供などで支援している。

(13) 大学図書館との連携

東京理科大学葛飾キャンパスの開学を機に、中央図書館では区内大学図書館の関連資料を集めたキャンパスコレクションの充実などを通して、専門分野への関心を高め、大学図書館が区民にとって身近なものになるよう努めている。

東京理科大学葛飾図書館と中央図書館では、連携のために定例会を設け、18歳以上の区民は身分証明書と葛飾区立図書館利用カードの持参により紹介状なしで利用できるよう利用条件を整えた。これからも区立図書館及び大学図書館双方の利用の充実を図っていくために連携を重ねていく。

東京聖栄大学との連携については、定例会の開催とともに「健康・栄養・食育」の専門分野を生かし、毎年学生による食育の絵本読み聞かせ会を開催している。

各大学による「ブックシェア～葛飾の大学の学生・教職員のおすすめの1冊～」の図書館内での展示など連携を進めている。近隣の千葉商科大学附属図書館の利用については、葛飾区立図書館において紹介状を交付している。

(14) ビジネス支援サービス

起業・開業、仕事のスキルアップや経営改善、就職・転職など、仕事に役立つ情報を提供して、働く世代の課題解決を支援する。平成 21 年度の中央図書館開館以降は、ビジネス支援セミナーやデータベースセミナー、ビジネス相談会(中央・立石図書館。以下「図書館」は省略。)等も実施している。主なサービスと実施館は次のとおり。

①ビジネスコーナーの設置

資料を効率よく探せるよう、出版年の新しいビジネス関連資料や基本的な資料を、9つのテーマに分けて配架。(中央・立石・お花茶屋・亀有)

②インターネットパソコンの設置

インターネット検索ができるパソコンを設置。(中央・立石・お花茶屋・上小松・亀有・水元・鎌倉・こすげ)

③持ち込みパソコン席の設置

利用者の持ち込みパソコンが利用できる席を設置。(中央・立石・お花茶屋・上小松・亀有・水元・鎌倉)

④オンラインデータベースの提供

図書館が契約したオンラインデータベースを無料で提供。(中央 17 種、立石 10 種、インターネットパソコン設置館で 1～2 種、こすげ地区図書館は除く)

※上記の内、②③④は基本的には利用登録のある方に向けてのサービス。ただし、中央図書館には誰でも使えるインターネット検索機がある。

オンラインデータベース一覧

各図書館において利用できるデータベースは以下のとおり。

中央図書館	聞蔵Ⅱビジュアル・フォーライブラリー(朝日新聞記事検索)
	ヨミダス歴史館(読売新聞記事検索)
	日経テレコン(公共図書館限定版)(日本経済新聞記事検索)
	Mpac(マーケティング情報パック)
	市場情報評価ナビ/MieNa(ミーナ)
	D1-Law.com 現行法規[現行法検索・履歴検索]・判例体系・法律判例文献情報(法律情報)
	Westlaw Japan(法律情報)
	WHOPLUS(人物・文献情報)
	MAGAZINEPLUS(雑誌・論文情報)
	官報情報検索サービス
	WEBLINK 地方公共団体総覧
	JapanKnowledgeLib(事典・辞書)
	JDreamⅢ(科学技術・医学関連情報)
	ポプラディアネット(児童向け百科事典)
	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス
国立国会図書館歴史的音源	
立石図書館	聞蔵Ⅱビジュアル・フォーライブラリー(朝日新聞記事検索)
	日経テレコン(公共図書館限定版)(日本経済新聞記事検索)
	Westlaw Japan(法律情報)
	WHOPLUS(人物・文献情報)
	官報情報検索サービス
	JapanKnowledgeLib(事典・辞書)
	理科年表プレミアム
	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス
国立国会図書館歴史的音源	
お花茶屋図書館	日経テレコン(公共図書館限定版)(日本経済新聞記事検索)
	WHOPLUS(人物・文献情報)
上小松図書館	聞蔵Ⅱテキスト・フォーライブラリー(朝日新聞記事検索)
亀有図書館	ヨミダス歴史館(平成以降コース)(読売新聞記事検索)
水元図書館	聞蔵Ⅱテキスト・フォーライブラリー(朝日新聞記事検索)
鎌倉図書館	ヨミダス歴史館(平成以降コース)(読売新聞記事検索)

新聞記事検索

●聞蔵Ⅱビジュアル・フォーライブラリー(朝日新聞記事検索)

朝日新聞の1879年創刊号以降の新聞記事(紙面イメージ)、1985年以降の記事テキストを収録。「AERA」(1988年5月創刊号～)、「週刊朝日」(2000年4月～)の記事検索もできるほか、人物情報、歴史写真、現代用語事典「知恵蔵」も利用できる。

●聞蔵Ⅱテキスト・フォーライブラリー（朝日新聞記事検索）

朝日新聞の1985年以降の記事テキストを収録。「AERA」(1988年5月創刊号～)、「週刊朝日」(2000年4月～)、「知恵蔵」も検索できる。

●ヨミダス歴史館（読売新聞記事検索）

読売新聞の1874年創刊号以降の新聞記事(紙面イメージ)、1986年以降の記事テキストを収録。1989年以降の英字新聞 *The Daily Yomiuri*(2013年4月から *The Japan News*)の記事テキスト、「現代人名録」も利用できる。

●ヨミダス歴史館（平成以降コース）（読売新聞記事検索）

1986年以降の記事テキストを収録。1989年以降の英字新聞 *The Daily Yomiuri* (2013年4月から *The Japan News*)の記事テキスト、「現代人名録」も利用できる。

●日経テレコン（公共図書館限定版）（日本経済新聞記事検索）

日経4紙(日本経済新聞・日経産業新聞・日経流通新聞・日経金融新聞)の記事データベース。企業情報、人事情報、統計情報、POSランキングなども閲覧できる。

ビジネス

●Mpac（マーケティング情報パック）

食品・化粧品・IT産業・サービス産業ほか多数の領域における個別市場調査データや、コンビニ、ドラッグストア POS データ、家計調査データ、消費者アンケートなどのマーケティング情報が検索できるデータベース。

●市場情報評価ナビ/MieNa（ミーナ）

起業を考えている方、店舗立地や地域特性を知りたい方にぴったりのエリアマーケティング情報。最新の統計データに基づいた、町丁目単位の商圈分析レポートが利用できる。

法律

●D1-Law.com（現行法規[現行法検索・履歴検索]）

現行法令を集大成した、総合法令データベース。指定日の時点で有効な条文のほか、新旧対照表、条文時点比較などを表示できる。

●D1-Law.com（判例体系）

公刊、民刊の判例誌(約100誌)に公表された判例及び第一法規独自入手判例より、判例書誌、判例要旨、判例本文、及び判例タイムズ解説を収録している。

●D1-Law.com（法律判例文献情報）

幅広い収録対象(図書・雑誌・研究紀要等)から選んだ法関連文献と判例を内容に即して分類し、独自のキーワードを加えて提供している。

●Westlaw Japan

法令、判例、文献情報、ニュース等、豊富な情報・資料群を過去から最新まで収録。スピーディで網羅的に検索できる機能を備えた法律情報総合オンラインデータベース。

人物・文献

●WHOPLUS

人物・文献情報のデータベース。人物のプロフィール情報、関連図書・記事・論文や文献などを一括検索できる。

雑誌・論文

●MAGAZINEPLUS

国立国会図書館(NDL)の「雑誌記事索引」ファイルのほか、論文集・学会年報・研究報告・一般誌・総合誌・ビジネス誌・海外産業誌紙・企業雑誌・国内経済専門業界誌等を収録している。

官報

●官報情報検索サービス

昭和 22 年 5 月 3 日(日本国憲法施行日)以降から当日分までの官報(本紙、号外、政府調達公告版、資料版、目録)を閲覧、検索できる。

事典・辞書

●JapanKnowledgeLib

百科事典、辞書、事典、叢書など約 70 種を収録した知識データベース。「日本大百科全書」「日本国語大辞典」「会社四季報」など多数の収録コンテンツの見出しと全文を横断的に検索できる。

科学・医学

●JDreamIII

科学技術や医学・薬学関係の国内外文献を網羅的に検索できる日本最大級の科学技術文献データベース。海外文献に関しては、日本語による抄録(要約文)も掲載している。

●理科年表プレミアム

国立天文台編「理科年表」の 1925 年(大正 14 年)の創刊号から最新号までのデータを収録。自然科学のすべての分野を網羅した、ユニークな科学データブック。

児童

●ポプラディアネット

子どもの調べものや学習に役立つ「総合百科事典ポプラディア」をもとに、最新の情報を追加、更新しているオンライン百科事典。(中央図書館児童エリアの児童向けのインターネットパソコンで利用できる。)

国立国会図書館が提供しているサービス

●国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料について、公共図書館等に送信し、各図書館の館内で利用できるサービス。また、送信されたデジタル画像を複写することも可能である。

●国立国会図書館歴史的音源

国会図書館の館内のみで利用可能となっていた落語、長唄、管弦楽、歌劇、清元、浪花節、歌謡曲、講演、ジャズなどの貴重な音源を、インターネットを通じて配信するサービス。1900 年から 1950 年頃までに国内で製造された SP 盤及び金属原盤等に収録された音楽や演説等、約 5 万の音源を聞くことができる。

(15)「かつしかデジタルライブラリー」の公開

葛飾ゆかりの作家の自筆原稿、葛飾の古い写真や地図等の、デジタル化された地域の貴重資料を、オンライン上で公開している。

閲覧方法	閲覧可能範囲
館内検索機(OPAC)	一部のデジタル画像のみ閲覧が可能 (著作権の関係により)
図書館ホームページ	
デジタルライブラリー専用パソコン	全デジタル画像の閲覧が可能

●公開中の画像

- ①葛飾ゆかりの作家の自筆原稿 867点(計30,487枚)
- ②葛飾の歴史、文芸、産業、団体などの図書資料 188点
- ③葛飾の写真 171点
- ④図書館を訪問した作家の自筆色紙、図画など 149点
- ⑤栗本薫・中島梓氏の演劇資料・楽譜 84件(計2,686枚)

(16) 健康・医療情報サービス

患者主体の医療が進展していく中で、中央図書館を中心に、闘病記、検査・診療ガイドライン、薬の情報、病院情報など健康・医療に関連する資料を収集し提供するとともに、健康・医療に関連する講演会を実施している。

①闘病記

患者本人やその家族が病気と闘ってきた貴重な記録である闘病記を収集し、病名別に分類、病気についての情報を必要としている方に提供。(中央図書館・お花茶屋図書館)

②健康・医療情報コーナー

健康・医療に関する資料のうちよく使うものを中心に、5つの分野に分類し配架。(中央図書館・立石図書館)

平成29年8月24日から、認知症コーナー「認知症なび」設置。(立石図書館)

平成30年7月28日から、国立がん研究センターの「がん情報ギフトバック」プロジェクトに参加し、がん研究センターや、近隣のがん診療連携拠点病院などが作成した冊子やチラシを閲覧・配布する「がん情報コーナー」を設置。(中央図書館)

③パンフレットコーナー

NPO法人等と協働し、平成25年7月から「がんと暮らす情報コーナー」を設置、がんや健康に関連するパンフレットやフリーペーパーを無料で配布。(中央図書館)

④講演会・セミナー

区民にとって関心の高い健康・医療情報を提供するため、講演会やセミナーを実施し、対応や予防に関する一層の関心を高める機会とした。

(17) 図書館海援隊

中央図書館では、平成22年1月に有志の図書館により結成された「図書館海援隊プロジェクト」の趣旨に賛同し、平成22年2月からプロジェクトに参加している。実施しているサービスは以下のとおり。「図書館海援隊」とは、文部科学省の呼びかけに応じ、有志の公立図書館が関係部局と連携しながら、貧困・困窮者支援をはじめとした、地域

が抱える様々な課題の解決を支援する取り組みのこと。)

① 職業訓練・資格取得情報の提供

厚生労働省の「求職者支援制度」(雇用保険を受給できない方への就労援助)を活用している方に対する無料の職業訓練・資格取得講座の案内チラシを、ハローワーク経由で収集し提供している。

② インターネットサービスの提供

「ビジネスITコーナー」で、ハローワークインターネットサービス(厚生労働省)や人材サービス総合サイト(厚生労働省職業安定局)などの就職求人情報を提供している。また、オンラインデータベースで、新聞記事やマーケティング関連のビジネス情報を提供している。

③ 「暮らしに役立つ法律情報コーナー」の設置

労働・生活に関する身近な法律情報関連図書を12のテーマに分けて配架している。また、日本司法支援センター「法テラス」発行のテーマ別のリーフレットなど、トラブル解決に役立つ資料を提供している。

④ 「ビジネスコーナー」の設置

<就職活動><資格試験>情報として、各業種・会社情報、履歴書・エントリーシート の書き方、面接の受け方、資格検定試験テキスト等を配架・提供している。また、<起業・開業>情報として、起業・開業のための基本的な案内書や様々な業種の起業・開業紹介本を配架・提供している。

(18) 葛飾図書館友の会

「中央図書館開設懇談会」の有志が平成19年5月「(仮称)図書館友の会準備会」を開催した。図書館ボランティア基礎講座の開催などを経て、平成20年6月に「葛飾図書館友の会」を設立した。

当初総務委員会、広報委員会、事業委員会の3つの委員会で活動を開始した。

現在では、総務委員会、広報委員会、ナイトシアター委員会、おはなしくらぶ及びCD・DVDコンサートクラブ、昔語りの会、多読クラブ7つの委員会で活動をしている。また、毎年総会を開き、委員会活動も幅広くなってきている。

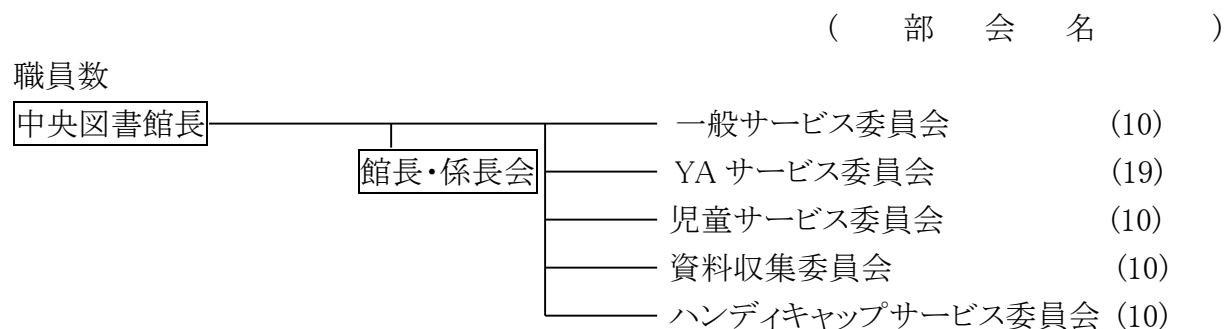
友の会が中心になり、区内で活動するボランティアグループによるイベント(友の会ウィーク)を毎年11月に開催している。令和元年度は、11/4(日・祝)～11/24(日)に開催し、25イベント885名の参加者があった。

(19) 中央図書館及び立石図書館年末年始開館の取組

中央図書館及び立石図書館で年末年始開館を実施している。12月31日から1月3日まで、両館とも開館時間は午前9時から午後5時までとし、通常の開館期間と同じサービスを提供している。

7 令和元年度の事業報告

令和元年度は、各図書館から選出された代表者によって構成されている以下の委員会において、各分野の検討を行った。



※()内は委員数

(1) 一般サービス委員会

- ① 広報活動の充実。
- ② 各館申し合わせ事項の見直し
- ③ カウンターマニュアルの見直し
- ④ 紛失・汚破損マニュアルの見直し
- ⑤ 利用基準の見直し
- ⑥ 「としょかんだより」第 88 号の発行

(2) YA サービス委員会

- ① 令和元年度「Dog ears」を作成し、区内の中学校及び高等学校ほかに配布
- ② 新中学 1 年生向け利用案内「ピカ☆イチ」を作成し、区内の中学校に配布
- ③ 図書リスト「鉄板本」を改訂し、館内の YA コーナー及び区内の中学校に設置
- ④ 図書リスト「お好み本」を改訂し、区内の中学校に設置、館内で配布
- ⑤ YA 雑誌リストを改訂し、館内の YA コーナー及び区内の中学校に設置
- ⑥ 中学校からのブックトークの依頼に備えて、ブックトーク研修を定期的実施
- ⑦ 毎月持ち回りで 3 館ずつ、ホームページ上でオススメ本を紹介
- ⑧ 秋の読書週間にともない、本のおたのしみ袋「はてなぶつくす？」を実施
- ⑨ 「第 10 回 葛飾区立図書館 ビブリオバトル(カツビブ!!)」、「ブックポーカー」を実施(8/17)
- ⑩ 「ティーンズ向け★イラスト講座」を実施(11/3、1/18)
- ⑪ 学校図書館支援コーナー資料の選定、購入

(3) 児童サービス委員会

- ①子ども読書の日を記念して、全館で「ぬいぐるみの図書館おとまり会」を実施(4/26)
併せて各図書館で記念おはなし会や特別展示などを実施
- ②全図書館で「一日図書館員」を実施(7/26、7/31、8/2)
- ③立石図書館で読み聞かせボランティア講座(入門編)を開催(全5回。第1回は公開講座とした。)(10/14、10/16、10/23、10/30、11/6)
- ④中央図書館で読み聞かせボランティア講座(乳幼児編)を開催(全5回。第1回は公開講座とした。)(6/16、6/19、7/3、7/10、7/17)
- ⑤中央図書館でブックスタート公開講演会を開催(10/6)
- ⑥児童講演会を中央図書館開館10周年記念として開催(10/2)
『たくさんの「うれしい」を届ける～私の絵本づくり～』講師:浜田桂子氏
- ⑦小学校教員向け図書館利用案内「ライブラリーインフォメーション」を配布
- ⑧お薦めの図書リスト「むぎわらぼうし」、「いちねんせいになったらよんでみよう」、「ファーストブック」、「セカンドブック」を作成・配布
- ⑨「読書手帳」を作成。ブックスタート事業、セカンドブック事業、かつしかっ子ブック事業(小学1年生)を通して配付し、他年齢の子へも配付。9月から2冊目以降配付者の表彰掲示を全館で開始。
- ⑩「読み聞かせに向く本のリスト」の追加、訂正作業
- ⑪「子ども司書認定」事業の検討

(4) 資料収集委員会

- ①月例で除籍選定を行い、図書20,067冊の内776冊(復活率3.87%)を復活資料として選定
- ②休廃刊雑誌・新規購入雑誌の情報提供および受け入れ雑誌の選定、所蔵雑誌の保存年限見直し
- ③予約多数図書の複本購入選定
- ④DVD計166点を選定購入
- ⑤コミック(購入および寄贈)の受け入れ選定
- ⑥次年度購入雑誌の選定と見直しを行い、「平成31(2019)年度葛飾区立図書館雑誌・新聞目録」を編集・作成
- ⑦東京都発行有償刊行物の選定・購入
- ⑧年鑑・白書等収集保存目録(平成31年3月発行)を編集・作成
- ⑨旅行ガイドブック購入分担館の見直し
- ⑩住宅地図収集計画表の作成
- ⑪ホームページ掲載用レファレンス事例の作成
- ⑫主な検討事項
*平成30年度から継続検討していた葛飾区立図書館資料収集・除籍マニュアルの中の「葛飾区立図書館資料収集・保存・除籍方針」の主に保存・除籍方針改定

- *統計「月別予約リクエスト報告書」の判断基準の統一
- *システムリプレイス時の TRC マーク上書きに伴う、図書・雑誌の注記にある抽出・退避させる文言
- *資料の誤記を発見した場合の対応(変更)
- *お花茶屋図書館全面休館時の雑誌(区内に1冊)の対応
- *予約多数図書の複本購入選定の基準見直し
- *地区所蔵資料の保存年限の明文化
- *「除籍理由適用説明一覧」の作成
- *「レファレンスサービス統計表」の一部分文言の訂正
- *国会図書館のレファレンス協同データベースへの参加
- *リプレイスに伴う TRC 雑誌タイトルマークの上書きされるタイトル

(5) ハンディキャップサービス委員会

- ①ハンディキャップサービスボランティア懇談会の開催
音訳・点訳・マルチメディアデージー製作の各ボランティア団体と図書館職員との間で、ハンディキャップサービスに対しての質問や意見、情報交換を行った。(8/2)
- ②ハンディキャップサービス利用者懇談会の開催
利用者、音訳・点訳・マルチメディアデージー製作の各ボランティア、図書館職員がハンディキャップサービスに対しての質問や意見、情報交換を行った。(11/1)
- ③本の宅配ボランティアの説明会及び交流会の開催
各図書館で説明会・交流会を開催し、宅配ボランティアと図書館職員で活動の問題点や意見交換を行った。
- ④点訳ボランティア養成講座の開催
区内で活動する点訳ボランティア向けに養成講座を開催した。全4回(9/4、9/11、9/25、10/2)
- ⑤音訳ボランティア養成講座の開催
区内で活動する音訳ボランティア向けに養成講座を開催した。全4回(10/7、10/21、11/25、12/2)
- ⑥点字を体験するイベントの開催
点字を体験し、視覚に障害がある方の読書環境について理解を深めるためのイベントを開催した。主に児童を対象とし、なつやすみ点字教室「点字で遊ぼう！学ぼう！」をワークショップ形式で開催した(7/21)。
協力:かつしか点訳の会
- ⑦障害者週間関連展示の実施
12月3日～9日の障害者週間に関連して、点字図書・デージー図書・マルチメディアデージー図書・布絵本やハンディキャップ資料の展示を行った。
- ⑧ハンディキャップサービス用資料の選定・購入
大活字本、朗読CD、デージー図書、LLブックを選定し購入した。

⑨音訳資料の製作委託

音訳ボランティアに、デイジー図書「こちら葛飾区亀有公園前派出所」を4タイトル、文学作品他を8タイトル、葛飾区についての情報冊子(かつしかまちナビ)を3タイトルの製作を委託した。

⑩バリアフリー映画会の開催

どなたでも参加できる日本語字幕と音声ガイド付きの映画会を実施した。
立石図書館(10/20) 中央図書館(12/1)

(6) 図書館職員のための新任研修・現任研修

その他、図書館では職員に対し公立図書館職員としての資質向上のための研修を実施している。新しく図書館職員となった職員を対象に、図書館の理念、役割、全般的な業務のほか、児童、ハンディキャップ、レファレンス、YAなどの分野別サービス内容の講義や実習などを実施した。

8 行事実績

※令和元年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くのイベントが中止となりました。

(1) 一般向け行事

① 一般映画会、1日映画会、バリアフリー映画会

おもに中学生以上を対象とし、名作・芸術映画・文学作品などを上映する一般映画会を実施した。また、芸術作品を深く味わっていただくため、1日映画会を実施した。さらに、見ること、聞くことに不自由な方も、そうでない方と一緒に来場して楽しめるよう、「バリアフリー映画会(場面の变化を説明する副音声と、日本語字幕が付けられた映画の上映会)」を実施した。

館名	一般映画会		1日映画会		バリアフリー映画会		計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
中央	6	263	0	0	1	27	7	290
立石	5	179	1	86	1	45	7	310
お花茶屋	0	0	1	102	0	0	1	102
上小松	5	66	0	0	0	0	5	66
亀有	0	0	0	0	0	0	0	0
水元	0	0	0	0	0	0	0	0
鎌倉	3	54	0	0	0	0	3	54
合計	19	562	2	188	2	72	23	822

*開催中止も回数に含む。

映画会過去4年間の開催推移

	28年度	29年度	30年度	元年度
回数	37	40	26	23
参加者	1,670	1,633	1,234	822

②一般講演会（開催：全16回）

館名	開催日	内容(テーマ)	講師	参加者
中央	4月7日	中央図書館地域史講演会 「柴又帝釈天参詣と京成電鉄金町線の物語」	吉野 泰宏(よしの やすひろ)氏 (京成電鉄株式会社 鉄道本部建設部長)	113
中央	5月19日	栗本薫(中島梓)没後10年講演会 「あなたを語り継ぐ」	今岡 清 氏 (天狼プロダクション社長) 新井 素子 氏 (作家)	121
中央	2月1日	暮らしに役立つ法律セミナー 「弁護士に聞く成年後見制度」	太田 晃弘 氏 (法テラス東京法律事務所弁護士)	44
立石	6月11日	「懐かしの昭和歌謡を語る」	立石 一夫 氏 (ヒーロー研究家)	28
立石	12月8日	「懐かしの昭和歌謡を語る」	立石 一夫 氏 (ヒーロー研究家)	26
立石	12月15日	「知れば怖くない認知症 ～予防と介護、人にやさしいまちづくり～」	八木 裕子 氏 (東洋大学ライフデザイン学部准教授)	34
亀有	4月20日	図書館×講談+(としょかんとこうだんと) 第五章「残る桜、散る桜」	五代目 一龍齋 貞花 氏 (講談師)	56
亀有	6月8日	図書館×講談+(としょかんとこうだんと) 第六章「歴史を彩った人々の食事・好物」	五代目 一龍齋 貞花 氏 (講談師)	48
亀有	8月31日	図書館×講談+(としょかんとこうだんと) 「本当に怖い御話の会」	五代目 一龍齋 貞花 氏 (講談師)	117
亀有	11月30日	図書館×講談+(としょかんとこうだんと) 第七章「値千金！月聞の会」	五代目 一龍齋 貞花 氏 (講談師)	42
亀有	12月14日	図書館×講談+(としょかんとこうだんと) 第八章「忠臣蔵の世界 第二弾」	五代目 一龍齋 貞花 氏 (講談師)	81
亀有	1月25日	図書館×講談+(としょかんとこうだんと) 第九章「財政再建・農村復興 二宮尊徳」	五代目 一龍齋 貞花 氏 (講談師)	77
水元	9月28日	「開国の真実」	穂高 健一 氏 (作家)	52
水元	11月30日	「最近の悪質商法の手口とその対処法」	原田 由里 氏 (一般社団法人ECネットワーク理事)	23
鎌倉	9月14日	「食の安全について ～賢く見分ける目を養おう～」	垣田 達哉 氏 (消費者問題研究所代表 食品問題評論家、食アドバイザー)	36
鎌倉	2月15日	「知って役立つ！遺言の基礎知識」	保坂 洋彦 氏 (公証人)	47
合計				945

一般講演会過去4年間の開催推移

	28年度	29年度	30年度	元年度
回数	6	11	15	16
参加者	284	626	808	945

③ビジネス支援セミナー（開催：全10回）

ビジネスのスキルアップに役立つセミナーを、講師を招いて開催した。

館名	開催日	内容(テーマ)	講師	参加者
中央	4月13日	「シンギュラリティ」は本当に近いのか？	芹生 一史 氏 (中小企業診断士)	36
中央	9月15日	「夢起業セミナーvol.7」	森尾 浩司 氏、波多埜 宏幸 氏 (中小企業診断士) 浜園 浩美 氏 (「こども応援団マイカ」主宰)	20
中央	1月12日	「元飛び込み営業マンが語る！ 「営業力アップの3つの方法」	森永 逸二郎 氏 (中小企業診断士)	53
中央	1月26日	「パラレルキャリアのつくり方 ～自分らしく働く「複業」という選択～	三原 菜央 氏 (「自分らしく働く パラレルキャリアのつくり方」 著者)	67
中央	2月9日	「新たなビジネスの種を考えてみよう！ ～アイデア発想の羅針盤を使って～	大原 善満 氏 (中小企業診断士)	53
立石	4月21日	「明日から使える！成果の出るチームの作り 方」	半田 武志 氏 (中小企業診断士)	30
立石	7月21日	「起業の夢をかなえるクラウドファンディング」	板越 ジョージ 氏 (中小企業診断士)	44
立石	9月8日	「マインドフルネス瞑想法～仏教からヒントを 得る～」	酒井 菜法 氏 (日蓮宗高応寺 住職)	67
立石	1月18日	地元企業応援セミナー 「東京手描友禅をもっと身近な存在に」	兵藤 修 氏 (きもの染色工房ひよ 主宰)	20
立石	1月25日	「チームをまとめる できるリーダー-の会議術」	新貝 匡輝 氏 (中小企業診断士)	23
合計				413

ビジネス支援セミナー過去4年間の開催推移

	28年度	29年度	30年度	元年度
回数	14	16	17	10
参加者	513	600	700	413

④データベース講習会（開催：全2回）

データベース利用促進、ビジネス支援及び学習支援を目的として開催した。

館名	開催日	内容(テーマ)	講師	参加者
中央	2月19日	「ビジネス情報の調べ方：マーケティング編」	青山 武夫 氏 (日本統計センター主任研究員)	15
立石	8月22日	法律情報データベース操作講習会 「ウエストロージャパン」		9
合計				24

データベース講習会過去4年間の開催推移

	28年度	29年度	30年度	元年度
回数	7	5	3	2
参加者	58	46	37	24

⑤ビジネス相談会

ビジネス支援サービスの一環として、中小企業診断士による起業・開業・経営改善等の相談会を開催した。

23年度からは立石図書館でもビジネス相談会を開催している。

【会場：中央図書館】(月1回)

開催日	参加者	開催日	参加者
4月20日	6	10月19日	0
5月18日	5	11月16日	5
6月15日	5	12月21日	5
7月20日	5	1月18日	5
8月17日	7	2月15日	7
9月21日	6	3月21日	5
合計			61

【会場：立石図書館】(月1回)

開催日	参加者	開催日	参加者
4月7日	6	10月6日	5
5月12日	6	11月3日	3
6月2日	3	12月1日	1
7月7日	6	1月5日	4
8月4日	6	2月2日	5
9月1日	0	3月1日	6
合計			51

ビジネス相談会過去4年間の開催推移

	28年度	29年度	30年度	元年度
回数	23	24	24	24
参加者	96	98	122	112

⑥その他一般向け行事

◇大人のためのお話サロン(朗読会)

【会場:鎌倉図書館】(全10回)

開催日	参加者	開催日	参加者
4月11日	14	10月10日	15
5月9日	21	11月14日	18
6月13日	16	12月12日	18
7月11日	16	2月13日	15
8月8日	17		
9月12日	22		
合計			172

館名	開催日	行事名	内容	参加者
立石	9月21日	『ブックトレード』 「おすすめ本」の交換会	自宅にある読み終えた本にメッセージを添えて交換する。	34

(2) 子ども向け行事 ※令和元年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くのイベントが中止となりました。

①子ども映画会

子どもたちが本や図書館に興味を持つことを目的に、児童書を原作とする映画や名作アニメなどを上映した。

②おはなし会

小学生までと保護者を対象に、子どもと本を結びつける手段として、「おはなし会」を行った。

③絵本読み聞かせ

小学生までと保護者を対象に、絵本読みを行った。

④おひざにだっこのおはなし会

0～3歳くらいの子と保護者を対象に小さい子も楽しめる絵本の読み聞かせを行った。

⑤特別おはなし会

季節に合わせて、夏のこわいおはなし会、食育のおはなし会、クリスマスのおはなし会などを行った。

⑥いろんなことばのおはなし会

外国語で書かれた絵本の読み聞かせを行い、原語と翻訳された絵本の違いを伝えた。また、外国人ボランティアや外国に居住経験のある日本人ボランティアと一緒に、その国の歌や文化を楽しむことを目的に、多文化サービスのひとつとして実施した。

館名	子ども映画会		おはなし会		絵本 読み聞かせ		おひざに だっこの おはなし会		特別 おはなし会		いろんなことば の おはなし会		計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
中央	1	26	31	576	312	3,376	24	850	8	234	4	133	380	5,195
立石	2	49	20	225	74	623	46	524	10	206	1	20	153	1,647
お花茶屋	0	0	19	195	21	182	35	653	2	44	0	0	77	1,074
上小松	4	63	18	206	22	187	42	600	2	57	0	0	88	1,113
亀有	0	0	15	86	57	316	20	258	3	107	0	0	95	767
水元	0	0	8	57	50	436	21	181	4	143	0	0	83	817
鎌倉	0	0	18	109	53	605	11	126	3	135	2	33	87	1,008
四つ木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西水元	0	0	8	68	0	0	0	0	3	43	0	0	11	111
青戸	0	0	0	0	11	55	11	119	4	82	0	0	26	256
奥戸	0	0	0	0	0	0	10	70	0	0	0	0	10	70
こすげ	0	0	0	0	0	0	10	155	5	61	0	0	15	216
合計	7	138	137	1,522	600	5,780	230	3,536	44	1,112	7	186	1,025	12,274

*開催中止も回数に含む。

⑦「子ども読書の日」記念行事

4月23日の「子ども読書の日」及び5月12日までの「子どもの読書週間」に合わせ、より本に親しんでもらうために、記念おはなし会や、読み聞かせ、展示などを行った。

◇記念おはなし会・絵本読み・読み聞かせ（開催：全14回）

館名	開催日	内容(テーマ)	参加者
中央	4月24日	ぬいぐるみといっしょの絵本の時間	6
中央	4月27日	子ども読書の記念おはなし会	24
立石	4月27日	ぬいぐるみといっしょの絵本の時間	22
お花茶屋	4月20日	みんなであそぼうおはなし会	17
上小松	4月20日	ぬいぐるみと一緒に参加できるおはなし会	25
亀有	4月20日	ぬいぐるみといっしょ！！おはなし会	13
亀有	4月24日	ぬいぐるみといっしょ！！えほんよみ	12
水元	4月24日	ぬいぐるみと一緒に参加できるおはなし会	8
鎌倉	4月20日	春の特別おはなし会	37
鎌倉	4月27日	春のわくわくおはなし会	23
西水元	4月27日	ぬいぐるみと一緒に参加できるおはなし会	17
青戸	4月27日	子ども読書の日記念おはなし会(小さい子向け)	21
青戸	4月27日	子ども読書の日記念おはなし会(小学生向け)	20
こすげ	4月27日	ぬいぐるみといっしょのおはなし会	7
合計			252

◇記念展示（開催：全8回）

館名	開催日	内容(テーマ)
中央	4月26日～ 5月22日	「昔話の絵本と人形・切り絵」の展示
立石	4月26日～ 5月22日	ぬいぐるみたちの本の小部屋
上小松	4月26日～ 5月22日	「よい絵本」の展示
水元	4月26日～ 5月22日	「詩・俳句・短歌の本」の展示
鎌倉	4月26日～ 5月22日	「ぬいぐるみがえらんだ本」の展示
四つ木	4月26日～ 5月22日	「よい絵本」の展示
西水元	4月26日～ 5月22日	「ぬいぐるみがえらんだ本」の展示
奥戸	4月26日～ 5月22日	「ぬいぐるみがえらんだ本」の展示

※「よい絵本」とは、全国学校図書館協議会で選定された本です。

◇記念イベント（開催:全10回）

館名	開催日	行事名	内容	参加者
全館	4月25日 4月26日	ぬいぐるみの図書館おとまり会 (中央16 立石16 お花茶屋20 上小松16 亀有15 水元19 鎌倉17 四つ木5 西水元5 青戸5 奥戸6 こそげ13)	参加者のお気に入りのぬいぐるみを図書館にお泊りさせる。	153 (各館内訳は左記のとおり)
立石	4月27日～ 4月30日	ぬいぐるみの本の小部屋	ぬいぐるみと絵本の展示および読み聞かせ	233
お花茶屋	4月2日～ 5月12日	ほんのもりへようこそ	おすすめの本の紹介	67
亀有	4月2日～ 5月22日	かめせんにんのちょうせんじょう	本のタイトルを使ったスケルトンクイズ	757
亀有	4月26日～ 5月22日	おたのしみボックス	「おたのしみの本」の包みを貸出	273
亀有	4月27日～ 5月6日	つくってみよう！おたのしみボックス！	参加者がお薦めしたい本を数冊選んで、おたのしみボックスを作成する。	49
水元	4月2日～ 4月30日	わたしのすきな詩	参加者が好きな詩や自作の詩・俳句・短歌の紹介	25
西水元	4月26日～ 5月22日	おたのしみボックス	「おたのしみの本」の包みを貸出	25
青戸	4月26日～ 5月22日	おたのしみボックス	「おたのしみの本」の包みを貸出	56
こそげ	4月26日～ 5月22日	としょかんスタンプラリー	本を借りる時カードにスタンプを押し、スタンプがたまったらプレゼントをさしあげます。	167
合計				1,972

◇記念講演会

館名	開催日	内容(テーマ)	講師	参加者
中央	7月20日	「絵本と鳥の巣の不思議」	鈴木 まる氏 (絵本作家)	107

⑧保育園・幼稚園招待・訪問

図書館員が保育園・幼稚園児を図書館に招待又は訪問し、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリングなどで本の紹介をし、団体貸出なども行い、本に親しむ機会をつくった。

⑨児童館訪問

児童館に集まる親子を対象に、絵本の紹介や読み聞かせなどを行った。

⑩学級招待

小学生を対象に学級単位で図書館に招待し、館内見学、ブックトーク(本の紹介)などを行い、本に親しむ機会をつくった。

⑪学級・学校訪問

学校に訪問し、学級や学校単位で図書館の利用方法について説明し、ブックトーク(本の紹介)や読み聞かせなどを行い、本に親しむ機会をつくった。

⑫保健センター訪問・招待

乳幼児健診等で各保健センターに集まった乳児と保護者を対象に、保健センターや図書館で乳幼児からの絵本の紹介、読み聞かせ等についての話を行った。

⑬障害児学校訪問・招待

障害のある児童・生徒を図書館に招待又は訪問し、ブックトーク(本の紹介)、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリングなどを行い、本に親しむ機会をつくった。

館名	保育園・幼稚園招待・訪問		児童館訪問		学級招待		学級・学校訪問		保健センター訪問・招待		障害児学校訪問・招待		計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
中央	68	1,140	0	0	3	231	19	715	0	0	9	149	99	2,235
立石	71	1,158	8	130	4	245	40	1,131	1	48	0	0	124	2,712
お花茶屋	53	1,084	12	255	3	289	9	736	0	0	0	0	77	2,364
上小松	69	1,544	2	32	4	364	0	0	0	0	0	0	75	1,940
亀有	60	1,375	10	154	0	0	43	2,130	0	0	0	0	113	3,659
水元	75	1,719	2	35	10	779	9	848	0	0	8	274	104	3,655
鎌倉	52	1,415	5	44	7	388	1	67	0	0	0	0	65	1,914
四つ木	43	803	0	0	0	0	27	681	0	0	0	0	70	1,484
西水元	15	360	4	43	3	102	0	0	0	0	0	0	22	505
青戸	35	880	3	66	0	0	5	483	0	0	0	0	43	1,429
奥戸	23	581	0	0	0	0	14	460	0	0	0	0	37	1,041
こすげ	18	427	0	0	4	188	0	0	0	0	0	0	22	615
合計	582	12,486	46	759	38	2,586	167	7,251	1	48	17	423	851	23,553

*開催中止も回数に含む。

⑭ブックスタート

赤ちゃんと保護者が絵本を介して言葉と心を通わす、そのかけがえのないひとときを応援する事業として、絵本、イラストアドバイス集などの入った「ブックスタートパック」を手渡し、絵本の読み聞かせを行った。
平成18年4月から、保健センターで実施される乳児健診(3～4か月児健診)で行っている。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	合計
回数	24	18	12	12	15	15	12	108
パック配付数	706	503	378	391	432	387	326	3,123

⑮セカンドブック

子どもの読書活動を推進し、かつ、図書館の利用促進を図る事業として、3歳児を対象に5種類の絵本の中から1冊を選んでもらい、「セカンドブック・リーフレット」と共に手渡し、図書館の案内を行った。
平成25年5月から、全図書館で引き換えを開始。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿	合計
配付数	440	237	168	223	188	349	154	39	15	146	56	113	11	2,139

⑯かつしかっ子ブック配布

指導室との連携事業として、読書に親しむ機会を支援するため、成長の節目を迎える小学校1年生及び中学校1年生に、教育委員会が薦める図書リストから1冊を選んでもらい、本に教育長のメッセージを添えて渡している。

	中央
配付数	6,725冊(うち小学生3,512冊、中学生3,213冊)

⑰読書手帳配布

平成29年度からブックスタート事業、セカンドブック事業、かつしかっ子ブック事業(小学1年生)対象のお子さんに読書手帳の配布をしている。

	中央
配布数	乳幼児版5,126冊(うちブックスタート事業3,110冊、セカンドブック事業1,495冊、2冊目以降521冊) 小学生版3,628冊(うちかつしかっ子ブック事業3,512冊、2冊目以降116冊)

⑱図書館見学

小学校の社会科見学などで図書館の見学を受入れた。

⑲一日図書館員

小学4年生～6年生を対象に、夏休みに図書館の仕事の体験を行った。

㉑かみしばいの会

小学生までと保護者を対象にかみしばいを行った。

㉒科学絵本・工作の会

科学絵本に書いてある実験や工作を行い、科学絵本の楽しさにふれる会を行った。

㉓子ども司書クラブ

一日図書館員に参加した小学生を中心に図書館の仕事のお手伝いをしてもらうことで、読書リーダーを育てた。

㉔図書館クイズ

本や図書館に関するクイズを行い、読書活動の推進につなげた。

館名	図書館見学		一日図書館員		かみしばいの会		科学絵本・工作の会		子ども司書クラブ		図書館クイズ		計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
中央	0	0	3	23	15	329	0	0	7	49	2	225	27	626
立石	0	0	3	24	4	60	2	26	12	124	0	0	21	234
お花茶屋	0	0	3	20	3	3	1	14	0	0	0	0	7	37
上小松	0	0	3	24	0	0	0	0	0	0	0	0	3	24
亀有	3	269	3	22	0	0	2	88	0	0	0	0	8	379
水元	0	0	3	24	12	139	3	135	7	42	1	223	26	563
鎌倉	0	0	3	14	0	0	0	0	14	17	0	0	17	31
四つ木	2	57	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	61
西水元	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
青戸	2	147	1	4	0	0	0	0	0	0	1	250	4	401
奥戸	3	85	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	88
こすげ	6	128	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	131
合計	16	686	26	169	34	531	8	263	40	232	4	698	128	2,579

*開催中止も回数に含む。

④その他子ども向け行事

◇わらべうたの会(月1回程度)

わらべうたや絵本読みを中心としたおはなし会。

	中央	合計
回数	24	24
参加者	555	555

◇絵本の講座(月1回程度)

乳幼児を持つ保護者を対象に、絵本の与え方と読み聞かせについてお話する。

	中央	鎌倉	合計
回数	12	7	19
参加者	111	52	163

◇図書館訪問・インタビュー(随時)

学校授業の一環として図書館を訪問し、図書館についてのインタビューを受けた。

	亀有	青戸	合計
回数	3	1	4
参加者	23	2	25

◇小学生による絵本読み(年3回程度) ◇その他訪問・招待(随時)

小学生が読み手となる絵本読み。

保育園の父母会を招待してのおはなし会。

	上小松	合計
回数	1	1
参加者	23	23

	青戸	合計
回数	1	1
参加者	24	24

◇パソコンを使った親子手づくり絵本教室(7月24日～8月3日)

パソコンを使って自作の絵本を作る教室

	中央	合計
回数	5	5
参加者	90	90

◇ブックトークの会(7月28日)

小学生(中学年の部、高学年の部)を対象に夏休みにおすすめの本を紹介する。

	中央	合計
回数	2	2
参加者	23	23

◇その他(開催:全13回)

館名	開催日	行事名	内容	参加者
中央	7月21日	なつやすみ点字教室 「点字で遊ぼう!学ぼう!」	遊びを通して楽しく点字を学ぶイベント	86
中央	7月22日～ 7月23日	夏休み 自由研究おうえんたい	小学生を対象に、自由研究で役に立つ本や調べ方を紹介した。	153
中央	7月30日	夏休み かつしか地図散歩	葛飾区の様々な地図を見比べ、地域を知るイベント	29
中央	11月12日	らんらんフェスティバル	保育園などの区内施設が集まり、乳幼児向けイベントを行う。	90
立石	8月26日	『読書感想文おうえん隊』 本選びのおてつだい	夏休みに感想文を決めかねている子ども達に、ミニミニブックトークをしながらおすすめ本を紹介する。	36
上小松	8月31日	「おたのしみ会」	年に数回おたのしみ会を実施。 1回目は紙芝居を読むイベント	14
上小松	11月2日	保育園・児童館・保健センターへ リサイクル本の提供	地域の施設を招いて、リサイクル市を行った。	12
亀有	7月20日～ 9月1日	夏休み特別企画! 「としょかんえんにち」	日替わりでえほんつり、わなげ、しゃてき、ガチャポンなどを実施するイベント	513
亀有	10月25日～ 10月31日	合言葉は「トリック オア トリート」	本を借りる時に合言葉「トリック オア トリート」をいうとプレゼントをお渡しします。	93
亀有	10月25日～ 11月10日	ガチャ本(ガチャポン)で本を探せ!	ガチャ本(ガチャポン)のダイヤルを回して、出てきたカプセルの中のヒントを頼りに本を探し貸し出す。貸し出した本の紹介文と引き換えにプレゼントを贈る。	128
亀有	1月11日～ 3月31日	としょかんポイントカード	小学生を対象に来館ごとにスタンプカードを押し、ポイントがたまると先着500名にプレゼントをお渡しするイベント。	483
亀有	1月24日～ 2月26日	えほんつり	好きな紐を引いて、紐の先についているカードの本を借りてもらう。	226
亀有	1月4日～ 1月8日	「かめっこおみくじ」	本を貸し出した方先着100名に1日1回くじを引いてもらうイベント。	100
合計				1,963

(3) 中・高校生向け行事 ※令和元年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くのイベントが中止となりました。

①はてなぶっくす？

中高生向けにテーマに沿っておすすめの本を選び、英字新聞で本を包装してタイトルが分からないようにして貸出をした。

②職場体験、職場インタビュー

図書館の仕事の体験や見学を通したインタビューをしてもらい、図書館への理解を深めてもらうとともに、本に親しむ機会をつくった。

③職場インタビュー(随時)

学校授業の一環として図書館を来館してもらい、図書館についてのインタビューを行った。

④YA学級・学校訪問

学校に訪問の上、学年や学級単位での図書館の利用方法についての説明、ブックトーク(本の紹介)、読み聞かせなどを行い、本に親しむ機会をつくった。

館名	はてなぶっくす？		職場体験		職場インタビュー		YA学級・学校訪問		計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
中央	3	645	3	12	0	0	0	0	6	657
立石	2	306	2	6	0	0	2	269	6	581
お花茶屋	2	166	0	0	0	0	2	158	4	324
上小松	3	302	2	7	0	0	6	829	11	1,138
亀有	2	351	4	10	0	0	0	0	6	361
水元	3	211	3	11	0	0	2	290	8	512
鎌倉	2	373	2	8	0	0	2	156	6	537
四つ木	2	37	0	0	0	0	0	0	2	37
西水元	1	43	0	0	0	0	0	0	1	43
青戸	2	114	1	1	0	0	0	0	3	115
奥戸	2	51	0	0	0	0	0	0	2	51
こすげ	2	144	1	2	0	0	0	0	3	146
合計	26	2,743	18	57	0	0	14	1,702	58	4,502

*開催中止も回数に含む。

⑤その他・高校生向け行事

◇YAブッククラブ

	立石	水元	合計
回数	5	8	13
参加者	7	12	19

◇YAイベント(開催:全2回)

館名	開催日	内容(テーマ)	講師(内容)	参加者
中央	1月18日	ティーンズ向けイラスト講座 ～描けないが描ける！～手足の 描き方講座～	根本 聡美氏 瀧寺 愛美氏 (代々木アニメーション学院東京校 イラスト科講師)	21
立石	8月22日	夏のYAイベント脱出ゲーム「ブ ラックたっぴーの陰謀」	図書館からの問題を解いたり、図書 館の使い方や本の分類、請求記号な どを学ぶイベント	3
合計				24

(4) 子どもから大人までの行事

①ビブリオバトル

知的書評合戦(読んで面白かった本を1冊ずつ持ち寄って紹介し、見学者の投票によりチャンプ本(最高得票の本)を決定するイベント)を行い、本と親しむ機会をつくった。

◇葛飾区立図書館 ビブリオバトル

	中央	合計
開催日(回数)	8月17日	1
参加者	24	24

②かるた大会

「かつしか郷土かるた」などを用いたかるた大会を行い、楽しみながら郷土かつしかや日本の伝統行事に親しむ機会をつくった。また、絵本をかるたに見立てた「絵本かるた大会」も行い、楽しみながら絵本や読書に親しむ機会をつくった。

館名	開催日	行事名	回数	参加者
中央	1月5日	絵本かるた(未就学児の部、小学生の部)	2	41
亀有	1月18日	えほんかるた会	1	17
水元	1月11日	お正月えほんかるた会	1	41
四つ木	2月14日 2月18日	絵本かるた大会	2	57
合計			6	156

(5) ボランティア養成関連行事

①読み聞かせボランティア講座

◇読み聞かせボランティア講座(入門編)

幼稚園・保育園・小学校などで読み聞かせをしている方、又はする予定のある方を対象に、子どもの読書活動を推進するボランティアを養成するため、読み聞かせ講座を開催した。

	開催日	会場	内容	参加者
第1回	10月14日	立石	「よみきかせ・いろはのい」 講師 大井 むつみ 氏 (元大学非常勤講師)	36
第2回	10月16日	立石	ボランティア経験者のお話と実演 講師 読み聞かせの会『ひよこの会』のみなさんと 読み聞かせボランティア 池添 トモ子 氏(ボランティア経験者)	20 (20)
第3回	10月23日	立石	読み聞かせ指導・発表準備	20 (20)
第4回	10月30日	立石	受講生によるおはなし会の発表会	20 (20)
第5回	11月6日	立石	今後の活動について	20 (18)
合計				116(78)

* ()の数は、参加人数の内の受講者数

◇読み聞かせボランティア講座(乳幼児編)

現在、読み聞かせボランティアとして活動している方を対象に、スキルの向上を目指すための講座を開催した。

	開催日	会場	内 容	参加者
第1回	6月16日	中央	「子どもとたのしむわらべうた・絵本・おはなし」 講師 落合 美知子氏(子どもの本研究家)	78
第2回	6月19日	中央	乳幼児おはなし会とわらべ歌 講師 落合 美知子氏(子どもの本研究家)	30
第3回	7月3日	中央	読み聞かせ指導・おはなしの会企画・実演	26
第4回	7月10日	中央	受講生による発表会	25
第5回	7月17日	中央	今後の活動について	25
合計				184

②ブックスタート講演会・交流会・説明会

ブックスタートボランティアと一般の方を対象に、子どもの育ちと読書についての講演会を実施した。また、講演会終了後、新しくブックスタートボランティアを養成するための説明会、及びブックスタートボランティアのフォローアップとしての交流会を実施した。

館名	開催日	内容(テーマ)	講師	参加者
中央	10月6日	「心と体の育ちを応援する 「べびいケア」と絵本 ～赤ちゃんの発達とフィジカルケア～」	吉田 敦子 氏 (助産師・NPO法人「母子フィ ジカルサポート研究会」代表 理事)	27

③点訳ボランティア養成講座(スキルアップ編)

区内で活動する点訳ボランティア向けに養成講座を開催した。

	開催日	会場	内 容	参加者
第1回	9月4日	中央	日本点字表記の改定に伴う変更点の説明、数字、記 号について 講師 齊藤 宮子 氏 (「点訳きつつき」代表)	8
第2回	9月11日	中央	Tエディタの環境設定、ファイルの操作方法について 講師 齊藤 宮子 氏 (「点訳きつつき」代表)	8
第3回	9月25日	中央	ハンディキャップサービスのご案内の点訳要領の解説 講師 齊藤 宮子 氏 (「点訳きつつき」代表)	8
第4回	10月2日	中央	課題の添削と解説、中央図書館の案内触図 についての解説 講師 齊藤 宮子 氏 (「点訳きつつき」代表)	9
合計				33

④音訳ボランティア養成講座

区内で活動する音訳ボランティア向けに養成講座を開催した。

	開催日	会場	内 容	参加者
第1回	10月7日	中央	『音読』の意味の解説、実践指導 講師 鳥羽 静子 氏	19
第2回	10月21日	中央	「荷風 日和下駄 読みあるき」について 講師 鳥羽 静子 氏	19
第3回	11月25日	中央	「大川の水」について 講師 鳥羽 静子 氏	19
第4回	12月2日	中央	「散り椿」について 講師 鳥羽 静子 氏	20
合計				77

⑤ボランティア懇談会

ハンディキャップサービスの向上のため、ボランティア団体及び図書館員が、意見交換、情報交換を行った。

	中央	合計
開催日 (回数)	8月2日	1
参加者	10	10

⑥利用者懇談会

ハンディキャップサービスの向上のため、ハンディキャップサービス利用者、ボランティア団体、及び図書館員が、意見交換、情報交換を行った。

	中央	合計
開催日 (回数)	11月1日	1
参加者	24	24

⑦本の宅配ボランティア交流会

ハンディキャップサービスの向上のため、各館登録の本の宅配ボランティアに活動報告と意見交換を行なった。

	立石	合計
開催日 (回数)	2月27日	1
参加者	7	7

⑧その他ボランティア養成関連行事

◇学校図書館ボランティア講座

	立石	亀有	合計
開催日 (回数)	7月8日	9月26日	2
参加者	15	4	19

◇ボランティア連絡会

子ども読書活動推進のため、ボランティアとの連絡会を行った。

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止あり

	中央	立石	お花茶屋	水元	合計
開催日 (回数)	3月8日	3月28日	3月3日	4月6日	4
参加者	0	0	7	9	16

◇パソコンを使った絵本づくりのボランティア

養成講座(5月30日～6月1日)

	中央	合計
回数	5	5
参加者	28	28

◇高齢者施設訪問(随時)

高齢者施設へ出張をしておはなし会を行う。

	鎌倉	西水元	合計
回数	22	3	25
参加者	278	39	317

(6)中央図書館 開館10周年 秋の読書週間イベント

①講演会・イベント (開催:全7回)

開催日	内容(テーマ)	講師	参加者
10月13日	葛フィル ライブラリーコンサート	葛飾フィルハーモニー管弦楽団団員	130
10月20日	児童講演会「たくさんの「うれしい」をとどける ～私の絵本づくり～」	浜田 桂子 氏 (絵本作家)	53
10月26日	大人のための朗読会 朗読体験 「鶉(う)の話」(中勘助/作)ほか	柴田 純子 氏 (NPO日本朗読文化協会会員)	64
10月27日	「冒険にまつわる本と『エルマーのぼうけん』を書いたガネットさんのこと」	前沢 明枝 氏 (翻訳家)	56
11月2日	東京理科大学講演会 「電子と光が織りなす不思議な波の世界」	藤代 博記 氏 (東京理科大学副学長/ 基礎工学部教授)	69
11月3日	ティーンズ向け☆イラスト講座 ～人体の描き方編～	根本 聡美 氏 (代々木アニメーション学院 東京校/イラスト科講師)	26
11月30日	「フーテンのマハ 世界は旅するに値する！ ～度胸と直感そして出会い～」	原田 マハ氏 (作家)	122
合計			520

②記念おはなし会・絵本よみ（開催：全4回）

開催日	内容(テーマ)	参加者
10月17日	たんじょう日の絵本の時間	10
10月17日	大人のためのおはなし会	19
10月19日	絵本でつながる～読みあいワークショップ～	20
11月3日	育児パパあつまれ！パパによるおはなし会	29
合計		78

③図書館と本とつながる特別イベント（開催：全3回）

開催日	行事名	内容	参加者
10月13日	「図書館クイズ&書架めぐり」	図書館の書架を巡るような内容でクイズを出題	33
10月25日	図書館見学ツアー	開架とバックヤードをツアー	9
10月25日	夜のバックヤードツアー	夜の部のバックヤードツアーと こわいおはなし会	9
合計			51

④展示イベント（開催：全5回）

開催日	内容(テーマ)
9月27日～ 10月23日	ブックシェア 葛飾の大学の学生・教職員 おすすめの一冊 ～10年後また読みたい本～
9月27日～ 10月24日	10周年記念展示 「中央図書館10年のあゆみ」
10月13日～ 11月3日	10周年フォトブース
10月13日～ 11月30日	ブックツリー
10月24日～ 10月25日	大人のためのぬいぐるみのおとまり会
合計	

(7)その他

①学校図書館・公共図書館連絡会

地域の学校と公立図書館との連携を推進するために、担当教諭・学校司書・ボランティア等の出席のもと連絡会を行った。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	合計
回数	3	2	3	4	6	4	4	26
参加者	43	31	32	36	60	52	55	309

②展示イベント（開催：全22回）

館名	開催日	展示名
中央	4月26日～ 6月23日	栗本薫/中島梓没後10年展示～あなたを語り継ぐ～
中央	7月26日～ 8月21日	中央図書館 夏のブックシェアー 2019 図書館員のおすすめ本
中央	9月27日～ 10月23日	東京理科大学葛飾図書館・葛飾区立中央図書館所蔵資料交換展示 「図書館資料で発見！かつしか」
中央	11月29日～ 12月25日	障害者週間展示 葛飾区立図書館ハンディキャップサービスのご案内
中央	11月29日～ 12月25日	障害者週間展示 布絵本紹介
中央	1月24日 ～3月5日	ビジネスセミナー葛飾の社長・会社シリーズ関連展示 有限会社アトリエ・エイト 「下町のアトリエから発信！伝統技術「よせもの」ジュエリー」
立石	4月26日～ 5月22日	ぬいぐるみのおとまり会
立石	7月1日～ 7月24日	立石図書館の歴史
立石	7月26日～ 8月21日	『環境 DE クイズ』『環境selects』
立石	8月23日～ 9月25日	ブックトレード
立石	9月26日～ 10月23日	「ロビー展示」「クロスワードパズル」
立石	10月25日～ 11月27日	はてなぶつくす・本田中学校のPOP展示
立石	11月9日～ 11月9日	物忘れ防止・フェスタ in 葛飾(医師会・区主催事業) テクノプラザ葛飾にて「出張認知症なび」として参加
立石	11月29日～ 12月25日	認知症なび&ハンディキャップサービス資料展示
立石	12月27日～ 1月22日	『福本』&『町工場物語パネル展示』
立石	1月24日～ 2月26日	『地元企業を応援します』
立石	3月26日～ 4月22日	『地元企業を応援します』
上小松	11月29日～ 12月5日	障害者週間巡回展示
亀有	12月13日～ 12月28日	点字がついた日用品等ハンディキャップサービス資料の展示
亀有	2月27日～ 2月27日	マナーアップキャンペーン
水元	11月29日～ 12月11日	障害者週間巡回展示
鎌倉	12月27日～ 1月22日	障害者週間巡回展示

③葛飾図書館友の会行事

開催日 (回)	行 事 名	内 容	館名	回数	参加者
月1回程度	CD・DVDコンサート	図書館所蔵のCD・DVDによる名曲コンサートを行った。	中央	10	288
月1回程度	ナイトシアター	名作・芸術映画・文学作品などを上映し、その作品の関連図書資料の展示を行った。	中央	10	594
月1回程度	多読クラブ	「英語多読入門講座」や「親子英語よみかきかせ講座」を開催した。	中央	11	236
奇数月の 第3木曜日	キーワード読書会	キーワードにちなんだ本を持参して紹介する。	中央	5	31
年5回程度	昔語りの会	昔話研究家の村敬子氏をお招きし、昔話の意義や歴史などをお話しいただいた。	中央	4	149
11月6日	手ぶくろ人形講習会	「ことりん&手ぶくろ人形の遊び方復習会」おはなし会に役立つ手ぶくろ人形制作の講習会を行った。	中央	1	16
11月24日	【友の会&中央図書館共催】特別講演会 「中央線沿線の文学風景～太宰治から村上春樹まで～」	太宰治から村上春樹までの著名な文学者が多く住み、その作品に描いた中央線沿線の風景をたどりながら、新たな発見や楽しみ方をお話しいただいた。	中央	1	45
1月3日	【友の会特別イベント】 「新年かるた会」 ～百人一首とかつしか郷土かるたで迎春を～	新年にちなみ百人一首と郷土かるた大会を行った。	中央	1	54
合計				43	1,413

9 各種統計

(1) サービス実績

		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	23区平均
区民一人当りの蔵書数(冊)	蔵書総数／人口 (図書)	2.9	2.77	2.68	2.69	2.72	2.89
区民一人当りの貸出冊数(冊)	貸出冊数／人口 (図書・雑誌 含団体)	7.31	7.41	6.91	6.74	6.46	7.79
登録者一人当りの貸出冊数(冊)	個人貸出冊数 (図書・雑誌)／登録者数	14.13	14.99	14.43	13.92	13.31	21
区民一人当りの資料購入費(円)	図書館資料費／人口	355	281	277	274	276	313
区民一人当りの購入冊数(冊)	購入冊数／人口 (図書)	0.15	0.11	0.10	0.10	0.10	-
登録率(%)	登録者数／人口*100 (個人)	49.74	47.61	47.16	47.65	46.75	35.9
全蔵書の平均貸出回数(回)	貸出冊数／蔵書冊数 (図書・雑誌 含団体)	2.43	2.55	2.45	2.38	2.23	-
開館日一日当りの貸出冊数(冊)	館ごとの「貸出冊数(図書・雑誌 含団体)／開館日数」の合計	11,470	10,972	10,285	9,923	9,629	-

注：人口、蔵書総数は、令和2年4月1日現在。登録者数は、令和2年度の延べ登録者数。

その他は、各年度の実績。登録者には区内在勤・在学・近隣区市を含む。

図書資料費は、雑誌、新聞、官報、視聴覚資料など全ての資料を含む。

登録者数・貸出冊数・図書館資料費・購入冊数・開館平均日数については、男女平等推進センター図書資料室分及びAV資料を除く。

「区民一人当りの資料購入費」について、葛飾区の数値は令和元年度の決算額を葛飾区の人口で割ったもの、23区平均の数値は、令和2年度の予算額を23区の人口で割ったものである。

(2) 登録者所在内訳

	一般室登録者	児童室登録者	合計	構成比
区内在住	159,784	19,328	179,112	82.2%
足立区	8,163	345	8,508	3.90%
江戸川区	6,477	408	6,885	3.16%
墨田区	972	12	984	0.45%
江東区	532	1	533	0.24%
その他の都内	906	0	906	0.42%
都内計	176,834	20,094	196,928	90.38%
埼玉県三郷市	4,800	168	4,968	2.28%
埼玉県八潮市	633	42	675	0.31%
千葉県松戸市	12,038	190	12,228	5.61%
千葉縣市川市	1,049	14	1,063	0.49%
その他	2,090	1	2,091	0.96%
合計	197,444	20,509	217,889	100.00%

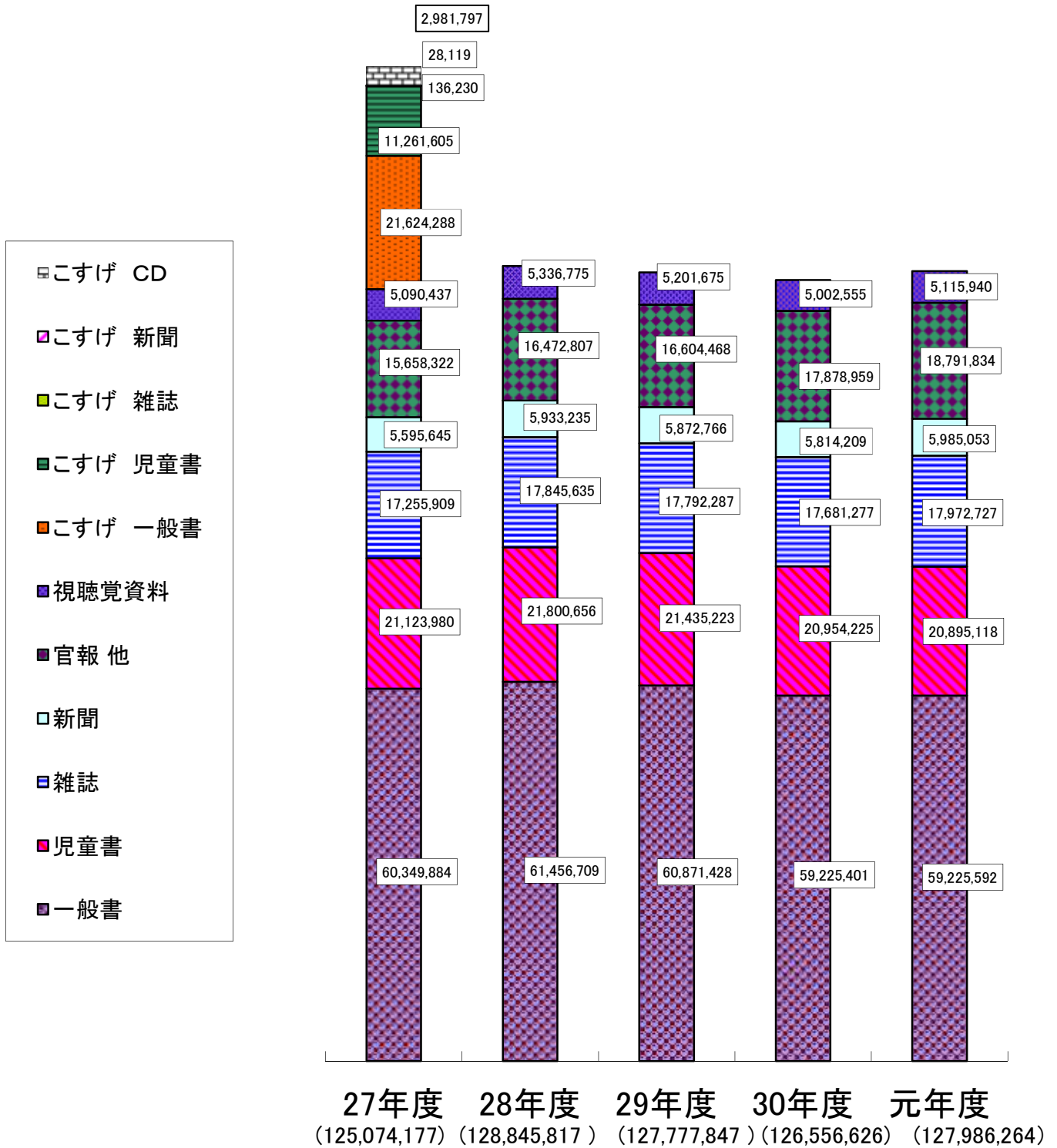
注：登録者数は、令和2年4月1日現在。(男女平等推進センターの登録者を含む。)

(3) 図書館資料費推移(決算額)

(単位:円・%)

種 別	30年 度	元 年 度	前年度比
図 書 (計)	80,168,826	80,109,710	△ 0.1
一 般 書	59,214,601	59,214,592	△ 0.0
児 童 書	20,954,225	20,895,118	△ 0.3
雑 誌	17,681,277	17,972,727	1.6
新 聞	5,814,209	5,985,053	2.9
官 報	318,276	326,796	2.7
追 録	4,864,358	5,541,664	13.9
DVD-ROM	10,800	11,000	1.9
ブックスタート図書資料費	2,721,600	2,721,556	△ 0.0
セカンドブック図書資料費	2,663,619	2,663,492	△ 0.0
かつしかっ子ブック図書資料費	7,311,106	7,538,326	3.1
図書等購入費の計 [A]	121,554,071	122,870,324	1.1
CD	2,950,753	2,944,262	△ 0.2
カセットテープ	0	0	—
デイズ-図書	88,948	78,507	△ 11.7
ビデオソフト	0	0	—
DVD	1,962,854	2,093,171	6.6
視聴覚資料費の計 [B]	5,002,555	5,115,940	2.3
図書館資料費の合計[A]+[B]	126,556,626	127,986,264	1.1

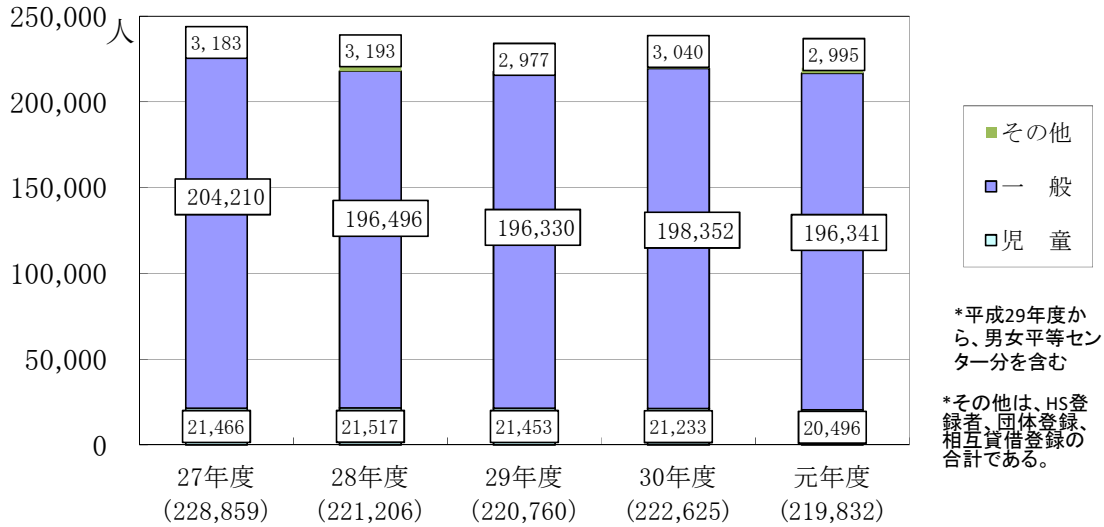
図書館資料費推移(決算額)



*CD-ROMの購入費は一般書に含む。

*官報他には、かつしかっ子ブック事業、ブックスタート事業、セカンドブック事業を含む。

(4) 登録者の推移



令和元年度	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿SC	男女センター	合計	
新規	一般	4,421	996	461	713	529	285	673	101	65	297	151	366	5	10	9,073
	児童	668	359	247	267	203	201	312	77	81	160	142	137	1	0	2,855
	合計	5,089	1,355	708	980	732	486	985	178	146	457	293	503	6	10	11,928
登録者	HS	4	1	1	1	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	16
	団体	17	4	5	8	4	5	5	0	1	0	0	1	0	0	50
	協力	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
開館日数	350	346	253	288	288	288	288	274	253	274	274	274	276	—	3,726	
1日平均登録者数	15	3	2	3	3	2	3	1	2	2	1	2	0	—	43	
登録者	一般	74,095	22,247	17,299	17,429	13,221	14,616	16,225	3,755	3,756	5,731	2,653	2,391	2,598	325	196,341
	児童	4,696	2,529	2,222	1,963	1,437	1,852	1,855	523	464	1,032	865	676	378	4	20,496
	合計	78,791	24,776	19,521	19,392	14,658	16,468	18,080	4,278	4,220	6,763	3,518	3,067	2,976	329	216,837
人数	HS	240	163	237	91	75	70	77	22	24	15	13	9	10	6	1,052
	団体	304	204	220	191	191	241	197	33	47	17	10	5	3	0	1,663
	協力	276	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	280

*「HS」は新規登録の際に、ハンディキャップサービス利用登録を申請した数。

*学校図書館支援コーナーにおける登録団体数は新宿SCに含める。

*男女平等推進センターは連携施設。

(5) 図書館別来館者数・平均来館者数

(来館者数:人)

令和元年度	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿SC	合計
来館者数	1,081,728	483,476	142,915	172,664	153,123	153,661	181,032	41,901	36,358	75,109	46,265	66,356	5,467	2,640,055
開館日数	350	346	253	288	288	288	288	274	253	274	274	274	276	3,726
平均来館者数	3,090	1,397	564	599	531	533	628	152	143	274	168	242	20	709

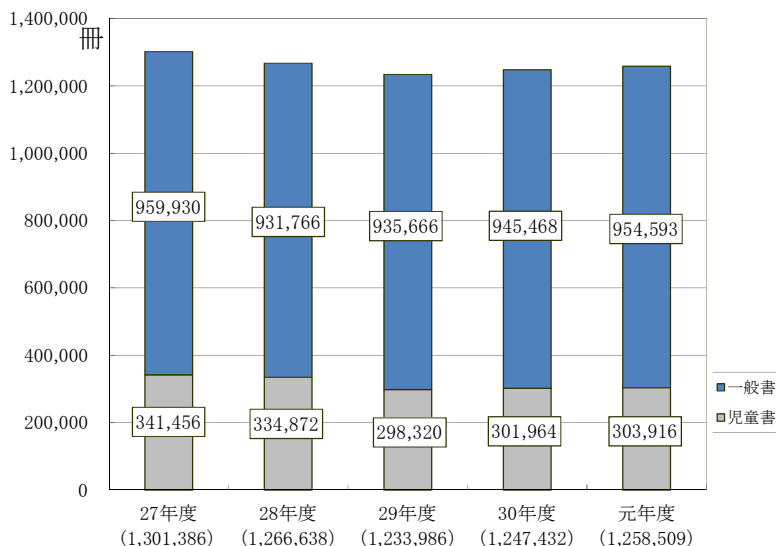
*「新宿SC」は、新宿図書サービスコーナーの略称。

*新宿図書センターは、平成29年10月1日から休館。

*新宿図書センターの休館に伴い、代替施設として新宿図書サービスコーナーを平成29年10月17日から設置。

過年度来館者数	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿SC	合計	前年比
元年度	1,081,728	483,476	142,915	172,664	153,123	153,661	181,032	41,901	36,358	75,109	46,265	66,356	5,467	2,640,055	95.0
30年度	1,144,618	527,661	184,107	170,734	158,804	169,146	125,675	45,108	43,193	82,475	52,460	70,101	5,743	2,779,825	94.4
29年度	1,131,083	539,187	191,826	198,794	174,866	158,557	205,724	44,837	45,973	74,172	51,435	69,871	59,104	2,945,429	96.1
28年度	1,139,969	545,614	192,402	205,988	179,818	171,084	212,911	46,599	45,683	87,024	51,922	71,495	113,282	3,063,791	99.4
27年度	1,158,349	558,271	216,380	217,738	172,769	175,715	220,035	46,548	45,807	88,638	52,380	2,037	127,910	3,082,577	

(6)蔵書数の推移



(7)資料統計
館別蔵書・所蔵数

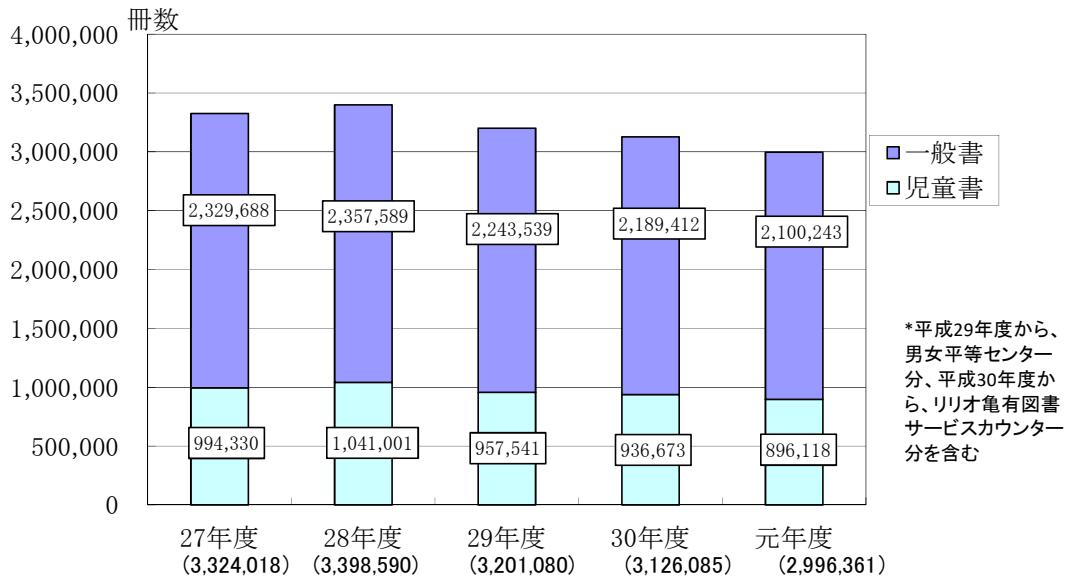
令和2年4月1日現在

分類	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四ツ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿SC	合計	割合
書	416,406	112,293	112,433	104,819	114,630	94,239	115,925	39,272	38,554	34,455	41,181	34,302	0	1,258,509	100.0%
一般書	349,052	83,616	82,812	79,210	85,042	64,459	84,839	25,666	25,661	21,559	29,174	23,503	0	954,593	100.0%
児童書	67,354	28,677	29,621	25,609	29,588	29,780	31,086	13,606	12,893	12,896	12,007	10,799	0	303,916	100.0%
雑誌	368	161	169	150	151	155	149	63	64	68	63	68	0	1,629	
CD	9,492	3,944	3,189	3,318	3,596	3,123	3,465	1,606	1,328	1,317	1,446	1,323	0	37,147	
カセット	143	21	108	798	648	444	132	109	70	0	0	0	0	2,473	
ビデオ	152	6	28	0	37	0	15	0	2	1	2	0	0	243	
DVD	3,828	348	57	57	99	61	59	24	24	22	15	13	0	4,607	
合計	430,421	116,790	115,996	109,155	119,174	98,035	119,759	41,082	40,050	35,871	42,715	35,714	4	1,304,772	

- * 新宿SCは新宿図書サービスコーナーの略称。
- * 新宿図書センターは、平成29年10月1日より休館。
- * 新宿図書センターの休館に伴い、代替施設として新宿図書サービスコーナーを平成29年10月17日より設置。
- * 支援(学校図書館支援コーナー及び学校図書館団体貸出エリア)は、新宿図書センターの休館に伴い解体。蔵書は、中央図書館へ移管。
- * 水元保存庫の蔵書については、中央図書館を含む。
- * 新聞・雑誌はタイトル数。
- * ビデオは旧葛飾図書館(平成21年10月17日から貸出停止)のみ、その他の図書館は広報ビデオ。保存庫のビデオ所蔵数は中央に含める。
- * 小数点以下2位を四捨五入しているため、必ずしも合計100%にはならない。

蔵書数(図書の経年変化)	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四ツ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿SC	合計	前年比
元年度	416,406	112,293	112,433	104,819	114,630	94,239	115,925	39,272	38,554	34,455	41,181	34,302	0	1,258,509	100.9
30年度	410,041	110,770	113,378	104,740	113,501	93,692	117,148	39,546	38,129	34,081	40,278	32,128	0	1,247,432	101.1
29年度	403,670	108,525	113,106	104,918	113,290	92,572	117,540	39,405	38,097	33,584	39,343	29,936	0	1,233,986	100.2
28年度	373,543	103,787	104,162	103,669	112,318	94,724	115,448	38,594	38,261	33,675	37,891	26,923	48,367	1,231,362	98.2
27年度	393,238	99,111	110,687	103,748	110,702	100,059	114,906	37,858	37,718	33,305	36,286	23,678	52,797	1,254,093	

(8) 図書・雑誌貸出冊数の推移



令和元年度における貸出冊数(図書・雑誌)

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿(新宿SC)	リリオ	男女センター	合計
一般書	688,507	300,421	139,571	132,321	146,594	149,744	186,943	40,076	25,464	91,002	56,440	94,218	13,238	30,473	5,231	2,100,243
1日平均貸出冊数	1,967	868	552	459	509	520	649	146	101	332	206	344	48	-	-	-
児童書	216,850	125,285	64,064	64,085	82,738	80,911	87,765	24,005	14,940	49,568	29,956	46,436	3,232	5,335	948	896,118
1日平均貸出冊数	620	362	253	223	287	281	305	88	59	181	109	169	12	-	-	-
開館日数	350	346	253	288	288	288	288	274	253	274	274	274	276	-	-	3,726
合計	905,357	425,706	203,635	196,406	229,332	230,655	274,708	64,081	40,404	140,570	86,396	140,654	16,470	35,808	6,179	2,996,361

- *団体・協力貸出等を含む。
- *新宿SCは、新宿図書サービスコーナーの略称。
- *新宿図書センターは、平成29年10月1日より休館。
- *新宿図書センターの休館に伴い、代替施設として新宿図書サービスコーナーを平成29年10月17日より設置。
- *新宿図書センターの数値には、新宿図書サービスコーナー分を含む。
- *支援(学校図書館支援コーナー及び学校図書団体貸出エリア)は、新宿図書センターの休館に伴い解体。
- *男女平等推進センターは連携施設。
- *リリオはリリオ亀有図書サービスカウンターの略称。

(9) 団体貸出の利用状況

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿SC	男女センター	合計
登録団体数	304	204	220	191	191	241	197	33	47	17	10	5	3	0	1,663
貸出冊数	6,611	5,470	4,479	3,536	5,876	7,322	4,266	2,547	942	1,433	2,559	1,700	0	21	46,762

- *支援(学校図書館支援コーナー及び学校図書団体貸出エリア)の登録団体数は新宿SCに含める。
- *新宿SCは、新宿図書サービスコーナーの略称。
- *新宿図書センターは、平成29年10月1日より休館。
- *新宿図書センターの休館に伴い、代替施設として新宿図書サービスコーナーを平成29年10月17日より設置。
- *リリオはリリオ亀有図書サービスカウンターの略称。

団体貸出冊数	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿SC	男女	支援	合計
元年度	6,611	5,470	4,479	3,536	5,876	7,322	4,266	2,547	942	1,433	2,559	1,700	0	21	0	46,762
30年度	6,898	5,036	3,950	3,343	4,985	7,469	4,355	4,054	900	1,630	2,768	1,981	0	16	0	47,385
29年度	6,065	5,389	4,203	4,592	5,040	6,899	4,679	4,010	637	1,446	2,781	1,621	639	-	2,601	50,602
28年度	5,858	4,493	4,644	4,625	4,837	5,823	4,537	3,756	541	2,072	3,069	1,276	1,861	-	78,110	125,502
27年度	6,255	5,070	5,100	4,721	4,733	6,134	4,838	3,059	502	1,749	2,969	0	2,236	-	81,767	129,133

*リリオ亀有図書サービスカウンターでは団体貸出を行っていない。

(10)分野別図書・雑誌貸出冊数表

一般書

記号	分類	冊数	割合
B	文庫	352,719	16.8%
9	文学	267,415	12.7%
5	技術	209,723	10.0%
3	社会科学	192,626	9.2%
2	歴史	179,295	8.5%
-	雑誌	140,715	6.7%
Y	ヤングアダルト	124,058	5.9%
M	漫画	123,411	5.9%
7	芸術	118,368	5.6%
4	自然科学	112,499	5.4%
1	哲学	77,468	3.7%
6	産業	52,246	2.5%
8	言語	38,665	1.8%
0	総記	44,367	2.1%
L	大活字本	16,433	0.8%
K	郷土・行政資料	13,293	0.6%
G	外国語図書	10,104	0.5%
R	参考図書	2,117	0.1%
KC	かつしかコレクション	984	0.0%
X	点字本	619	0.0%
-	特集本等	23,118	1.1%
合計		2,100,243	100.0%

児童書

記号	分類	冊数	割合
E	絵本	501,061	57.4%
9	文学	152,776	17.5%
4	自然科学	40,807	4.7%
7	芸術	30,570	3.5%
B	文庫	28,142	3.2%
5	技術	28,547	3.3%
3	社会科学	17,572	2.0%
P	紙芝居	19,214	2.2%
2	歴史	13,399	1.5%
M	漫画	8,115	0.9%
1	哲学	5,571	0.6%
8	言語	12,521	1.4%
R	参考図書	3,291	0.4%
6	産業	1,895	0.2%
0	総記	2,146	0.2%
-	雑誌	22,521	0.2%
-	特集本等	7,970	0.9%
合計		896,118	100.0%

*小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%にはならない。

(11)AV(視聴覚)資料利用状況

AV資料貸出数

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿SC	リリオ	男女センター	合計
C D	50,539	21,551	7,668	8,737	8,759	7,861	11,020	2,086	1,875	4,991	3,358	6,232	896	1,779	259	137,611
カセット	79	15	25	154	213	460	16	23	7	8	17	7	0	3	0	1,027
ビデオ	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
DVD	17,909	1,234	475	403	431	281	702	94	90	167	169	242	42	245	44	22,528
その他	75	1	0	0	15	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	102
合計	68,603	22,801	8,170	9,294	9,418	8,602	11,749	2,203	1,972	5,166	3,544	6,481	938	2,027	303	161,271

*支援(学校図書館支援コーナー及び学校図書団体貸出エリア)の登録団体数は新宿SCに含める。

*新宿SCは、新宿図書サービスコーナーの略称。*新宿図書センターは、平成29年10月1日より休館。

*新宿図書センターの休館に伴い、代替施設として新宿図書サービスコーナーを平成29年10月17日より設置。

*リリオは関連施設。*リリオはリリオ亀有図書サービスカウンターの略称。

AV総貸出数	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿SC	リリオ	男女セ	合計
元年度	68,603	22,801	8,170	9,294	9,418	8,602	11,749	2,203	1,972	5,166	3,544	6,481	938	2,027	303	161,271
30年度	80,100	24,711	9,905	10,195	9,266	9,450	10,316	2,839	2,666	5,719	3,956	8,427	750	1,903	267	180,470
29年度	81,654	25,508	10,682	11,327	11,951	8,897	14,111	2,979	2,900	5,081	4,128	8,553	2,442	—	303	190,516
28年度	87,488	28,237	12,373	13,049	13,182	10,578	14,451	3,168	2,793	7,031	4,714	12,101	4,735	—	194	214,094
27年度	92,678	31,268	14,982	13,917	15,024	10,062	15,257	3,639	2,854	7,172	5,223	482	4,417	—	255	217,230

(12)外国語図書 館別言語別図書蔵書数

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿SC	合計
中国語	657	25	165	232	248	212	135	0	1	0	0	0	0	1,675
アジア言語	83	5	7	11	13	5	8	0	0	0	0	0	0	132
ハングル語	683	38	88	179	227	134	143	0	0	0	0	0	0	1,492
英語	4,478	383	372	639	1,158	456	559	30	60	8	16	57	0	8,216
ドイツ語	128	4	16	9	27	5	13	0	0	0	0	0	0	202
フランス語	152	5	5	4	21	5	9	0	0	0	0	0	0	201
スペイン語	54	11	2	3	17	2	2	0	0	0	0	0	0	91
イタリア語	24	0	3	0	5	0	6	0	0	0	0	0	0	38
ロシア語	24	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	29
その他言語	113	17	12	19	18	11	14	0	1	0	0	0	0	205
合計	6,396	489	671	1,097	1,735	831	889	30	62	8	16	57	0	12,281

*支援(学校図書館支援コーナー及び学校図書団体貸出エリア)は、新宿図書センターの休館に伴い解体。

(13)レファレンス受付数

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿SC	合計
一般	1,313	794	219	246	390	711	485	535	113	871	563	703	55	6,998
児童	625	2,570	229	511	611	694	322	543	53	541	142	273	1	7,115
合計	1,938	3,364	448	757	1,001	1,405	807	1,078	166	1,412	705	976	56	14,113

(14)予約・リクエスト・相互貸借統計

館名	内訳	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿SC	リリオ	男女センター	合計	
		中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿SC	リリオ	男女センター		
一般図書・雑誌	予約受付	239,600	113,889	45,031	57,460	47,872	42,169	62,271	13,556	9,221	40,838	18,221	33,562	10,649	31,019	3,102	768,460	
	内数	提供不能	105	7	27	40	10	34	0	1	3	36	6	13	3			285
		選定落ち	9	4	2	24	2	0	0	1	0	0	0	0	0			42
児童図書・雑誌	予約受付	27,502	13,650	6,377	7,768	7,488	9,571	15,019	2,858	1,275	9,333	3,417	6,218	2,418	5,200	637	118,731	
	内数	提供不能	0	0	7	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0			9
		選定落ち	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			1
AV資料	予約受付	15,956	8,296	3,458	4,552	3,879	2,730	6,110	887	678	2,035	1,354	2,719	996	2,110	210	55,970	
	内数	提供不能	16	0	6	8	5	3	0	0	2	1	1	2	0			44
		選定落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
相互貸借件数	貸出	2,523	695	488	419	440	687	517	220	111	139	145	84	0			6,468	
	借受	2,390	1,829	740	844	748	551	635	262	191	875	226	457	134			9,882	
合計		287,971	138,359	56,094	71,043	60,427	55,708	84,552	17,783	11,476	53,220	23,363	43,040	14,197	38,329	3,949	959,511	

*男女平等推進センターは連携施設。

*新宿SCは、新宿図書サービスコーナーの略称。

*新宿図書センターは、平成29年10月1日から休館。休館に伴い、代替施設として新宿図書サービスコーナーを平成29年10月17日から設置。

*リリオは関連施設。*リリオはリリオ亀有図書サービスカウンターの略称。

「予約受付」とは→インターネット・館内端末からの利用者による予約を含む。なお、インターネット予約については受取館ごとに数値を集計した。

「提供不能」とは→区内・区外ともに資料がなく、絶版等で購入もできなかったもの。

「選定落ち」とは→区内・区外ともに資料がなく購入選定を行ったが、区立図書館の蔵書として購入しないと判断したもの。

予約・リクエスト総数	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿SC	合計	前年比
元年度	283,058	135,835	54,866	69,780	59,239	54,470	83,400	17,301	11,174	52,206	22,992	42,499	14,063	900,883	102.5
30年度	278,950	131,337	66,161	67,022	53,650	51,408	74,992	16,168	12,171	51,779	23,650	37,121	14,526	878,935	97.7
29年度	271,097	132,955	67,138	70,727	71,534	48,625	83,402	16,595	13,529	44,738	21,368	35,251	22,473	899,432	95.6
28年度	275,538	135,692	72,658	73,721	73,385	51,048	84,278	17,385	14,415	53,000	21,892	34,295	33,600	940,907	103.2
27年度	268,809	132,327	89,442	73,465	74,767	50,998	84,312	17,188	13,787	51,561	21,164	468	33,538	911,826	

*相互貸借の件数を除く。

予約方法別受付件数

予約方法	合計	割合
図書館カウンター	75,745	7.98%
インターネット	782,725	82.44%
館内端末	90,934	9.58%
合計	949,404	100%

*男女平等推進センター分を含む。また、団体及び協力を含む。

図書館カウンター → 予約・リクエストカードを図書館カウンターに提出し、図書館職員が予約入力する。

インターネット → インターネットによる予約。(平成16年1月28日から受付開始。)

館内端末 → 館内利用者端末から、利用者が直接予約入力。(平成16年1月17日から受付開始。)

(15)蔵書点検

蔵書資料点検の実施時期及び3年にわたって不明だった資料数

館名	蔵書点検実施時期	一般書	児童書	雑誌	図書・雑誌の計	CD	カセット	ビデオ	DVD	合計
中央図書館	6月24日～6月27日	70	6	3	79	1	0	0	1	81
立石図書館	6月10日～6月13日	15	2	2	19	13	0	0	0	32
お花茶屋図書館	12月24日～12月26日	7	3	3	13	0	0	0	0	13
上小松図書館	11月12日～11月14日	12	3	3	18	7	0	0	0	25
亀有図書館	7月2日～7月5日	11	6	2	19	9	0	0	0	28
水元図書館	7月9日～7月12日	0	0	0	0	1	0	0	0	1
鎌倉図書館	11月19日～11月22日	11	5	3	19	25	0	0	0	44
四つ木地区図書館	5月28日～5月29日	2	4	0	6	20	0	0	0	26
西水元地区図書館	11月27日～11月30日	0	0	0	0	3	0	0	0	3
青戸地区図書館	9月3日～9月4日	1	1	1	3	0	0	0	0	3
奥戸地区図書館	10月29日～10月30日	9	0	0	9	14	0	0	0	23
こすげ地区図書館	10月8日～10月9日	3	1	0	4	58	0	0	0	62
合計		141	31	17	189	151	0	0	1	341

※平成30年度の保存庫の蔵書点検は実施していない。

※新宿図書サービスコーナーについては所蔵がないため蔵書点検は実施していない。

図書資料の除籍冊数推移

(令和2年4月1日現在)

館名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
中央図書館	5,824	23,120	11,602	6,783	6,657
立石図書館	1,606	2,237	3,785	4,062	4,384
お花茶屋図書館	4,406	5,270	5,721	4,711	5,502
上小松図書館	3,771	5,356	5,473	4,976	5,097
亀有図書館	4,527	4,425	6,325	5,187	3,861
水元図書館	4,287	9,842	9,462	3,914	4,187
鎌倉図書館	3,794	5,097	4,784	4,876	5,613
四つ木地区図書館	1,455	1,599	1,864	1,988	2,352
西水元地区図書館	1,638	1,678	2,947	1,983	1,549
青戸地区図書館	1,547	1,801	2,302	1,605	1,892
奥戸地区図書館	312	367	1,050	1,231	902
こすげ地区図書館	2	159	435	685	689
新宿図書センター (新宿SC)	1,211	2,911	27,555	46	381
学校図書館支援コーナー	309	12,042	26,975	0	0
合計	34,689	75,904	110,280	42,047	43,066

*新宿SCは、新宿図書サービスコーナーの略称。

*新宿図書センターは、平成29年10月1日から休館。

*新宿図書センターの休館に伴い、代替施設として新宿図書サービスコーナーを平成29年10月17日から設置。

*学校図書館支援コーナーは、新宿図書センターの休館に伴い解体。

*平成29年度の新宿図書センターの数値には、新宿図書サービスコーナー分を含む。

(16) 図書・雑誌・AV受入数・図書除籍数

		中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿 SC	合計	
図書 受入数	一般	購入	7,401	2,907	2,470	2,631	2,671	2,674	2,577	1,400	1,363	1,370	1,395	1,904	0	30,763
		寄贈	1,781	917	435	439	747	538	289	171	146	273	138	168	1	6,043
		合計	9,182	3,824	2,905	3,070	3,418	3,212	2,866	1,571	1,509	1,643	1,533	2,072	1	36,806
	児童	購入	3,765	1,308	1,138	1,160	1,045	1,168	1,202	554	528	505	459	567	0	13,399
		寄贈	297	88	79	148	120	90	71	20	1	6	2	9	0	931
		合計	4,062	1,396	1,217	1,308	1,165	1,258	1,273	574	529	511	461	576	0	14,330
	合計	購入	11,166	4,215	3,608	3,791	3,716	3,842	3,779	1,954	1,891	1,875	1,854	2,471	0	44,162
		寄贈	2,078	1,005	514	587	867	628	360	191	147	279	140	177	1	6,974
		合計	13,244	5,220	4,122	4,378	4,583	4,470	4,139	2,145	2,038	2,154	1,994	2,648	1	51,136
	雑誌 受入数	購入	4,265	2,265	2,202	1,991	1,980	2,043	2,028	894	984	921	1,006	932	0	21,511
寄贈		650	108	115	36	111	95	28	1	0	0	0	0	0	1,144	
合計		4,915	2,373	2,317	2,027	2,091	2,138	2,056	895	984	921	1,006	932	0	22,655	
AV 受入数	CD	216	110	107	99	114	91	95	51	52	47	46	56	0	1,084	
	カセット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ビデオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	DVD	154	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	172	
	合計	370	128	107	99	114	91	95	51	52	47	46	56	0	1,256	
合計	18,529	7,721	6,546	6,504	6,788	6,699	6,290	3,091	3,074	3,122	3,046	3,636	1	75,047		

*新宿SCは、新宿図書サービスコーナーの略称。

*CDには朗読CDを含まない。

図書除籍数

		中央 (保存庫 を含む)	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	こすげ	新宿 SC	支援	合計
一般	廃棄	5,007	3,114	3,373	3,821	2,532	2,537	3,814	1,798	1,041	1,424	752	459	375	0	30,047
	亡失	128	52	31	21	26	45	21	15	4	3	13	14	0	0	373
	合計	5,135	3,166	3,404	3,842	2,558	2,582	3,835	1,813	1,045	1,427	765	473	375	0	30,420
児童	廃棄	1,499	1,210	2,087	1,251	1,296	1,590	1,773	532	503	463	133	214	6	4	12,561
	亡失	19	8	11	4	7	15	5	7	1	2	4	2	0	0	85
	合計	1,518	1,218	2,098	1,255	1,303	1,605	1,778	539	504	465	137	216	6	4	12,646
合計	廃棄	6,506	4,324	5,460	5,072	3,828	4,127	5,587	2,330	1,544	1,887	885	673	381	4	42,608
	亡失	147	60	42	25	33	60	26	22	5	5	17	16	0	0	458
	合計	6,653	4,384	5,502	5,097	3,861	4,187	5,613	2,352	1,549	1,892	902	689	381	4	43,066

*新宿SCは、新宿図書サービスコーナーの略称。

*新宿図書センターは、平成29年10月1日から休館。

*新宿図書センターの休館に伴い、代替施設として新宿図書サービスコーナーを平成29年10月17日から設置。

*支援(学校図書館支援コーナー及び学校図書団体貸出エリア)は、新宿図書センターの休館に伴い解体。

(17) ハンディキャップサービスの利用状況

ハンディキャップ利用者新規登録者

登録者数(人)	区分			
	視覚 障害	肢体 不自由	その他 の障害	高齢者
84	3	27	20	34

ハンディキャップサービス利用者数

登録者数(人)	区分			
	視覚 障害	肢体 不自由	その他 の障害	高齢者
1,052	93	280	354	325

対面朗読サービス利用者数

ボランティアによる対面朗読室等での朗読		
延利用者数(人)	延時間(H)	1回あたりの平均時間(H)
115	224	1.9

蔵書資料数

種別	タイトル	蔵書数
点字図書(冊)	1,619	2,319
大活字本(冊)	4,557	8,975
文芸カセット(巻)	304	357
文芸CD(枚)	832	1,476
カセット録音図書(巻)	81	81
デジター図書(枚)	471	919
デジター図書再生機(台)	-	5
マルチメディアデジター図書(枚)	139	302
点字つき絵本(冊)	273	432
布絵本(冊)	84	189
LLブック	21	44

宅配サービス利用者数及び冊数

種別	冊数	
	延利用者数	冊数
墨字本	57人	2,667
CD(枚)	57人	228
DVD(枚)	57人	62
デジター図書(枚)	550人	0
カセット録音図書(巻)	550人	0
布絵本	57人	18
マルチメディアデジター図書(枚)	550人	0

他自治体資料貸し出し状況

種別	貸出	借受
点字図書(冊)	15	0
デジター図書(枚)	28	25

郵送(第四種郵便物)利用者数及び冊数

種別	冊数	
	延利用者数	冊数
点字図書	93人	37
デジター図書(枚)	93人	247
マルチメディアデジター図書(枚)	286人	0
CD(枚)	286人	2
カセット録音図書(巻)	286人	0
墨字本	286人	0

(18) 中央図書館個人閲覧席・利用者用インターネット利用者数

(利用者数:人)

	個人 閲覧席 (42席)	ビジネス PC (9台)	児童PC (1台)	検索PC (4台)
4月	5,158	816	136	2,195
5月	5,756	886	128	2,349
6月	5,032	744	168	1,987
7月	5,907	824	324	2,565
8月	6,069	994	496	3,093
9月	5,580	922	169	2,490
10月	5,366	821	197	2,241
11月	5,432	843	135	2,229
12月	5,415	798	153	2,344
1月	5,678	854	298	2,326
2月	5,292	765	153	2,141
3月	2	2	0	3
合計	60,687	9,269	2,357	25,963

(19) メール通知サービス登録件数

(単位:件)

		登録件数前年差	累計登録件数
メールマガジン 送付サービス	PC向け	△ 65	2,643
	携帯向け	30	1,154
新着図書 お知らせサービス	検索条件指定 の件数	409	6,794
	ジャンル指定	178	3,736
貸出情報お知らせサービス		1,293	20,016
返却期限お知らせサービス		1,849	27,503
合計		3,694	61,846

(20) 利用カードパスワード登録者数

(登録者数:人)

	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	その他	団体	合計
新規登録者数	1,398	2,109	409	450	10,686	1,463	0	51	16,566
累計登録者数	4,096	14,803	9,132	9,558	134,728	23,891	18	851	197,077

(21) E-mailアドレス登録者数

(登録者数:人)

	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	その他	団体	合計
新規登録者数	213	359	96	97	3,341	248	0	1	4,355
累計登録者数	506	1,849	1,119	1,321	49,092	4,706	3	23	58,619

(22) 年末年始(12月31日～1月3日)開館実績

		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	合計
中央図書館	来館者数	8,864	8,843	8,150	9,438	9,138	44,433
	貸出数	6,014	5,898	5,826	6,188	5,623	29,549
立石図書館	来館者数	3,453	3,405	3,283	3,518	3,440	17,099
	貸出数	2,845	2,662	2,506	2,571	2,691	13,275

(来館者数:人)(貸出数:個人貸出の図書・雑誌・AV資料の計)

(23) 貸出ベスト 一般図書

対象期間 平成31年4月 ~ 令和2年3月

順位	タイトル	著者	出版社	貸出回数
1	蜜蜂と遠雷	恩田陸	幻冬舎	458
2	コンビニ人間	村田沙耶香	文藝春秋	408
3	かがみの孤城	辻村深月	ポプラ社	393
4	そして、バトンは渡された	瀬尾まいこ	文藝春秋	343
5	九十歳。何がめでたい	佐藤愛子	小学館	327
6	人魚の眠る家	東野圭吾	幻冬舎	313
7	危険なビーナス	東野圭吾	講談社	309
8	すぐ死ぬんだから	内館牧子	講談社	299
9	嫌われる勇気(自己啓発の源流「アドラー」の教え)	岸見一郎 古賀史健	ダイヤモンド社	297
10	素敵な日本人ー東野圭吾短編集ー	東野圭吾	光文社	294
11	屍人荘の殺人	今村昌弘	東京創元社	288
12	大家さんと僕	矢部太郎	新潮社	285
13	希望荘(〔杉村三郎シリーズ])	宮部みゆき	小学館	272
14	コーヒーが冷めないうちに(〔コーヒーが冷めないうちに〕シリーズ〔1])	川口俊和	サンマーク出版	268
15	火花	又吉直樹	文藝春秋	263
16	沈黙のパレード(〔ガリレオ〕〔9])	東野圭吾	文藝春秋	260
17	漫画君たちはどう生きるか	吉野源三郎原作 羽賀翔一漫画	マガジンハウス	259
18	アキラとあきら(徳間文庫 い49-2)	池井戸潤	徳間書店	257
19	恋のゴンドラ	東野圭吾	実業之日本社	256
20	魔力の胎動	東野圭吾	KADOKAWA	250

(23)貸出ベスト 児童図書

対象期間 平成31年4月 ~ 令和2年3月

順位	タイトル	著者	出版社	貸出回数
1	ぐりとぐら(ぐりとぐらの絵本)	中川李枝子さく 大村百合子え	福音館書店	762
2	からすのパンやさん (かこさとしおはなしのほん 7)	加古里子 絵と文	偕成社	738
3	もこもこもこ (ぽっぽらライブラリ みるみる絵本)	谷川俊太郎 作 元永定正 絵	文研出版	618
4	はらぺこあおむし 改訂	エリック=カール さく もりひさし やく	偕成社	615
5	11ぴきのねこ	馬場のぼる 著	こぐま社	612
6	しろくまちゃんのほっとけーき (こぐまちゃんえほん 3)	わかやまけん え 森比左志 著 わだよしおみ 著	こぐま社	603
7	100円たんけん	中川ひろたかぶん 岡本よしろうえ	くもん出版	601
8	こんとあき (日本傑作絵本シリーズ)	林明子 さく	福音館書店	585
9	わたしのワンピース	にしまきかやこ え とぶん	こぐま社	583
10	おかわりへの道(とっておきのどうわ)	山本悦子作 下平 けーすけ絵	PHP研究所	572
11	めっきらもっきらどおんどん(こどものとも絵本)	長谷川摂子作 ふりやなな画	福音館書店	555
12	ぐりとぐらのえんそく(ぐりとぐらの絵本)	中川李枝子さく 山脇百合子え	福音館書店	554
13	そらまめくんのベッド(こどものとも絵本)	なかやみわさく・え	福音館書店	549
14	ぼくんちカレーライス	つちだのぶこ[作]	佼成出版社	543
15	はじめてのおつかい(こどものとも絵本)	筒井頼子さく 林明子え	福音館書店	533
16	がたんごとんがたんごとん (福音館 あかちゃんの絵本)	安西水丸 さく	福音館書店	532
16	ぞうくんのさんぼ (こどものとも絵本)	なかのひろたか さく・え なかのまさたか レタリング	福音館書店	532
18	くだもの(福音館の幼児絵本)	平山和子さく	福音館書店	524
19	とりかえっこ	さとうわきこ作 二俣英五郎絵	ポプラ社	521
20	おつきさまこんばんは (くつつくあるけのほん 4)	林明子 さく	福音館書店	519

(23) 貸出ベスト CD

対象期間 平成31年4月 ~ 令和2年3月

順位	タイトル	アーティスト名	出版社	貸出回数
1	Finally	安室奈美恵	エイベックス・エンタテインメント	133
2	BOOTLEG	米津玄師	ソニー・ミュージックマーケティング	113
3	ユーミンからの、恋のうた。	松任谷由実	ユニバーサル ミュージック	106
4	海のOh, Yeah!!	サザンオールスターズ	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント	103
4	TRAD	竹内まりや	ワーナーミュージック・ジャパン	103
6	ARASHI 5×10 All the BEST! 1999-2009	嵐	ジェイ・ストーム	95
7	「アナと雪の女王」オリジナル・サウンドトラック-デラックス・エディション-		エイベックス・エンタテインメント	89
8	青春のエキサイトメント	あいみょん	ワーナーミュージック・ジャパン	88
8	あの日 あの時	小田和正	ソニー・ミュージックレーベルズ アリオラジャパン	88
10	アンコール	back number	ユニバーサル ミュージック	87
11	「ボヘミアン・ラプソディ」(オリジナル・サウンドトラック)	クイーン	ユニバーサル ミュージック	84
11	初恋	宇多田ヒカル	ソニー・ミュージックマーケティング	84
13	ゆずイロハ 1997-2017	ゆず	セーニャ・アンド・カンパニー	81
14	YELLOW DANCER	星野源	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント	79
15	魚図鑑	サカナクション	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント	77
16	大銀幕:ベストアルバム/中島みゆき	中島みゆき 作曲・詞	ポニーキャニオン	76
17	Fantome	宇多田ヒカル	ユニバーサル ミュージック	75
17	重力と呼吸	Mr. Children	トイズファクトリー	75
19	松之丞講談-シブラク名演集-	神田松之丞	ソニー・ミュージックマーケティング	70
19	「グレイテスト・ショーマン」オリジナル・サウンドトラック	ジャスティン・ポール ベンジ・パセック	ソニー・ミュージックマーケティング	70

(23) 貸出ベスト DVD

対象期間 平成31年4月 ～ 令和2年3月

順位	タイトル	アーティスト名	出版社	貸出回数
1	男はつらいよー寅次郎と殿様ー(シリーズ第19作)	山田洋次	松竹	67
2	男はつらいよー寅次郎の青春ー(シリーズ第45作)	山田洋次	松竹	66
3	男はつらいよー寅次郎サラダ記念日ー(シリーズ第40作)	山田洋次	松竹株式会社ビデオ事業室	59
4	男はつらいよ 第42作／ぼくの伯父さん	山田洋次	松竹	52
5	男はつらいよー寅次郎夕焼け小焼けー(シリーズ第17作)	山田洋次	松竹株式会社ビデオ事業室	49
5	男はつらいよー私の寅さんー(シリーズ第12作)	山田洋次	松竹株式会社ビデオ事業室	49
5	男はつらいよー寅次郎の休日ー(シリーズ第43作)	山田洋次	松竹株式会社映像商品部	49
5	男はつらいよー寅次郎春の夢ー(シリーズ第24作)	山田洋次	松竹株式会社ビデオ事業室	49
9	ダ・ヴィンチ コード	ロン・ハワード	ソニー・ピクチャーズエンタテインメント	45
9	日の名残り	ジェームズ・アイボリー	ソニー・ピクチャーズエンタテインメント	45
9	男はつらいよー寅次郎頑張れ！ー第20作	山田洋次	松竹	45
9	男はつらいよー柴又慕情ー(シリーズ第9作)	山田洋次	松竹株式会社ビデオ事業室	45
13	男はつらいよ 第39作／寅次郎物語	山田洋次	松竹	44
14	英国王のスピーチ	トム・フーパー	ギャガGAGA	43
14	ボンベイ	マニ・ラトナム	ライン CM	43
14	男はつらいよー噂の寅次郎ー第22作(シリーズ第22作)	山田洋次	松竹	43
17	男はつらいよー寅次郎相合い傘ー(シリーズ第15作)	山田洋次	松竹株式会社ビデオ事業室	42
17	男はつらいよ 第23作／翔んでる寅次郎(シリーズ第23作)	山田洋次	松竹株式会社映像商品部	42
17	男はつらいよー口笛を吹く寅次郎ー第32作	山田洋次	松竹	42
20	砂の器 デジタルリマスター2005	野村芳太郎	松竹	41
20	東京五輪音頭ー2020ー	宮田隆作詞 古賀政男作曲 村田陽一編曲	東京2020組織委員会	41

10 葛飾区立図書館関係例規集

○葛飾区立図書館設置条例

昭和42年3月20日
条例第10号

(設置)

第1条 葛飾区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、葛飾区立図書館(以下「館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
葛飾区立中央図書館	東京都葛飾区金町六丁目2番1号
葛飾区立立石図書館	東京都葛飾区立石一丁目9番1号
葛飾区立お花茶屋図書館	東京都葛飾区お花茶屋二丁目1番15号
葛飾区立上小松図書館	東京都葛飾区東新小岩三丁目12番1号
葛飾区立亀有図書館	東京都葛飾区亀有一丁目17番5号
葛飾区立水元図書館	東京都葛飾区東水元一丁目7番3号
葛飾区立鎌倉図書館	東京都葛飾区鎌倉二丁目4番5号

2 前項の館に次のとおり分館を置く。

名称等	位置
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立四つ木地区図書館	東京都葛飾区四つ木四丁目8番1号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立西水元地区図書館	東京都葛飾区西水元二丁目2番8号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立青戸地区図書館	東京都葛飾区青戸五丁目20番6号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立奥戸地区図書館	東京都葛飾区奥戸三丁目5番1号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立こすげ地区図書館	東京都葛飾区小菅三丁目8番22号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立新宿図書センター	東京都葛飾区新宿三丁目7番1号

(昭42条例39・昭48条例9・昭52条例2・昭52条例27・昭56条例52・昭57条例18・昭62条例15・平8条例45・平10条例67・平15条例70・平21条例1・平22条例47・平27条例65・一部改正)

(委任)

第3条 この条例の施行について必要な事項は、葛飾区教育委員会が定める。

付 則

- この条例は、昭和42年4月1日から施行する。
- 東京都葛飾区立図書館設置及び管理条例(昭和23年12月葛飾区条例第13号)は、廃止する。
- 葛飾区立中央図書館分館葛飾区立新宿図書センターは、平成29年10月1日から葛飾区教育委員会規則で定める日までの間、休館とする。(平29条例15・追加)

付 則(中間省略)

付 則(平成10年12月14日条例第67号)

この条例は、葛飾区教育委員会規則で定める日から施行する。

(平成11年教委規則第8号で平成11年6月1日から施行)

付 則(平成15年12月12日条例第70号)

この条例は、葛飾区教育委員会規則で定める日から施行する。

(平成16年教委規則第6号で平成16年5月12日から施行)

付 則(平成21年2月27日条例第1号)

この条例は、平成21年10月17日から施行する。ただし、付則に1項を加える改正規定は、公布の日から施行する。

付 則(平成22年12月15日条例第47号)

この条例は、平成23年4月2日から施行する。

付 則(平成27年12月14日条例第65号)

この条例は、平成28年3月26日から施行する。

付 則(平成29年3月27日条例第15号)

この条例は、公布の日から施行する。

○葛飾区立図書館館則

昭和 52 年 4 月 30 日
教委規則第 6 号

東京都葛飾区立図書館館則(昭和 42 年 4 月東京都葛飾区教育委員会規則第 4 号)の全部を改正する。

(目的)

第 1 条 この規則は、葛飾区立図書館設置条例(昭和 42 年葛飾区条例第 10 号。以下「条例」という。)に規定する図書館(以下「館」という。)の運営等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(平 3 教委規則 6・平 8 教委規則 22・一部改正)

(館の区分)

第 2 条 葛飾区教育委員会(以下「委員会」という。)は、館を次のとおり区分する。

区分	図書館名
中央館	葛飾区立中央図書館
地域館	葛飾区立立石図書館
地域館	葛飾区立お花茶屋図書館
地域館	葛飾区立上小松図書館
地域館	葛飾区立亀有図書館
地域館	葛飾区立水元図書館
地域館	葛飾区立鎌倉図書館

2 条例第 2 条第 2 項に規定する分館は、地区館及び図書センターとし、次に掲げるとおりとする。

区分	図書館名
地区館	葛飾区立四つ木地区図書館 (葛飾区立中央図書館分館)
地区館	葛飾区立西水元地区図書館 (葛飾区立中央図書館分館)
地区館	葛飾区立青戸地区図書館 (葛飾区立中央図書館分館)
地区館	葛飾区立奥戸地区図書館 (葛飾区立中央図書館分館)
地区館	葛飾区立こすげ地区図書館 (葛飾区立中央図書館分館)
図書センター	葛飾区立新宿図書センター (葛飾区立中央図書館分館)

(昭 52 教委規則 9・昭 56 教委規則 11・昭 57 教委規則 11・昭 62 教委規則 7・平 8 教委規則 22・平 11 教委規則 9・平 16 教委規則 7・平 21 教委規則 17・平 23 教委規則 2・平成 28 教委規則 2・一部改正)
(事業)

第 3 条 館は、図書館法(昭和 25 年法律第 118 号)第 3 条の規定に基づき、次の事業を行う。

- (1) 図書資料(図書、記録、官報、公報、地図、絵画、写真集、新聞、雑誌、パンフレット等をいう。以下同じ。)の館内利用、館外貸出し及び団体貸出し
- (2) 読書案内及び読書相談
- (3) 読書会、研究会、講演会、講習会、映写会、鑑賞会等の主催及びこれらの開催の奨励
- (4) 視聴覚資料(CD、DVD、録音テープ、紙芝居等をいう。以下同じ。)の館内利用及び館外貸出し
- (5) 視覚障害者に対する資料の朗読及び資料の録音
- (6) 郷土資料(郷土に関する文献等をいう。以下同じ。)及び行政資料の館内利用及び館外貸出し
- (7) 他の図書館、学校その他の教育機関との連絡
- (8) その他館の目的達成のため必要な事業

2 前項の規定にかかわらず、地区館及び図書センターは次の事業を行う。

- (1) 図書資料、視聴覚資料の館内利用及び館外貸出し
- (2) その他館の目的達成のため必要な事業
(昭 61 教委規則 2・昭 63 教委規則 3・平元教委規則 9・平 2 教委規則 3・平 3 教委規則 6・平 8 教委規則 22・平 21 教委規則 17・一部改正)
(開館時間)
- 第 4 条 開館時間は別表第 1 のとおりとする。ただし、中央館の館長(以下「中央館長」という。)は、事情によりこれを変更することができる。
(平 18 教委規則 5・全改)
(休館日)
- 第 5 条 館の休館日は、別表第 2 のとおりとする。ただし、中央館長が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。
(平 18 教委規則 5・全改)
(読書室等の利用)
- 第 6 条 館の読書室等の種別及びその利用区分は、次のとおりとする。ただし、中央館長及び地域館の館長(以下「館長」という。)は、事情によりこれを変更し又は制限することができる。
- (1) 一般室 主として社会人、学生及び生徒
- (2) 児童室 概ね 12 才未満の者及びその付添人
- (3) 対面朗読室 対面朗読で利用する者
- (4) 録音室 録音を行う者
(昭 61 教委規則 2・平 23 教委規則 2・一部改正)
(館内秩序)
- 第 7 条 館長は、館内の秩序を乱し、又は他の利用者の迷惑になる行為をする者に対し、館の利用を制限し、又は退館させることができる。
(平 6 教委規則 7・全改)
(個人貸出し)
- 第 8 条 資料(図書資料、視聴覚資料、郷土資料及び行政資料をいう。以下同じ。)の個人貸出しを受けようとする者は、個人利用カードによらなければならない。
- 2 前項の個人利用カードは、葛飾区に居住し、勤務し、又は通学する者で、その事実を証明する証書類を提出した者、その他館長が特に必要があると認める者に交付する。
- 3 個人利用カードの有効期間は、3 年とする。
- 4 貸与され、若しくは譲渡され、又は紛失届の出された個人利用カードは、無効とする。
- 5 個人貸出しのできる資料の数は、中央館長が別に定める。
- 6 資料の個人貸出期間は、14 日以内とする。ただし、館長は、利用者から申出があった場合は、7 日以内の延長を認めることができる。
- 7 前項の規定にかかわらず、中央館長が特に必要があると認める場合は、別に個人貸出期間を定めることができる。
(昭 61 教委規則 2・昭 63 教委規則 3・一部改正、平 2 教委規則 3・第 9 条繰上・一部改正、平 6 教委規則 7・平 12 教委規則 4・平 17 教委規則 5・平 28 教委規則 2・一部改正)
(団体貸出し)
- 第 9 条 図書資料の団体貸出しを受けようとする者は、団体登録証によらなければならない。
- 2 前項の団体登録証は、葛飾区に在住する読書サークル、文庫、事務所その他団体(以下「団体等」という。)の代表者に交付する。
- 3 団体登録証の有効期間は、3 年とする。
- 4 館長は、図書資料の団体貸出しを受けた団体等の代表者に対し、その利用状況について報告を求めることができる。
- 5 団体貸出しは、1 口 10 冊とし 5 口以内とする。ただし、館長が特に必要があると認める場合は、この限りでない。
- 6 図書資料の団体貸出期間は、1 箇月とする。ただし、館長は、あらかじめ申出があった場合は、更に 1 箇月間の延長を認めることができる。
- 7 前項の規定にかかわらず、館長が特に必要があると認める場合は、別に団体貸出期間を定めることができる。

(昭 63 教委規則 3・平元教委規則 9・一部改正、平 2 教委規則 3・旧第 10 条繰上・一部改正、平 23 教委規則 2・平 28 教委規則 2・一部改正)

(館外貸出し等を禁ずる資料)

第 10 条 館長が指定した資料は、館外貸出しを禁ずる。ただし、館長が適当と認めた場合は、10 日以内に限り貸出すことができる。

2 館長は、写真等による複写を許さない資料を指定することができる。

(平 2 教委規則 3・旧第 11 条繰上・一部改正)

(利用中の資料の返却)

第 11 条 館長は、必要と認めた場合は利用者に対し、利用中の資料を返却させることができる。

(平 2 教委規則 3・旧第 14 条繰上・一部改正、平 3 教委規則 6・旧第 12 条繰上、平 12 教委規則 4・一部改正)

(未返却者に対する処置)

第 12 条 館長は、利用者が資料の返却を怠り、督促しても返却しない場合には、以後その者に対し資料の利用を禁ずることができる。

(平 2 教委規則 3・旧第 15 条繰上、平 3 教委規則 6・旧第 13 条繰上、平 12 教委規則 4・平 28 教委規則 2・一部改正)

(損害の賠償)

第 13 条 館長は、利用者が資料を亡失し、又は著しく汚損し、若しくは棄損した場合には、現品又は金額をもって賠償させることができる。

(平 2 教委規則 3・旧第 16 条繰上、平 3 教委規則 6・旧第 14 条繰上)

(委任)

第 14 条 この規則の施行について必要な事項は、中央館長が定める。

(平 2 教委規則 3・旧第 17 条繰上、平 3 教委規則 6・旧第 15 条繰上)

付 則

この規則は、昭和 52 年 6 月 1 日から施行する。

付 則(中間省略)

付 則(平成 12 年 1 月 26 日教委規則第 4 号)

この規則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 15 年 2 月 21 日教委規則第 2 号)

この規則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 16 年 2 月 20 日教委規則第 7 号)

この規則は、平成 16 年 5 月 12 日から施行する。

付 則(平成 17 年 3 月 31 日教委規則第 5 号)

この規則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 18 年 2 月 22 日教委規則第 5 号)

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 21 年 9 月 25 日教委規則第 17 号)

この規則は、平成 21 年 10 月 17 日から施行する。

付 則(平成 23 年 3 月 10 日教委規則第 2 号)

この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 2 条第 2 項の改正規定は平成 23 年 4 月 2 日から、別表第 1 及び別表第 2 の改正規定は同年 6 月 30 日から施行する。

付 則(平成 27 年 12 月 25 日教委規則第 26 号)

この規則は、公布の日から施行する。

付 則(平成 28 年 1 月 18 日教委規則第 2 号)

(施行期日)

1 この規則は、平成 28 年 3 月 26 日から施行する。ただし、第 12 条の改正規定は公布の日から、第 8 条第 3 項及び第 9 条第 3 項の改正規定(次項において「改正規定」という。)は平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

(有効期間に関する経過措置)

2 改正規定の施行日前に交付された個人利用カード及び団体登録証の有効期間については、なお従前の例による。

別表第1(第4条関係)

(平18教委規則5・追加、平21教委規則17・平23教委規則2・平成27教委規則26・平28教委規則2・一部改正)

図書館名	曜日等	開館時間
中央図書館 立石図書館	月曜日から土曜日まで(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。)に定める休日(以下「休日」という。)を除く。)	午前9時から午後10時まで
	日曜日及び休日	午前9時から午後8時まで
	(1)1月1日から同月3日まで及び12月31日 (2)12月29日及び同月30日	(1)午前9時から午後5時まで (2)午前9時から午後8時まで
お花茶屋図書館 上小松図書館 亀有図書館 水元図書館 鎌倉図書館	火曜日から土曜日まで(休日を除く。)	午前9時から午後8時まで
	日曜日及び休日	午前9時から午後5時まで
四つ木地区図書館 西水元地区図書館 青戸地区図書館 奥戸地区図書館 こすげ地区図書館 新宿図書センター	日曜日、火曜日から木曜日まで及び土曜日	午前10時から午後5時まで
	金曜日	午前10時から午後8時まで

備考 中央図書館及び立石図書館の1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日までの期間の開館時間は、曜日及び休日にかかわらず、当該期間に定める開館時間とする。

別表第2(第5条関係)

(平18教委規則5・追加、平21教委規則17・平23教委規則2・平成27教委規則26・平28教委規則2・一部改正)

図書館名	休館日
中央図書館 立石図書館	(1)館内整理日(毎月第4木曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その翌日とする。) (2)特別整理期間 1年のうち7日以内
お花茶屋図書館 上小松図書館 亀有図書館 水元図書館 鎌倉図書館	(1)月曜日。ただし、その日が休日(1月1日を除く。)に当たるときは、その直後の休日でない日とする。 (2)館内整理日(毎月第4木曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その翌日とする。) (3)1月1日から同月3日まで (4)12月29日から同月31日まで (5)特別整理期間 1年のうち7日以内
四つ木地区図書館 西水元地区図書館 青戸地区図書館 奥戸地区図書館 こすげ地区図書館 新宿図書センター	(1)月曜日 (2)休日(1月1日を除く。)。ただし、その日が月曜日に当たるときは、その直後の休日でない日を休館日とし、休日のうち祝日法第3条第2項で規定する休日が月曜日に当たるときは、その前日を開館日、その直後の休日でない日を休館日とする。 (3)館内整理日(毎月第4木曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その翌日とする。) (4)1月1日から同月3日まで (5)12月29日から同月31日まで (6)特別整理期間 1年のうち7日以内

○葛飾区立図書館処務規程

昭和 52 年 6 月 1 日
教委訓令甲第 5 号
事務局一般
各図書館

東京都葛飾区立図書館処務規程(昭和 42 年 3 月葛飾区教育委員会訓令甲第 2 号)の全部を次のように改正する。

(目的)

第 1 条 この規程は、葛飾区立図書館(葛飾区立図書館館則(昭和 52 年葛飾区教育委員会規則第 6 号)第 2 条の規定に基づく中央館及び地域館並びに地区館及び図書センターをいう。以下「館」という。)の組織等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(平 8 教委訓令 4・平 21 教委訓令 3・一部改正)

(係の設置)

第 2 条 中央館に次の係を置く。

管理係

事業推進係

(平元教委訓令 2・全改、平 11 教委訓令 4・平 12 教委訓令 1・平 16 教委訓令 10・平 18 教委訓令 6・平 23 教委訓令 1・一部改正)

(分掌事務)

第 3 条 中央館の各係の分掌事務は、次のとおりとする。

管理係

- (1) 公印に関する事。
- (2) 職員の給与及び服務に関する事。
- (3) 文書の受発、編集及び保存に関する事。
- (4) 予算及び会計事務に関する事。
- (5) 中央館の施設の維持管理に関する事。
- (6) 地域館、地区館及び図書センターに関する事。
- (7) 区立図書館基本計画に関する事。
- (8) 図書館施設整備計画調査に関する事。
- (9) 区立図書館の改修及び開設に関する事。
- (10) 館内庶務その他他の係に属しない事。

事業推進係

- (1) 情報システムによる図書館資料の管理及び利用に関する事。

- (2) 図書資料及び視聴覚資料の選定、発注、装備及び受入れに関する事。
- (3) 区立図書館事業に係る計画及び調整に関する事。
- (4) 統計に関する事。
- (5) 広報に関する事。
- (6) 研修に関する事。
- (7) 資料の調査相談に関する事。
- (8) 図書資料の収集、整理及び保存に関する事。
- (9) 図書資料の館内利用、館外貸出し及び団体貸出しに関する事。
- (10) 図書資料の相互貸借に関する事。
- (11) 視聴覚資料の収集、整理、保存及び利用に関する事。
- (12) 読書室等の利用に関する事。
- (13) 読書案内及び読書相談に関する事。
- (14) 郷土資料及び行政資料の収集、整理、保存及び利用に関する事。
- (15) 読書会、研究会、映写会等の開催及び奨励に関する事。
- (16) 対面朗読室及び録音室の利用に関する事。
- (17) 地区館及び図書センターの図書資料の貸出し及び運営に関する事。
- (18) 葛飾区男女平等推進センター(以下「男女平等推進センター」という。)の図書資料、視聴覚資料及び行政資料等の貸出しに関する事。

2 地域館の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 公印に関する事。
- (2) 職員の服務に関する事。
- (3) 文書の受発、編集及び保存に関する事。
- (4) 図書資料の収集、整理及び保存に関する事。
- (5) 図書資料の館内利用及び館外貸出しに関する事。
- (6) 図書資料の相互貸借に関する事。
- (7) 視聴覚資料の収集、整理、保存及び利用に関する事。
- (8) 読書室等の利用に関する事。
- (9) 読書案内及び読書相談に関する事。
- (10) 読書会、研究会、映写会等の開催及び奨励に関する事。
- (11) 施設の維持管理に関する事。
- (12) 男女平等推進センターの図書資料、視聴覚資料及び行政資料等の貸出しに関する事。

(平元教委訓令 2・全改、平 3 教委訓令 2・平 4 教委訓令 10・平 5 教委訓令 1・平 8 教委訓令 4・平 11 教委訓令 4・平 12 教委訓令 1・平 13 教委

訓令 7・平 16 教委訓令 10・平 18 教委訓令 6・平 21 教委訓令 3・平 23 教委訓令 1・平 24 教委訓令 2・一部改正)

(職員)

第 4 条 中央館に次の職員を置く。

- (1) 館長
- (2) 係長
- (3) 館員

2 地域館に次の職員を置く。

- (1) 館長
- (2) 館員

3 係に主査を置くことができる。

4 地域館に主査を置くことができる。

5 前 4 項に掲げる職員は、葛飾区教育委員会が命ずる。

(昭 56 教委訓令 甲 3・昭 61 教委訓令 2・平 10 教委訓令 7・平 11 教委訓令 4・平 12 教委訓令 1・一部改正)

第 4 条の 2 地区館及び図書センターに館員を置く。

2 前項に定める館員は、前条の職員のうちから中央館の館長(以下「中央館長」という。)が配属する。

(平 8 教委訓令 4・追加、平 21 教委訓令 3・一部改正)

(職責)

第 5 条 中央館長は、課長相当職とし、教育次長の命を受け、館務を掌理し、館の職員を指揮監督する。

2 係長は、上司の命を受け、係の事務を処理する。

3 地域館の館長(以下「地域館長」という。)は、係長相当職とし、上司の命を受け、館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

4 主査は、上司の命を受け、係の事務又は地域館の事務のうち、特定の事務を処理する。

5 前 4 項以外の職員は、上司の命をうけ、館務に従事する。

(昭 56 教委訓令 甲 3・昭 57 教委訓令 甲 6・平 4 教委訓令 9・平 8 教委訓令 4・平 11 教委訓令 4・平 12 教委訓令 1・平 16 教委訓令 10・一部改正)

(館長の専決事項)

第 6 条 中央館長は、別に定めるものを除くほか、次の事項を専決することができる。

- (1) 館務に関し、職名をもって文書を発送すること。

- (2) 中央館の所属職員及び地域館長の旅行、事故欠勤(任命権者が職員の給与の減額を免除することができる場合の基準(昭和 53 年特別区人事委員会規則第 15 号)別表第 1 第 1 号から第 3 号までに規定する原因による欠勤をいう。以下同じ。)、休日、休暇、勤務時間等に関すること(欠勤(事故欠勤を除く。)、病気休暇、介護休暇及び人材育成課が実施する研修に係る旅行を除く。))。

(3) 職員の事務分掌に関すること。

(4) その他定例の事務に関すること。

2 地域館長は、別に定めるものを除くほか、次の事項を専決することができる。

(1) 館務に関し、職名をもって文書を発送すること。

(2) 所属職員の旅行、事故欠勤、休日、休暇、勤務時間等に関すること(欠勤(事故欠勤を除く。)、病気休暇、介護休暇及び人材育成課が実施する研修に係る旅行を除く。))。

(3) 所属職員の事務分掌に関すること。

(4) その他定例軽易な事務に関すること。

(昭 56 教委訓令 甲 3・平 4 教委訓令 9・平 10 教委訓令 7・平 11 教委訓令 4・平 19 教委訓令 7・平 20 教委訓令 10・一部改正)

(事案の代決)

第 7 条 中央館長及び地域館長(以下「館長」という。)が出張又は休暇その他の事故により不在のときは、館長があらかじめ指定する職員がその事案を代決する。

(事務報告)

第 8 条 中央館長は、毎月 5 日までに次の事項を教育次長に報告しなければならない。

(1) 前月分の職員の勤務状況

(2) 前月分の事務の処理状況

2 前項に掲げるもののほか特に必要と認める事項は、随時報告しなければならない。

3 地域館長は、毎月 3 日までに前 2 項に規定する事項を中央館長に報告しなければならない。

(昭 57 教委訓令 甲 6・平 4 教委訓令 9・平 16 教委訓令 10・一部改正)

(準用)

第 9 条 この規程に定めるもののほか、館の処務、文書の取扱い、職員の服務その

他必要な事項については、葛飾区教育委員会事務局処務規程(昭和40年葛飾区教育委員会訓令甲第1号)を準用する。

付 則(中間省略)

付 則(平成12年2月15日教委訓令第1号)

この訓令は、平成12年4月1日から施行する。

付 則(平成13年3月30日教委訓令第7号)

この訓令は、平成13年4月1日から施行する。

付 則(平成16年3月9日教委訓令第10号)

この訓令は、平成16年4月1日から施行する。

付 則(平成18年3月10日教委訓令第6号)

この訓令は、平成18年4月1日から施行する。

付 則(平成19年5月31日教委訓令第7号)

この訓令は、平成19年6月1日から施行する。

付 則(平成20年7月10日教委訓令第10号)

改正後の第6条の規定は、平成20年7月1日から適用する。

付 則(平成21年9月25日教委訓令第3号)

この訓令は、平成21年10月17日から施行する。

付 則(平成23年3月10日教委訓令第1号)

この訓令は、平成23年4月1日から施行する。

付 則(平成24年3月9日教委訓令第2号)

この訓令は、平成24年4月1日から施行する。

付 則(平成26年8月8日教委訓令第8号)

この訓令は、平成26年8月8日から施行する。

付 則(平成29年3月31日教委訓令第4号)

この訓令は、平成29年4月1日から施行する。

葛 飾 の 図 書 館

令和元年度 事業年報

令和3年1月発行

編集発行 葛飾区立中央図書館

〒125-0042 葛飾区金町6-2-1

ヴィナシス金町プライトコート3階

電 話 03-3607-9201